

新居浜市  
子育て支援に関するアンケート  
調査結果報告書

平成 26 年（2014 年）2 月

新居浜市

## 目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	2
2. 調査内容	2
3. 調査設計	2
4. 回収結果	3
5. 報告書の見方	3
II. 調査対象者の基本属性	4
1. お住まいの地域（小学校区）	5
2. 対象児童の年齢・学年	6
3. 対象家庭の子どもの数	6
4. 調査票の回答者	7
III. 調査結果	8
1. 子どもと家族の状況について	9
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	11
3. 保護者の就労状況について	13
4. 平日の「定期的」な教育・保育事業の利用状況について	20
5. 土曜日・日曜日等における「定期的」な教育・保育事業の利用希望	27
6. 子どもの病気の際の対応について	36
7. 不定期の保育事業や一時預かり等の利用について	41
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	57
9. 子どもと子育てに対する考え方について	67
10. 職場の両立支援制度の利用状況について	75

# I . 調査の概要

## 1. 調査目的

「子ども・子育て支援新制度」の導入にあたって、市町村は「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなっている。そこで、本市における教育・保育事業や子育て支援事業の利用状況や希望を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

## 2. 調査内容

### (1) 就学前児童調査

- ・基本属性
- ・子どもと家族の状況について
- ・子どもの育ちをめぐる環境について
- ・保護者の就労状況について
- ・平日の「定期的」な教育・保育事業の利用状況について
- ・土曜日・日曜日等における「定期的」な教育・保育事業の利用希望
- ・子どもの病気の際の対応について
- ・不定期の保育事業や一時預かり等の利用について
- ・小学校就学後の放課後の過ごし方について
- ・子どもと子育てに対する考え方について
- ・職場の両立支援制度の利用状況について
- ・自由意見

## 3. 調査設計

- (1) 調査対象 平成 25 年 10 月 1 日現在、市内に在住する就学前児童（0～5 歳）
- (2) 抽出方法 住民基本台帳及び外国人登録原票による無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による配布及び郵送による回収
- (4) 調査期間 平成 25 年 10 月 22 日～平成 25 年 11 月 15 日

#### 4. 回収結果

調査対象	標本数（発送数）	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	2,500	1,673	66.9%

#### 5. 報告書の見方

(1) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%を前後することがある。

(2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。なお、複数回答を求める質問についての図表上の表記は、以下のとおりである。

「MA%」（Multiple Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

「2LA%」（2 Limited Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合

「3LA%」（3 Limited Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

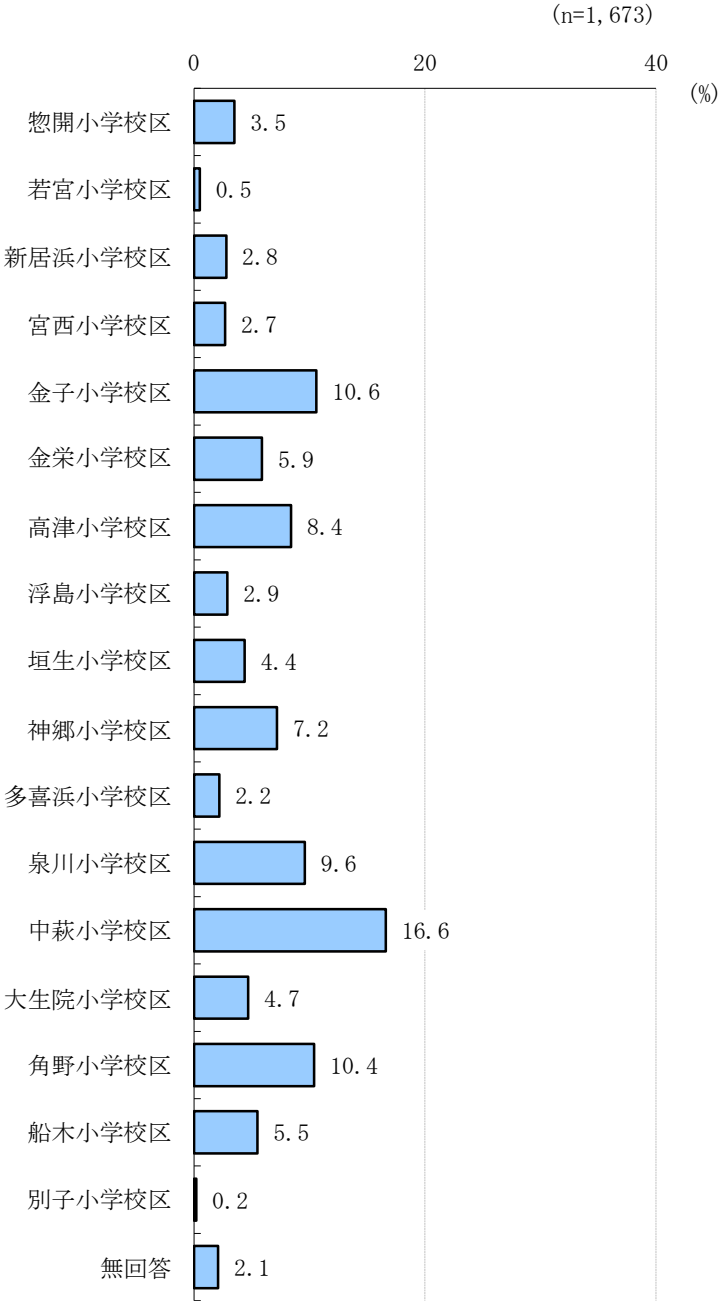
(3) 本文中のグラフや数表で、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

## Ⅱ. 調査対象者の基本属性

# 1. お住まいの地域（小学校区）

回答者のお住まいの地域（小学校区）は、就学前児童では「中萩小学校区」が16.6%で最も割合が高く、次いで「金子小学校区」10.6%、「角野小学校区」10.4%となっている。

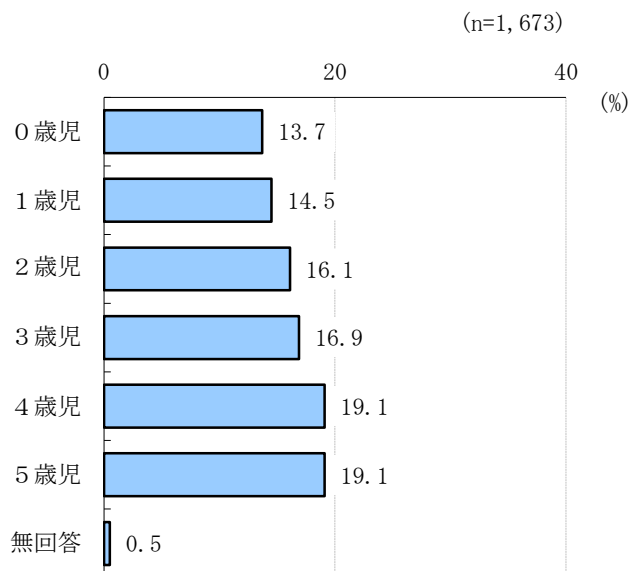
【図 お住まいの地域】



## 2. 対象児童の年齢・学年

対象児童の年齢は、「4歳児」、「5歳児」が19.1%で最も割合が高く、次いで「3歳児」16.9%、「2歳児」16.1%となっている。

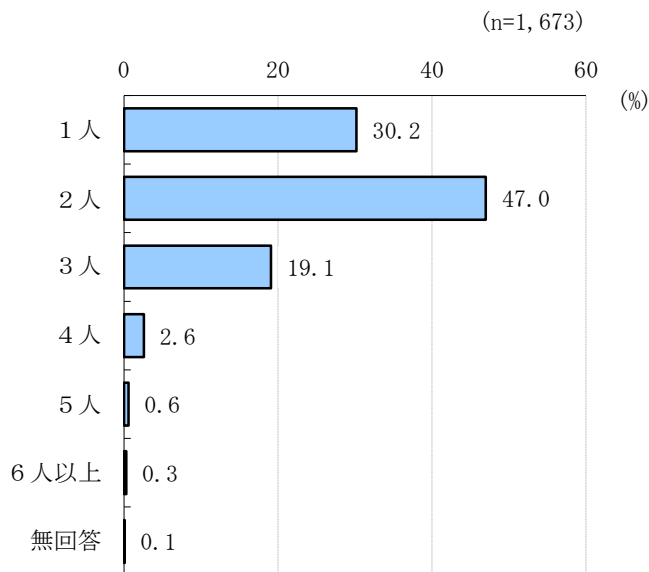
【図 調査対象児童の年齢】



## 3. 対象家庭の子どもの数

対象家庭の子どもの数は、「2人」が47.0%で最も割合が高く、次いで「1人」30.2%、「3人」19.1%となっている。

【図 調査対象児童の年齢】

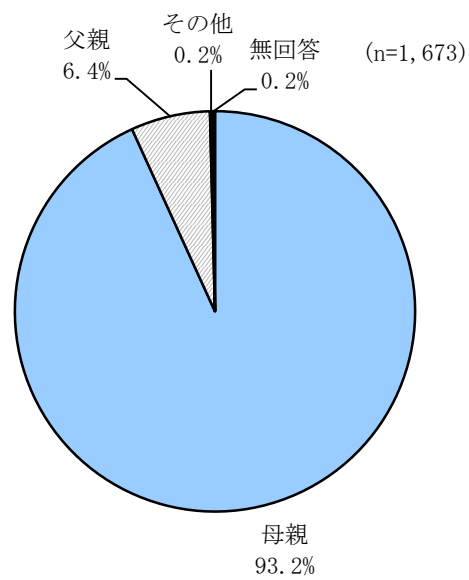




## 4. 調査票の回答者

調査票の回答者は、「母親」が93.2%と多数を占めている。

【図 調査票の回答者】



### Ⅲ. 調查結果

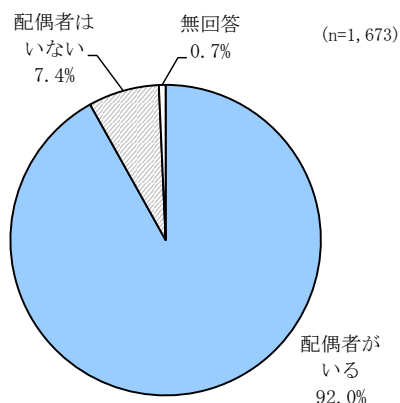
# 1. 子どもと家族の状況について

## (1) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、次のあてはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が92.0%で、「配偶者はいない」は7.4%となっている。  
 子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにつれ「配偶者はいない」割合が高くなっている。

【図 回答者の配偶関係】



【表 子どもの年齢・圏域別 配偶関係】

		合計	配偶者がいる	配偶者はいない	無回答
	全体	1673 100.0	1539 92.0	123 7.4	11 0.7
子どもの年齢	0歳児	229 100.0	222 96.9	5 2.2	2 0.9
	1歳児	243 100.0	232 95.5	9 3.7	2 0.8
	2歳児	270 100.0	253 93.7	16 5.9	1 0.4
	3歳児	283 100.0	258 91.2	24 8.5	1 0.4
	4歳児	320 100.0	284 88.8	32 10.0	4 1.3
	5歳児	320 100.0	282 88.1	37 11.6	1 0.3
圏域	川西	434 100.0	409 94.2	21 4.8	4 0.9
	川東	420 100.0	382 91.0	35 8.3	3 0.7
	上部西	355 100.0	329 92.7	25 7.0	1 0.3
	上部東	429 100.0	389 90.7	38 8.9	2 0.5

## (2) 子育ての主体者

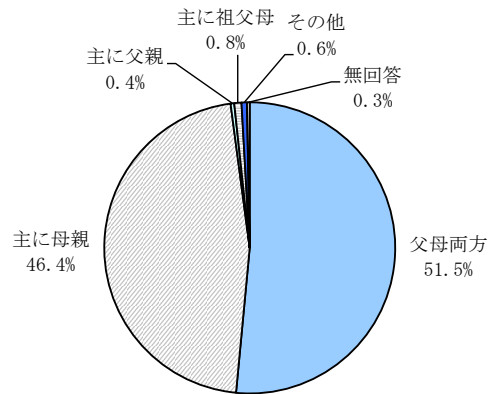
問6 あて名のお子さまの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか？あて名のお子さまからみた関係でお答えください。(○は1つ)

児童の子育てを主に行っている人は、「父母両方」が51.5%で最も割合が高く、次いで「主に母親」46.4%となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳児では「父母両方」より「主に母親」の割合が高くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイムで就労と産休・育休・介護休業中は「父母両方」の割合が高く、就労していないでは「主に母親」の割合が高くなっている。

【図 子育ての主体者】



(n=1,673)

【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ別 子育ての主体者】

		合計	父母両方	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
	全体	1673	862	777	6	13	10	5
		100.0	51.5	46.4	0.4	0.8	0.6	0.3
子どもの年齢	0歳児	229	101	125	0	1	1	1
		100.0	44.1	54.6	0.0	0.4	0.4	0.4
	1歳児	243	123	116	0	1	1	2
		100.0	50.6	47.7	0.0	0.4	0.4	0.8
	2歳児	270	150	113	1	3	3	0
		100.0	55.6	41.9	0.4	1.1	1.1	0.0
	3歳児	283	146	132	1	0	3	1
		100.0	51.6	46.6	0.4	0.0	1.1	0.4
4歳児	320	158	155	2	4	0	1	
	100.0	49.4	48.4	0.6	1.3	0.0	0.3	
5歳児	320	182	131	2	3	2	0	
	100.0	56.9	40.9	0.6	0.9	0.6	0.0	
母親の就労タイプ	フルタイム	401	243	146	0	6	4	2
		100.0	60.6	36.4	0.0	1.5	1.0	0.5
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	101	56	45	0	0	0	0
		100.0	55.4	44.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等	437	236	190	0	4	5	2
		100.0	54.0	43.5	0.0	0.9	1.1	0.5
	パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	21	8	13	0	0	0	0
	100.0	38.1	61.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない	647	296	348	1	0	1	1	
	100.0	45.7	53.8	0.2	0.0	0.2	0.2	
これまで就労していない	50	18	32	0	0	0	0	
	100.0	36.0	64.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

## 2. 子どもの育ちをめぐる環境について

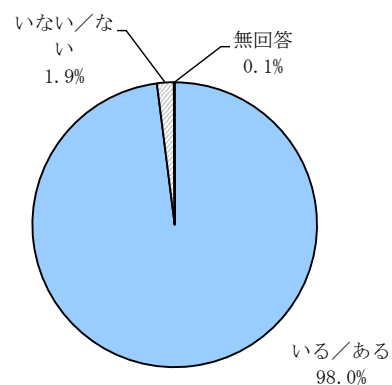
### (1) 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無

問7 あて名のお子さまの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか？また、相談できる場所がありますか？次のあてはまる番号1つに○をつけてください。

子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無は「いる／ある」が98.0%で、「いない／ない」1.9%となっている。

子どもの年齢別、圏域別にみても「いる／ある」の割合が高くなっている。

【図 気軽に相談できる人・場所】



(n=1,673)

【表 子どもの年齢・圏域別 気軽に相談できる人・場所】

		合計	いる／ある	いない／ない	無回答
	全体	1673	1640	31	2
		100.0	98.0	1.9	0.1
子どもの年齢	0歳児	229	223	6	0
		100.0	97.4	2.6	0.0
	1歳児	243	239	4	0
		100.0	98.4	1.6	0.0
	2歳児	270	265	5	0
		100.0	98.1	1.9	0.0
	3歳児	283	279	4	0
		100.0	98.6	1.4	0.0
圏域	4歳児	320	313	6	1
		100.0	97.8	1.9	0.3
	5歳児	320	313	6	1
		100.0	97.8	1.9	0.3
	川西	434	426	8	0
	100.0	98.2	1.8	0.0	
川東	420	412	8	0	
	100.0	98.1	1.9	0.0	
上部西	355	349	5	1	
	100.0	98.3	1.4	0.3	
上部東	429	420	8	1	
	100.0	97.9	1.9	0.2	

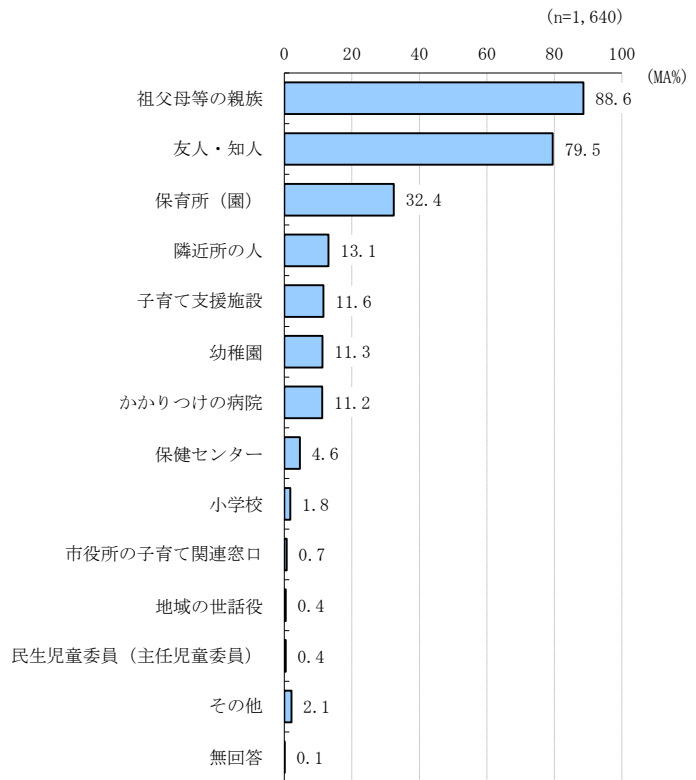
## (2) 子育てをする上で、気軽に相談できる相手

問7-1 問7で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さまの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

【図 気軽に相談できる相手】

子育てをする上で、気軽に相談できる相手は、「祖父母等の親族」が88.6%で最も割合が高く、次いで「友人・知人」79.5%、「保育所（園）」32.4%となっている。

圏域別にみると、いずれの圏域においても「祖父母等の親族」及び「友人・知人」の割合が高くなっているが、上部西圏域で「幼稚園」及び「子育て支援施設」の割合が他の圏域と比較して低くなっている。



【表 圏域別 日頃、子どもをみてもらえる相手】

圏域別	合計	祖父母等の親族	友人・知人	隣近所の人	地域の世話役	民生児童委員（主任児童委員）	保育所（園）	幼稚園	小学校	子育て支援施設	保健センター	かかりつけの病院	市役所の子育て関連窓口	その他	無回答
全体	1640	1453	1304	215	6	6	531	185	30	191	75	183	12	35	2
	100.0	88.6	79.5	13.1	0.4	0.4	32.4	11.3	1.8	11.6	4.6	11.2	0.7	2.1	0.1
川西	426	371	353	65	0	1	131	60	8	67	25	48	2	9	0
	100.0	87.1	82.9	15.3	0.0	0.2	30.8	14.1	1.9	15.7	5.9	11.3	0.5	2.1	0.0
川東	412	371	329	45	3	1	136	57	7	52	23	53	3	1	1
	100.0	90.0	79.9	10.9	0.7	0.2	33.0	13.8	1.7	12.6	5.6	12.9	0.7	0.2	0.2
上部西	349	308	280	41	1	0	121	22	7	28	16	40	5	9	1
	100.0	88.3	80.2	11.7	0.3	0.0	34.7	6.3	2.0	8.0	4.6	11.5	1.4	2.6	0.3
上部東	420	380	316	60	2	4	129	42	8	43	10	38	2	10	0
	100.0	90.5	75.2	14.3	0.5	1.0	30.7	10.0	1.9	10.2	2.4	9.0	0.5	2.4	0.0

### 3. 保護者の就労状況について

#### (1) 父母の就労状況

問9 あて名のお子さまの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

※母親と父親がいらっしゃる場合には、それぞれお答えください。問9（1） 母親の就労状況は次のどれですか。（○は1つ）

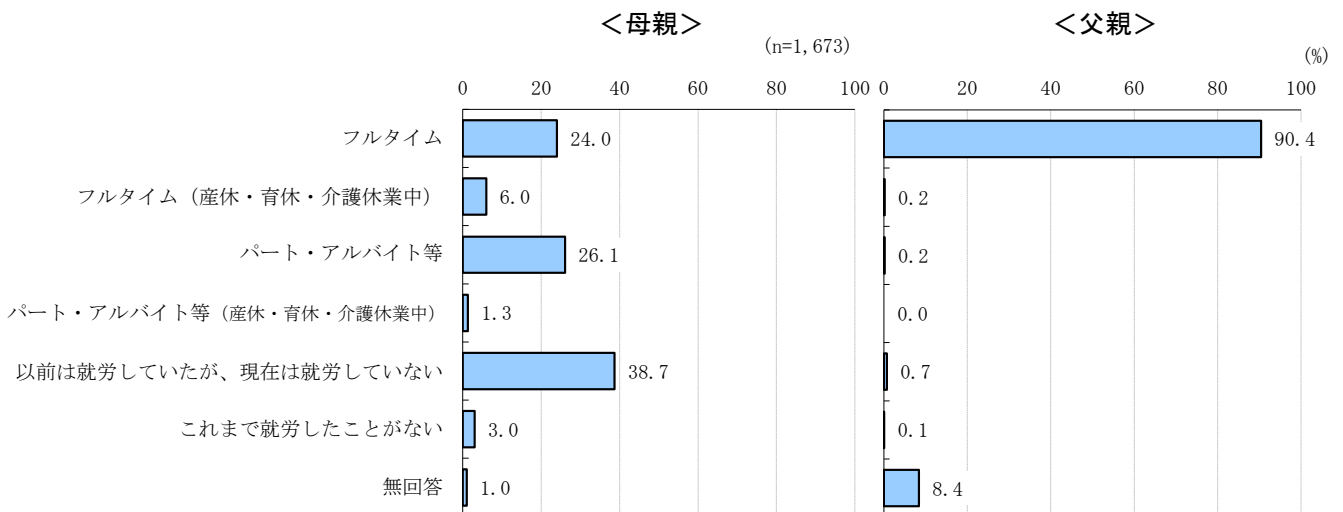
- (1) 【母親】あてはまる番号1つに○をつけてください。
- (2) 【父親】あてはまる番号1つに○をつけてください。

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が38.7%で最も割合が高く、次いで「パートタイム、アルバイト等」26.1%、「フルタイム」24.0%となっている。

父親の就労状況は、「フルタイム」が90.4%で多数を占めている。

母親の就労状況を子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が高くなるにつれ「フルタイム」や「パート・アルバイト等」の割合が高くなっている。

【図 父母の就労状況】



【表 子どもの年齢別 母親の就労状況】

		合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答
	全体	1,673	229	243	270	283	320	320	8
		100.0	13.7	14.5	16.1	16.9	19.1	19.1	0.5
母親の就労タイプ	フルタイム	401	35	55	66	68	85	91	1
		100.0	8.7	13.7	16.5	17.0	21.2	22.7	0.2
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	101	42	14	16	13	11	4	1
		100.0	41.6	13.9	15.8	12.9	10.9	4.0	1.0
	パート・アルバイト等	437	22	45	71	93	89	115	2
		100.0	5.0	10.3	16.2	21.3	20.4	26.3	0.5
	パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	21	3	0	5	6	3	4	0
		100.0	14.3	0.0	23.8	28.6	14.3	19.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	647	120	122	103	93	110	97	2	
	100.0	18.5	18.9	15.9	14.4	17.0	15.0	0.3	
これまで就労したことがない	50	7	6	7	8	17	4	1	
	100.0	14.0	12.0	14.0	16.0	34.0	8.0	2.0	

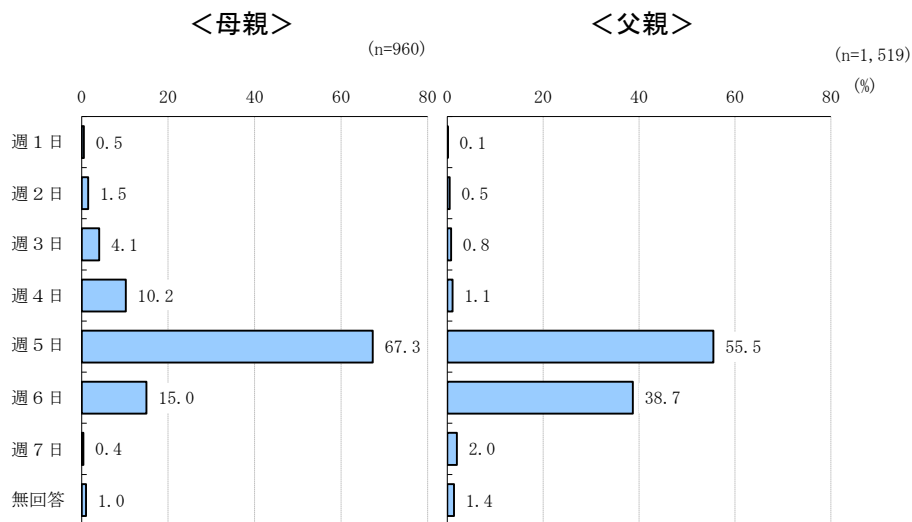
## (2) 就労日数・時間

(1) - 1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「出勤帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間等が一定でない変則的な勤務の場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。なお、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。なお、時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)※自営業の場合には、勤務開始時刻と終了時刻を記入。

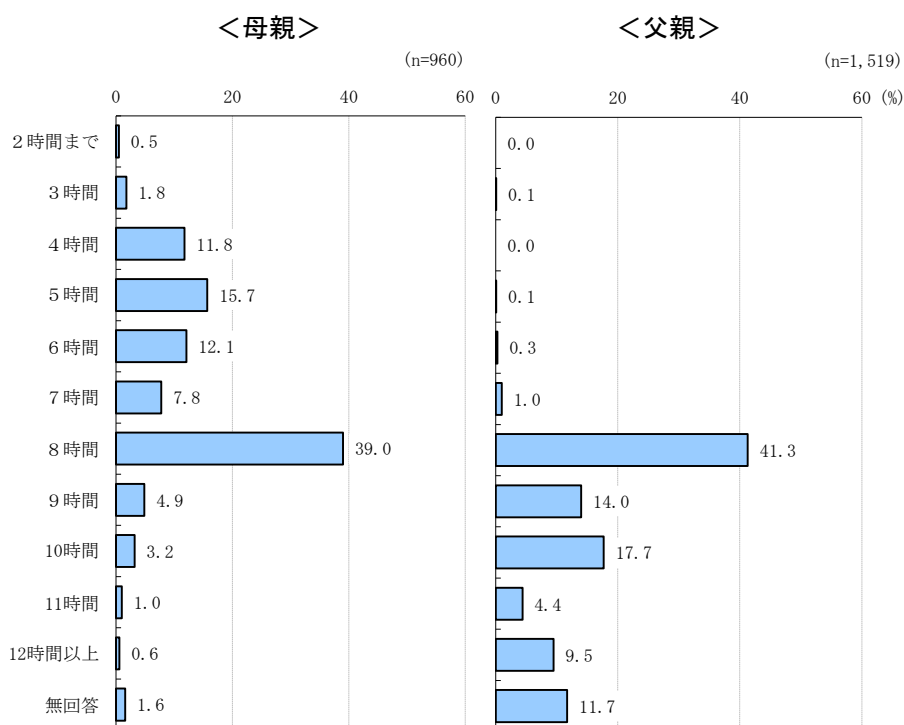
1週当たりの就労日数は母親、父親ともに「週5日」の割合が最も高くなっている。「週6日」では、母親15.0%、父親38.7%と父親の割合が高くなっている。

1日当たりの就労時間は、父親ともに「8時間」の割合が最も高くなっている。また、9時間以上就労している父親の割合も高くなっている。

【図 1 週当たり就労日数】



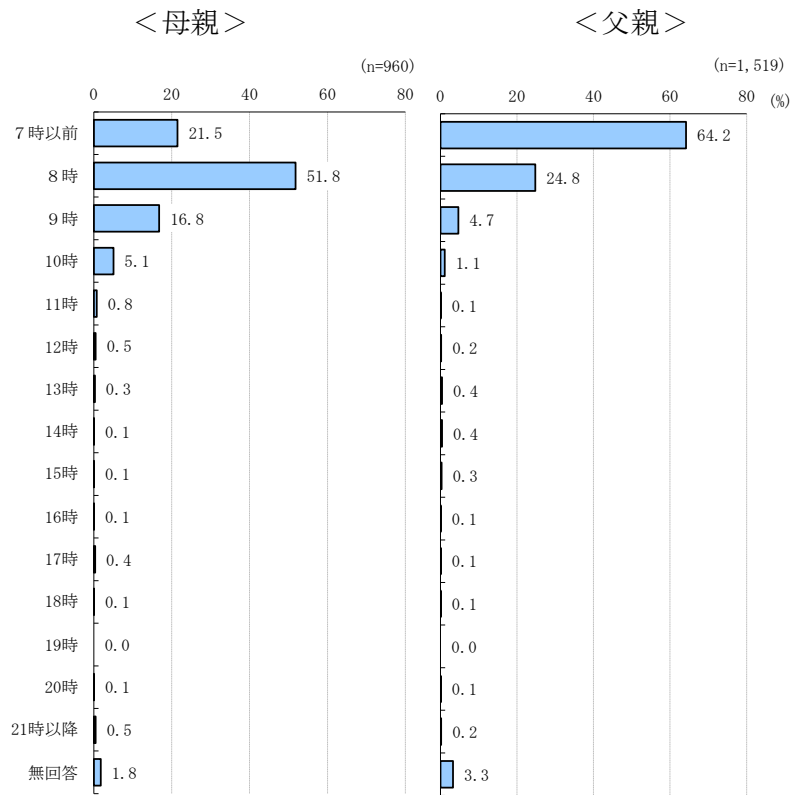
【図 1日当たり就労時間】



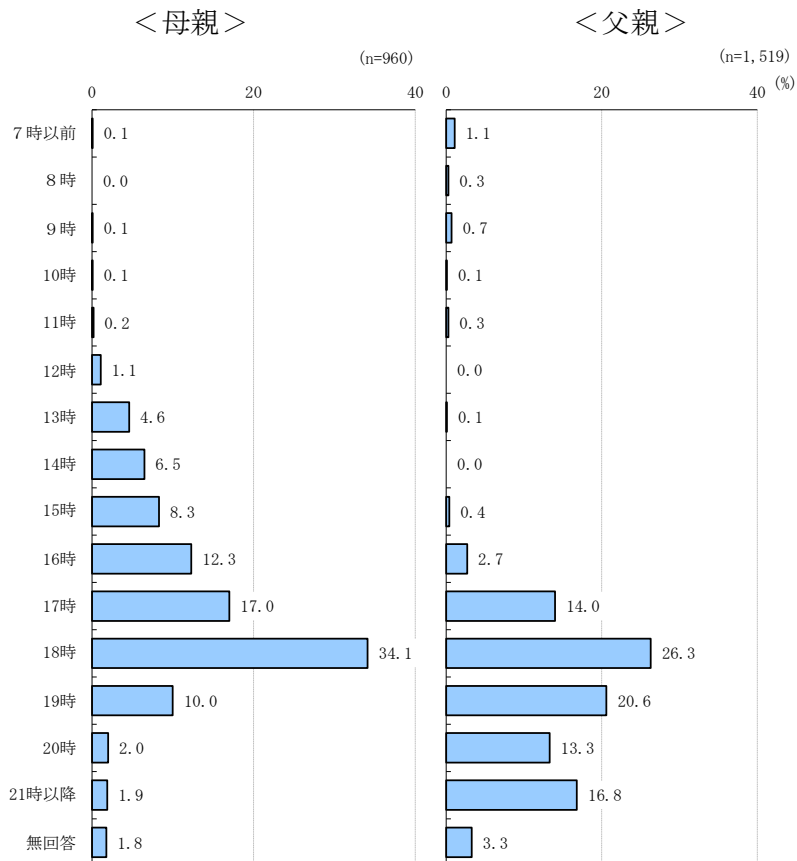


出勤時間は、母親は「8時」、父親は「7時以前」の割合が最も高く、帰宅時間は母親、父親ともに「18時」の割合が最も高くなっている。

【図 家を出る時刻】



【図 帰宅する時刻】



### (3) フルタイムへの転換希望

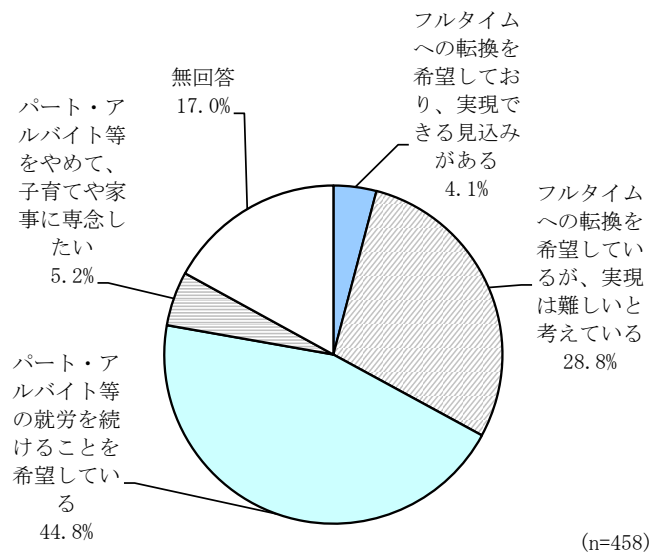
問 10 問9の(1)または(2)で「3～4」(パート・アルバイト等での就労)に○をつけた方にうかがいます。 ※該当しない場合は、問11へお進みください。  
 フルタイムへの転換希望はありますか。次のあてはまる番号1つに○をつけてください。

パート・アルバイトで就労している父母のフルタイムへの転換希望は、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している」が44.8%で最も割合が高く、次いで「フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている」28.8%、「パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい」5.2%となっている。

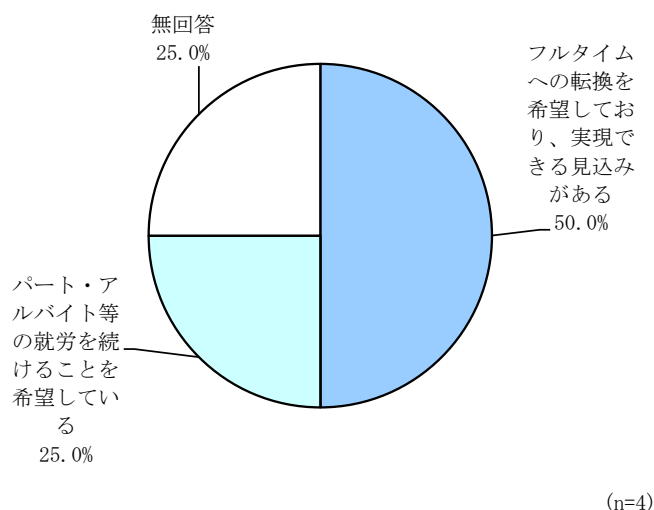
父親では「フルタイムへの転換を希望しており、実現できる見込みがある」が50.0%で最も割合が高く、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している」25.0%となっている。

【図 フルタイムへの転換希望】

<母親>



<父親>



#### (4) 非就労者の就労希望

問 11 問9の(1)または(2)で「5～6 (就労していない)」に○をつけた方にうかがいます。 ※該当しない方は、問12へお進みください。

就労したいという希望はありますか。次のあてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字)

就労していない父母の就労希望は、母親では「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったころに働きたい」が48.8%で最も割合が高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労を希望していない)」20.1%となっている。

父親では「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が42.9%で多数を占めている。

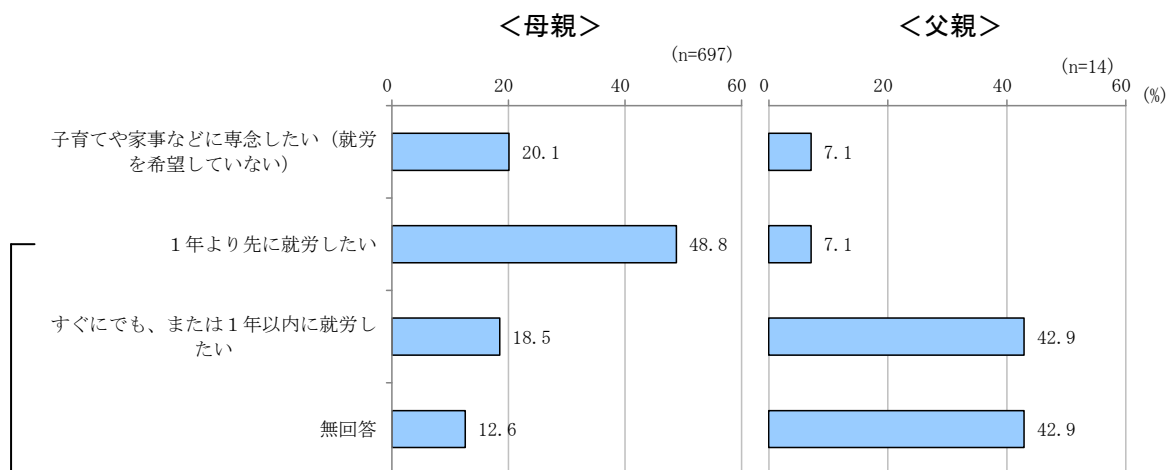
働きたいと思う時の一番下の子どもの年齢は、母親では「3歳」が29.4%で最も割合が高く、次いで「7歳」19.1%、「4歳」15.6%となっている。

希望する就労形態は、母親では「パートタイム、アルバイト等」が86.8%、父親では「フルタイム」が83.3%で、それぞれ割合が高くなっている。

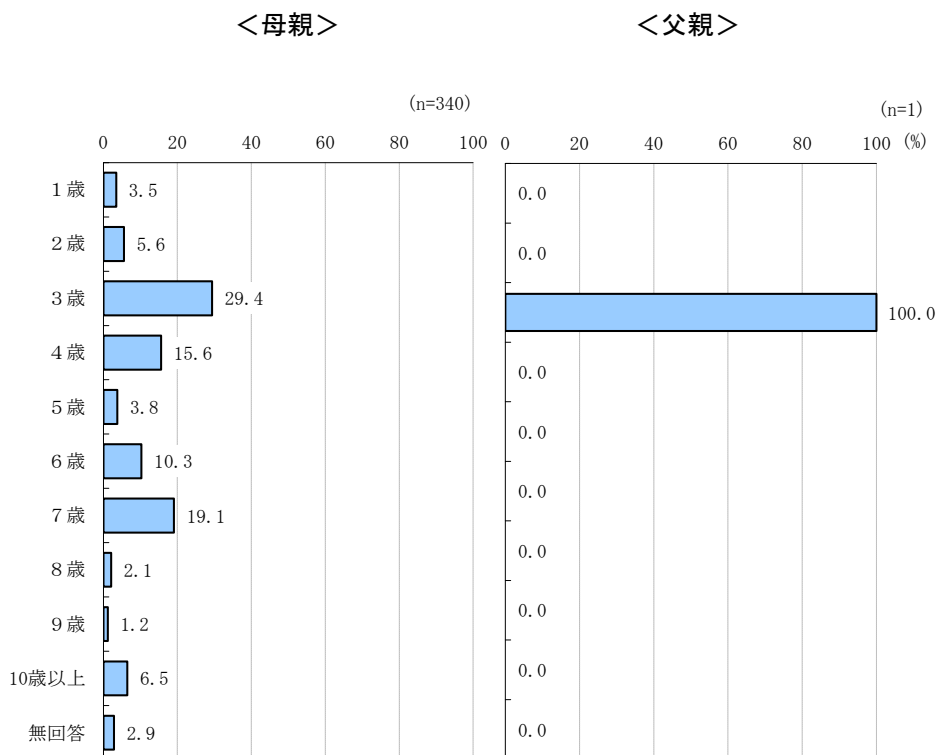
パートタイムを希望する母親は、1週当たりの日数では「週5日」が49.1%で最も割合が高く、次いで「週4日」25.0%、「週3日」22.3%となっている。

就労時間では、「5時間」が33.9%で最も割合が高く、次いで「4時間」28.6%、「6時間」18.8%となっている。

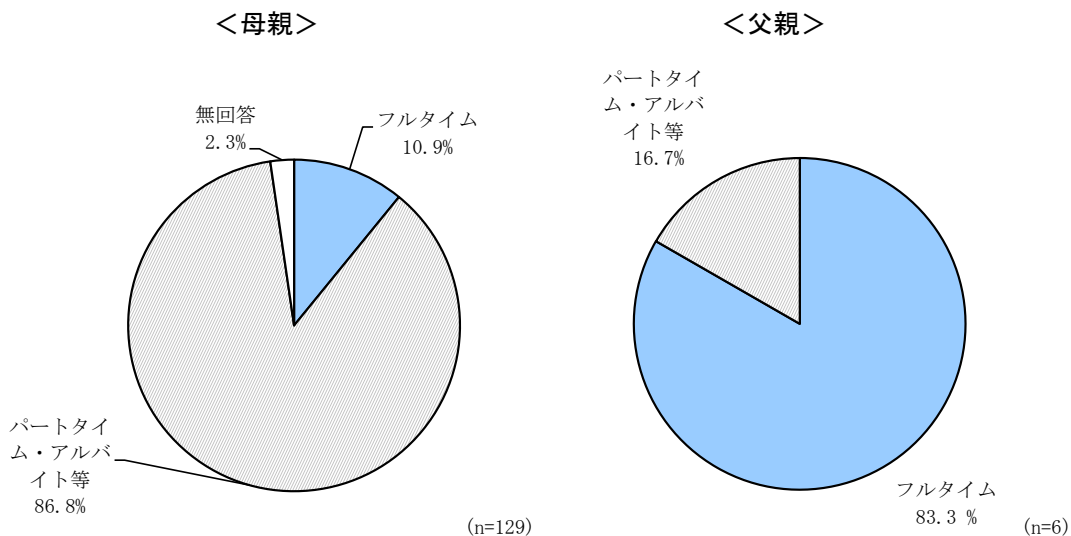
【図 非就労者の就労希望】



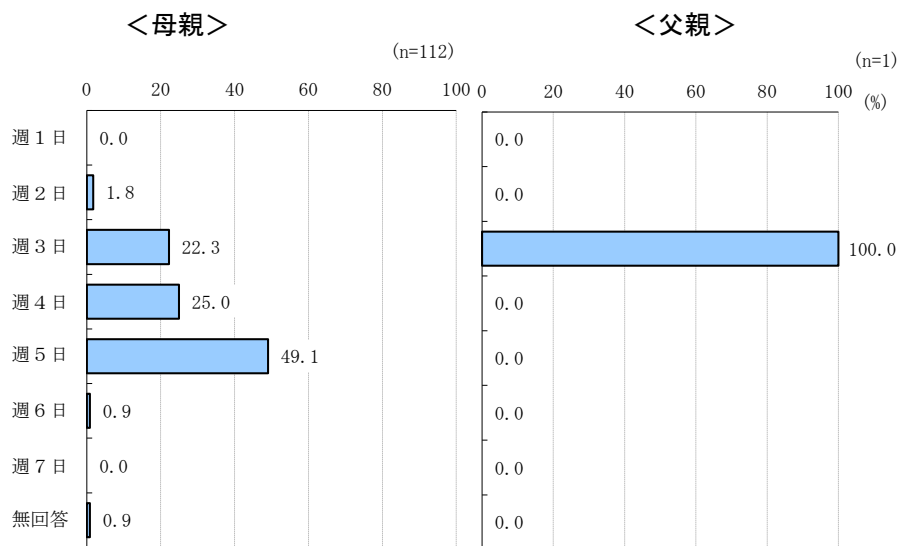
【図 働きたいと思う時の子どもの年齢】



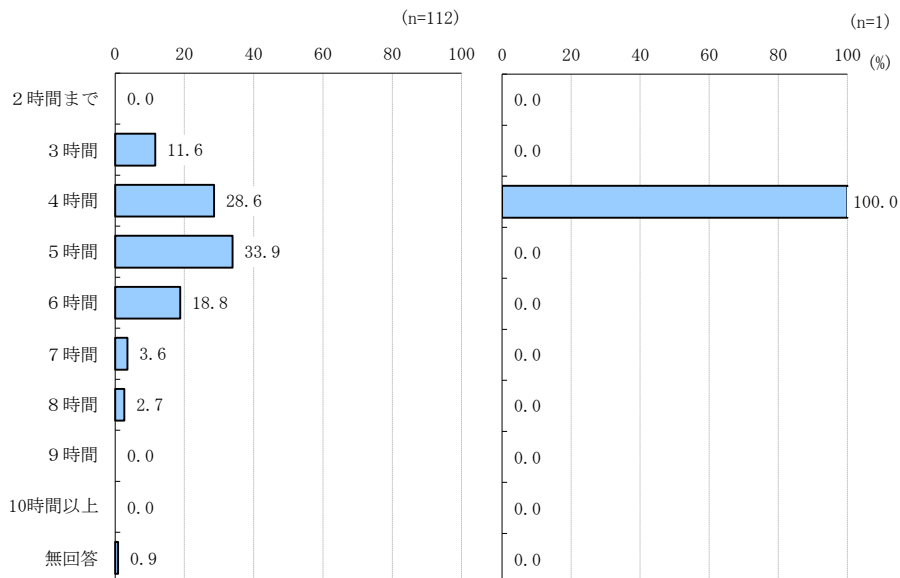
【図 希望する就労形態】



【図 パート・アルバイトで希望する就労日数】



【図 パート・アルバイトで希望する就労時間】



## 4. 平日の「定期的」な教育・保育事業の利用状況について

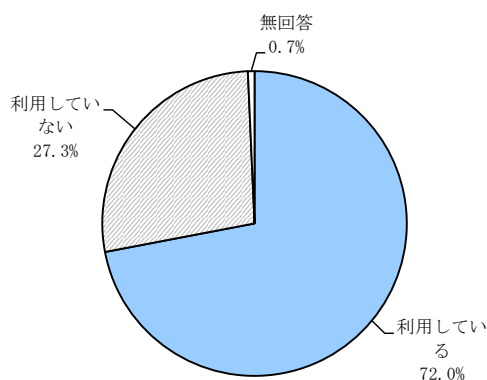
### (1) 幼稚園や保育所などの利用の有無

問12 あて名のお子さまは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的」な教育・保育事業を利用されていますか。次のいずれかの番号に○をつけてください。

【図 利用の有無】

幼稚園・保育所などの利用の有無については、「利用している」が72.0%、「利用していない」27.3%となっている。

圏域別にみると、「利用している」では川西圏域66.6%、川東圏域73.6%、上部西圏域73.8%、上部東圏域73.9%となっており、川西圏域の利用割合が他の圏域と比較して、若干低くなっている。



(n=1,673)

【表 圏域別 幼稚園や保育所などの利用の有無】

		合計	利用している	利用していない	無回答
	全体	1673	1204	457	12
		100.0	72.0	27.3	0.7
圏域別	川西	434	289	143	2
		100.0	66.6	32.9	0.5
	川東	420	309	106	5
		100.0	73.6	25.2	1.2
	上部西	355	262	91	2
	100.0	73.8	25.6	0.6	
	上部東	429	317	109	3
	100.0	73.9	25.4	0.7	

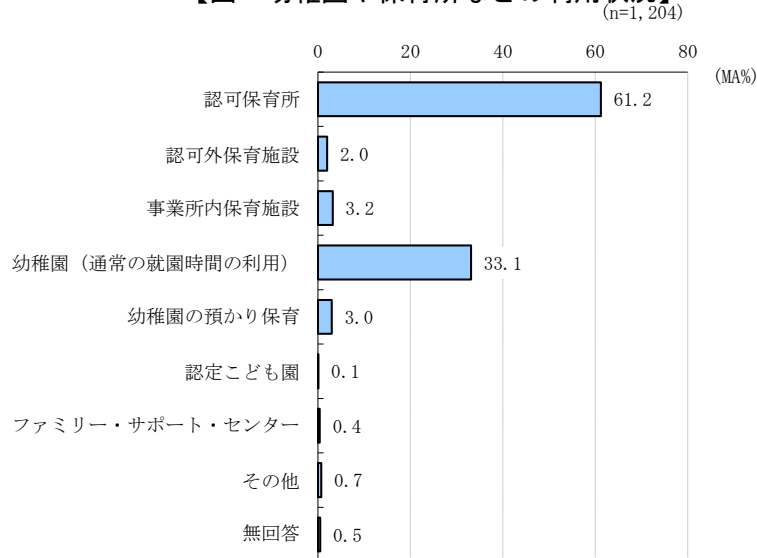
## (2) 幼稚園や保育所などの利用状況

問 12-1 問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さまは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業のうち、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

幼稚園や保育所などの利用状況は、「認可保育所」が 61.2%で最も割合が高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」33.1%、「事業所内保育施設」3.2%となっている。

【図 幼稚園や保育所などの利用状況】



【表 圏域・母親の就労タイプ別 幼稚園や保育所などの利用状況】

		合計	認可保育所	認可外保育施設	事業所内保育施設	幼稚園 (通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認定こども園	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
	全体	1204	737	24	38	398	36	1	5	9	6
		100.0	61.2	2.0	3.2	33.1	3.0	0.1	0.4	0.7	0.5
圏域別	川西	289	154	8	9	115	13	1	1	5	0
		100.0	53.3	2.8	3.1	39.8	4.5	0.3	0.3	1.7	0.0
	川東	309	185	6	13	106	7	0	0	3	2
		100.0	59.9	1.9	4.2	34.3	2.3	0.0	0.0	1.0	0.6
	上部西	262	178	3	14	67	8	0	2	1	0
		100.0	67.9	1.1	5.3	25.6	3.1	0.0	0.8	0.4	0.0
母親の就労タイプ	上部東	317	203	7	2	100	7	0	2	0	4
		100.0	64.0	2.2	0.6	31.5	2.2	0.0	0.6	0.0	1.3
	フルタイム	388	347	7	19	15	3	0	2	0	2
		100.0	89.4	1.8	4.9	3.9	0.8	0.0	0.5	0.0	0.5
	フルタイム (産休・育休・介護休業中)	48	32	3	3	11	2	0	0	0	0
		100.0	66.7	6.3	6.3	22.9	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等	406	302	10	11	81	24	0	2	3	4
		100.0	74.4	2.5	2.7	20.0	5.9	0.0	0.5	0.7	1.0
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	17	15	0	0	0	1	1	0	0	0	
	100.0	88.2	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない	308	31	4	4	265	5	0	1	6	0	
	100.0	10.1	1.3	1.3	86.0	1.6	0.0	0.3	1.9	0.0	
これまで就労したことがない	25	2	0	0	23	1	0	0	0	0	
	100.0	8.0	0.0	0.0	92.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

### (3) 定期的な教育・保育事業の利用日数（現在と希望）

問 12-2 平日に「定期的」に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。また、今後の希望としてはどのくらい利用したいですか。次の口内に具体的な数字をご記入ください。なお、利用したい時間帯は、必ず(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用日数は、「週5日」が79.6%で最も割合が高く、次いで「週6日」15.5%となっている。

希望する利用日数は、「週5日」が56.6%で最も割合が高く、次いで「週6日」19.8%となっており、現在の利用状況より「週6日」の希望割合が若干高くなっている。

現在の利用時間は、「8時間」が19.7%で最も割合が高く、次いで「5時間」19.4%、「9時間」15.9%となっている。

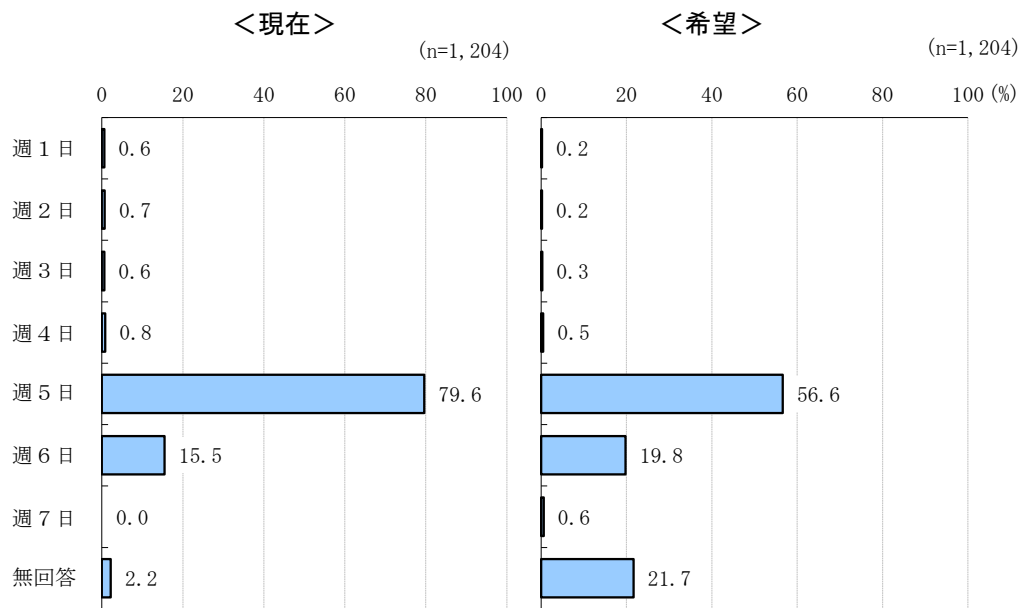
希望する利用時間は、「11時間」が29.1%で最も割合が高く、次いで「8時間」17.7%、「7時間」12.9%となっており、現在の利用時間より長く利用したい希望の割合が高くなっている。

利用事業別にみると、現在の利用日数では、いずれの事業においても「週5日」の割合が最も高くなっている。

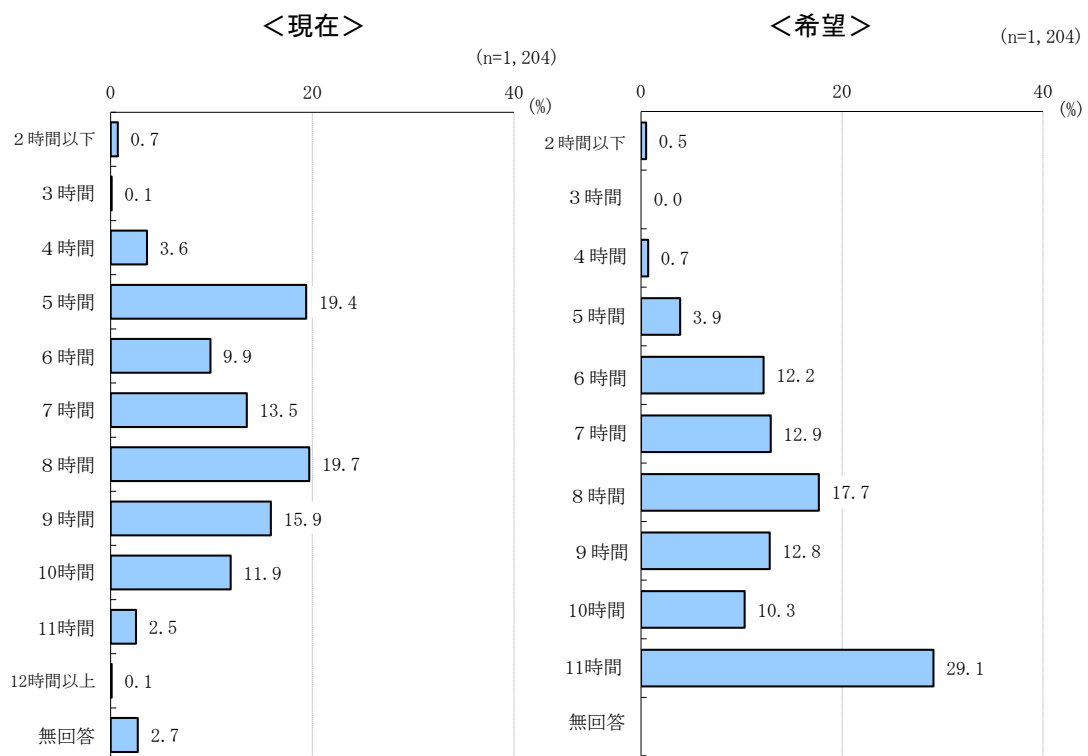
希望する利用日数では、いずれの事業においても「週5日」が大半を占めているが、「週6日」を希望する事業では「事業所内保育施設」及び「認可保育所」の割合が高くなっている。



【図 定期的な教育・保育事業の利用日数】



【図 定期的な教育・保育事業の利用時間】



【表 利用事業別 定期的な教育・保育事業の利用日数（現在）】

	合 計	週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	週 6 日	週 7 日	無 回 答	
全 体	1204	7	8	7	10	958	187	0	27	
	100.0	0.6	0.7	0.6	0.8	79.6	15.5	0	2.2	
利 用 事 業	認可保育所	737	3	2	0	4	545	178	0	5
		100.0	0.4	0.3	0	0.5	73.9	24.2	0	0.7
	認可外保育施設	24	1	2	3	2	11	5	0	0
		100.0	4.2	8.3	12.5	8.3	45.8	20.8	0	0
	事業所内保育施設	38	0	1	2	1	30	4	0	0
		100.0	0	2.6	5.3	2.6	78.9	10.5	0	0
	幼稚園 (通常の就園時間の利用)	398	1	1	1	4	369	0	0	22
		100.0	0.3	0.3	0.3	1.0	92.7	0	0	5.5
	幼稚園の預かり保育	36	0	1	1	2	32	0	0	0
		100.0	0	2.8	2.8	5.6	88.9	0	0	0
	認定こども園	1	0	0	0	0	1	0	0	0
		100.0	0	0	0	0	100.0	0	0	0
ファミリー・サポート ・センター	5	0	0	0	0	4	1	0	0	
	100.0	0	0	0	0	80.0	20.0	0	0	
その他	9	3	1	1	0	2	1	0	1	
	100.0	33.3	11.1	11.1	0	22.2	11.1	0	11.1	

【表 利用事業別 定期的な教育・保育事業の利用日数（希望）】

	合 計	週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	週 6 日	週 7 日	無 回 答	
全 体	1204	3	3	4	6	682	238	7	261	
	100.0	0.2	0.2	0.3	0.5	56.6	19.8	0.6	21.7	
利 用 事 業	認可保育所	737	2	2	1	3	370	203	6	150
		100.0	0.3	0.3	0.1	0.4	50.2	27.5	0.8	20.4
	認可外保育施設	24	1	0	1	0	13	5	0	4
		100.0	4.2	0	4.2	0	54.2	20.8	0	16.7
	事業所内保育施設	38	0	0	0	0	21	11	0	6
		100.0	0	0	0	0	55.3	28.9	0	15.8
	幼稚園 (通常の就園時間の利用)	398	0	1	1	2	279	18	1	96
		100.0	0	0.3	0.3	0.5	70.1	4.5	0.3	24.1
	幼稚園の預かり保育	36	0	0	0	2	22	6	0	6
		100.0	0	0	0	5.6	61.1	16.7	0	16.7
	認定こども園	1	0	0	0	0	1	0	0	0
		100.0	0	0	0	0	100.0	0	0	0
ファミリー・サポート ・センター	5	0	0	0	1	3	1	0	0	
	100.0	0	0	0	20.0	60.0	20.0	0	0	
その他	9	1	0	1	0	2	1	0	4	
	100.0	11.1	0	11.1	0	22.2	11.1	0	44.4	

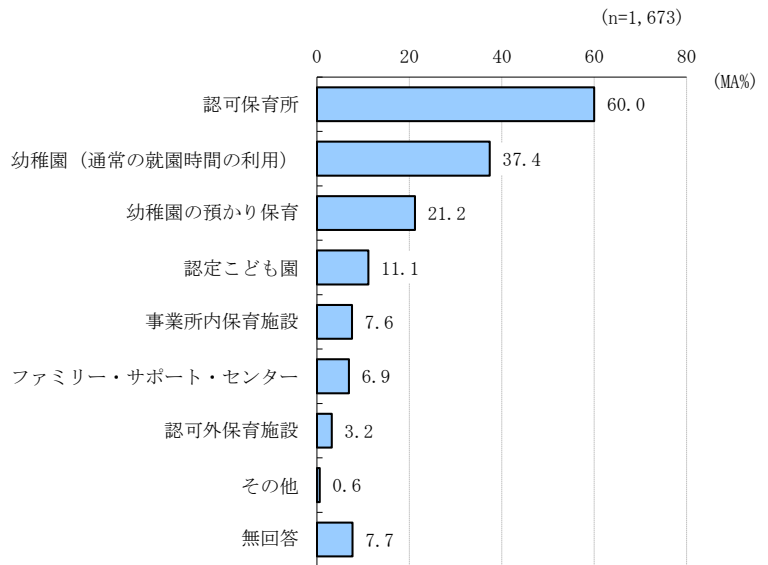
#### (4) 平日の教育・保育事業の利用希望

問13 現在、利用している・利用していないにかかわらず、あて名のお子さまの平日の教育・保育事業として、「定期的」に利用したいと考える事業について、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担（料金はサービスによって異なる）が発生することを踏まえてお答えください。

【図 利用したい平日の定期的な教育・保育事業】

平日に利用したい教育・保育事業は、「認可保育所」が60.0%で最も割合が高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」37.4%、「幼稚園の預かり保育」21.2%となっている。

利用事業別にみると、すべての利用事業において現在利用している事業の希望の割合が高くなっていくが、「認可外保育施設」及び「事業所内保育施設」利用者は「認可保育所」を希望する割合が高くなっている。



【表 利用事業別 利用したい教育・保育事業】

		希望する事業									
		合計	認可保育所	認可外保育施設	事業所内保育施設	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認定こども園	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	1204	754	31	89	353	228	114	81	6	108	
	100.0	62.6	2.6	7.4	29.3	18.9	9.5	6.7	0.5	9.0	
利用事業	認可保育所	737	661	17	53	56	49	63	46	2	57
		100.0	89.7	2.3	7.2	7.6	6.6	8.5	6.2	0.3	7.7
	認可外保育施設	24	18	9	4	5	5	3	3	0	1
		100.0	75.0	37.5	16.7	20.8	20.8	12.5	12.5	0	4.2
	事業所内保育施設	38	28	3	22	3	3	5	2	0	1
		100.0	73.7	7.9	57.9	7.9	7.9	13.2	5.3	0	2.6
	幼稚園	398	55	3	12	281	163	42	30	4	45
	(通常の就園時間の利用)	100.0	13.8	0.8	3.0	70.6	41.0	10.6	7.5	1.0	11.3
	幼稚園の預かり保育	36	3	1	1	20	24	6	5	1	6
		100.0	8.3	2.8	2.8	55.6	66.7	16.7	13.9	2.8	16.7
認定こども園	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	100.0	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	
ファミリー・サポート・センター	5	4	0	0	1	2	1	3	0	0	
	100.0	80.0	0	0	20.0	40.0	20.0	60.0	0	0	
その他	9	1	0	0	6	3	1	2	1	2	
	100.0	11.1	0	0	66.7	33.3	11.1	22.2	11.1	22.2	

子どもの年齢別にみると、0歳児、1歳児において「認可保育所」「幼稚園（通常の就園時間の利用）」「認定こども園」を希望する割合が2歳児以上と比較して高くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、就労していない方で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」「幼稚園の預かり保育」を希望する割合が就労している方と比較して高くなっている。

圏域別にみると、上部西圏域で「認可保育所」、川西圏域で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」を希望する割合が他の圏域と比較して高くなっている。

【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ・圏域別 利用したい平日の定期的な教育・保育事業】

		合計	認可保育所	認可外保育施設	事業所内保育施設	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認定こども園	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
	全 体	1673	1003	53	127	626	355	185	116	10	128
		100.0	60.0	3.2	7.6	37.4	21.2	11.1	6.9	0.6	7.7
子どもの年齢	0歳児	229	169	15	28	103	50	41	19	1	8
		100.0	73.8	6.6	12.2	45.0	21.8	17.9	8.3	0.4	3.5
	1歳児	243	152	9	18	97	59	33	11	1	23
		100.0	62.6	3.7	7.4	39.9	24.3	13.6	4.5	0.4	9.5
	2歳児	270	157	8	25	100	47	28	22	3	19
		100.0	58.1	3.0	9.3	37.0	17.4	10.4	8.1	1.1	7.0
	3歳児	283	160	6	15	97	49	30	16	1	28
		100.0	56.5	2.1	5.3	34.3	17.3	10.6	5.7	0.4	9.9
4歳児	320	174	6	19	113	73	24	26	2	28	
	100.0	54.4	1.9	5.9	35.3	22.8	7.5	8.1	0.6	8.8	
5歳児	320	188	9	22	112	75	29	22	2	21	
	100.0	58.8	2.8	6.9	35.0	23.4	9.1	6.9	0.6	6.6	
母親の就労タイプ	フルタイム	401	341	13	47	40	31	45	32	1	27
		100.0	85.0	3.2	11.7	10.0	7.7	11.2	8.0	0.2	6.7
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	101	86	10	15	22	20	18	9	0	3
		100.0	85.1	9.9	14.9	21.8	19.8	17.8	8.9	0.0	3.0
	パート・アルバイト等	437	313	9	23	97	72	31	23	1	44
		100.0	71.6	2.1	5.3	22.2	16.5	7.1	5.3	0.2	10.1
	パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	21	19	2	3	6	4	2	2	0	0
	100.0	90.5	9.5	14.3	28.6	19.0	9.5	9.5	0.0	0.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない	647	224	17	37	419	207	84	48	7	46	
	100.0	34.6	2.6	5.7	64.8	32.0	13.0	7.4	1.1	7.1	
これまで就労したことがない	50	10	1	1	37	18	4	2	1	5	
	100.0	20.0	2.0	2.0	74.0	36.0	8.0	4.0	2.0	10.0	
圏域別	川西	434	225	14	33	193	111	57	30	2	34
		100.0	51.8	3.2	7.6	44.5	25.6	13.1	6.9	0.5	7.8
	川東	420	252	12	29	162	92	35	29	4	34
		100.0	60.0	2.9	6.9	38.6	21.9	8.3	6.9	1.0	8.1
	上部西	355	242	14	31	109	63	40	25	2	21
		100.0	68.2	3.9	8.7	30.7	17.7	11.3	7.0	0.6	5.9
上部東	429	266	11	32	151	81	50	29	1	36	
	100.0	62.0	2.6	7.5	35.2	18.9	11.7	6.8	0.2	8.4	

## 5. 土曜日・日曜日等における「定期的」な教育・保育事業の利用希望

### (1) 土曜日・日曜日の教育・保育事業の利用希望

問14 あて名のお子さまについて、土曜日・日曜日及び祝日に、「定期的」な教育・保育事業の利用希望はありますか（ただし、一時的な利用は除きます）。次のあてはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合には、利用したい時間帯を必ず（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

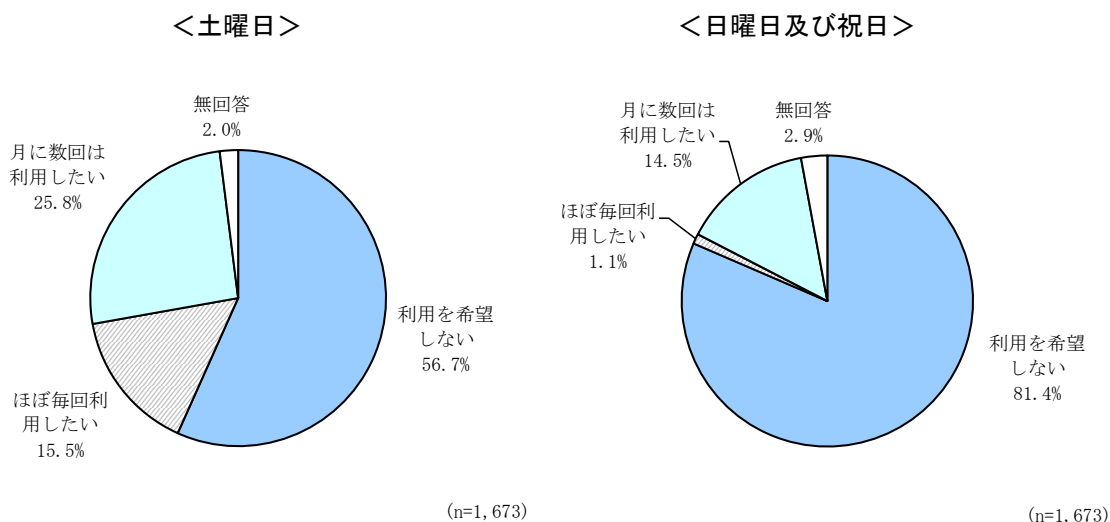
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用を希望しない」が56.7%で最も割合が高く、次いで「月に数回は利用したい」25.8%、「ほぼ毎回利用したい」15.5%となっている。

日曜日及び祝日は「利用を希望しない」が81.4%で最も割合が高く、次いで「月に数回は利用したい」14.5%、「ほぼ毎回利用したい」1.1%となっている。

子どもの年齢別にみると、土曜日の利用希望は、1歳児・3歳児・4歳児で「ほぼ毎回利用したい」他の年齢と比べてやや割合が高くなっている。0歳児は「利用する必要はない」が6割を超えている。日曜日の利用希望は、子どもの年齢別での差はあまりみられなかった。

母親の就労タイプ別にみると、土曜日の利用希望は、フルタイムで「ほぼ毎回利用したい」割合が高くなっている。日曜日の利用希望は、フルタイム、フルタイム（産休・育休・介護休業中）で「月に数回は利用したい」割合が高くなっている。

【図 土曜日、日曜日の定期的な教育・保育サービスの利用希望】

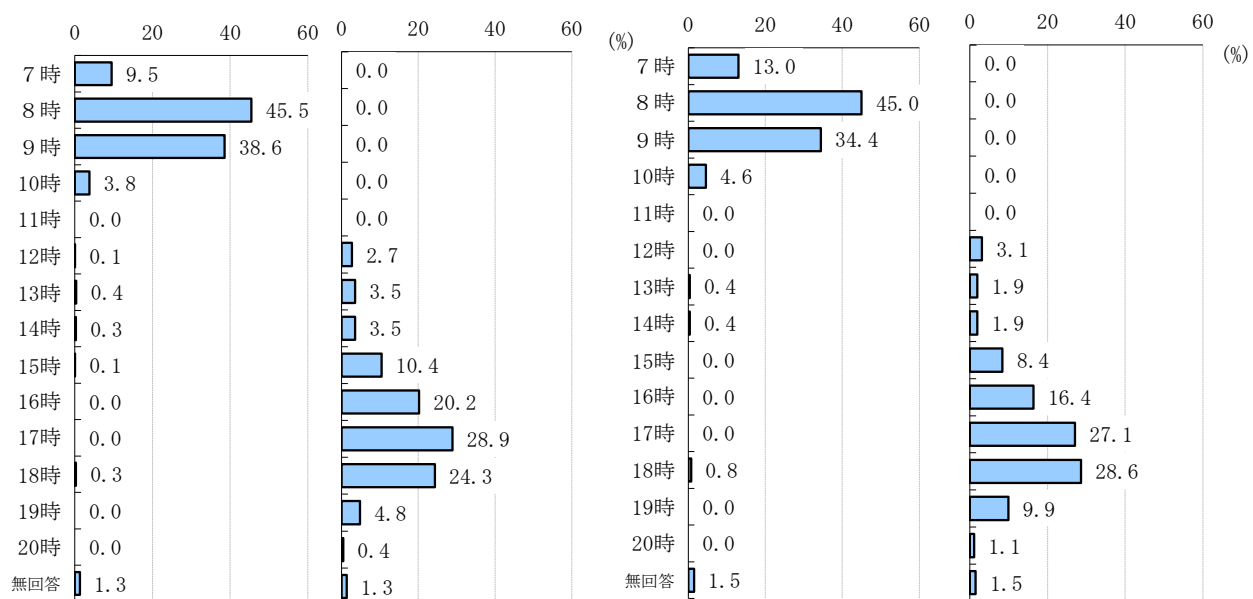


【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ別 土曜日、日曜日の定期的な教育・保育サービスの利用希望】

	合計	土曜日				日曜日及び祝日				
		利用を希望しない	ほぼ毎回利用したい	月に数回は利用したい	無回答	利用を希望しない	ほぼ毎回利用したい	月に数回は利用したい	無回答	
全体	1673	948	260	432	33	1362	19	243	49	
	100.0	56.7	15.5	25.8	2.0	81.4	1.1	14.5	2.9	
子どもの年齢	0歳児	229	147	26	50	6	183	3	33	10
		100.0	64.2	11.4	21.8	2.6	79.9	1.3	14.4	4.4
	1歳児	243	142	41	52	8	196	1	38	8
		100.0	58.4	16.9	21.4	3.3	80.7	0.4	15.6	3.3
	2歳児	270	143	42	80	5	216	4	42	8
		100.0	53.0	15.6	29.6	1.9	80.0	1.5	15.6	3.0
	3歳児	283	146	55	74	8	231	4	39	9
		100.0	51.6	19.4	26.1	2.8	81.6	1.4	13.8	3.2
4歳児	320	174	56	86	4	264	3	43	10	
	100.0	54.4	17.5	26.9	1.3	82.5	0.9	13.4	3.1	
5歳児	320	192	39	87	2	266	4	46	4	
	100.0	60.0	12.2	27.2	0.6	83.1	1.3	14.4	1.3	
母親の就労タイプ	フルタイム	401	142	109	145	5	287	6	96	12
		100.0	35.4	27.2	36.2	1.2	71.6	1.5	23.9	3.0
	フルタイム(産休・育休・介護休業中)	101	44	17	39	1	74	1	24	2
		100.0	43.6	16.8	38.6	1.0	73.3	1.0	23.8	2.0
	パート・アルバイト等	437	200	97	133	7	346	10	70	11
		100.0	45.8	22.2	30.4	1.6	79.2	2.3	16.0	2.5
	パート・アルバイト等(産休・育休・介護休業中)	21	10	5	6	0	18	0	3	0
	100.0	47.6	23.8	28.6	0.0	85.7	0.0	14.3	0.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない	647	504	27	97	19	576	2	45	24	
	100.0	77.9	4.2	15.0	2.9	89.0	0.3	7.0	3.7	
これまで就労したことがない	50	41	2	7	0	49	0	1	0	
	100.0	82.0	4.0	14.0	0.0	98.0	0.0	2.0	0.0	

【図 土曜日の教育・保育事業の希望時間帯】

【図 日曜日の教育・保育事業の希望時間帯】



(n=692)

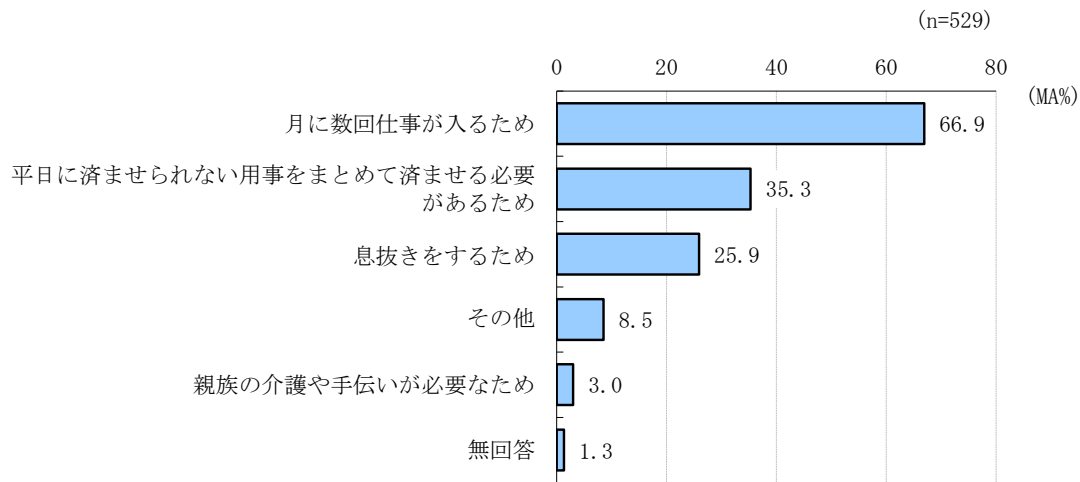
(n=262)

## (2) 月に数回利用したい理由

問14-1 問14の(1)または(2)で、「3. 月に数回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎回ではなく、月に数回利用する理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

月に数回利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が66.9%で最も割合が高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませる必要があるため」35.3%、「息抜きをするため」25.9%となっている。

【図 月に数回利用したい理由】



【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ別 月に数回利用したい理由】

		合計	月に数回仕事が入るため	平日に済ませられない用事をまとめて済ませる必要があるため	親族の介護や手伝いが必要なため	息抜きをするため	その他	無回答	
子どもの年齢	全体	529 100.0	354 66.9	187 35.3	16 3.0	137 25.9	45 8.5	7 1.3	
	0歳児	59 100.0	43 72.9	19 32.2	2 3.4	14 23.7	3 5.1	3 5.1	
	1歳児	72 100.0	47 65.3	24 33.3	1 1.4	20 27.8	5 6.9	3 4.2	
	2歳児	94 100.0	62 66.0	42 44.7	2 2.1	27 28.7	5 5.3	0 0.0	
	3歳児	93 100.0	64 68.8	34 36.6	5 5.4	19 20.4	13 14.0	0 0.0	
	4歳児	103 100.0	72 69.9	29 28.2	1 1.0	29 28.2	7 6.8	0 0.0	
	5歳児	105 100.0	66 62.9	37 35.2	5 4.8	26 24.8	12 11.4	1 1.0	
	母親の就労タイプ	フルタイム	191 100.0	155 81.2	66 34.6	3 1.6	39 20.4	9 4.7	2 1.0
		フルタイム(産休・育休・介護休業中)	49 100.0	38 77.6	13 26.5	0 0.0	11 22.4	3 6.1	2 4.1
パート・アルバイト等		168 100.0	125 74.4	57 33.9	8 4.8	38 22.6	12 7.1	1 0.6	
パート・アルバイト等(産休・育休・介護休業中)		6 100.0	5 83.3	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない		102 100.0	26 25.5	45 44.1	5 4.9	43 42.2	20 19.6	2 2.0	
これまで就労したことがない		7 100.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	4 57.1	1 14.3	0 0.0	

### (3) 夏休み・冬休みなどの教育・保育事業の利用希望

#### 問 15 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

あて名のお子さまについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。次のあてはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合には、利用したい時間帯を必ず(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

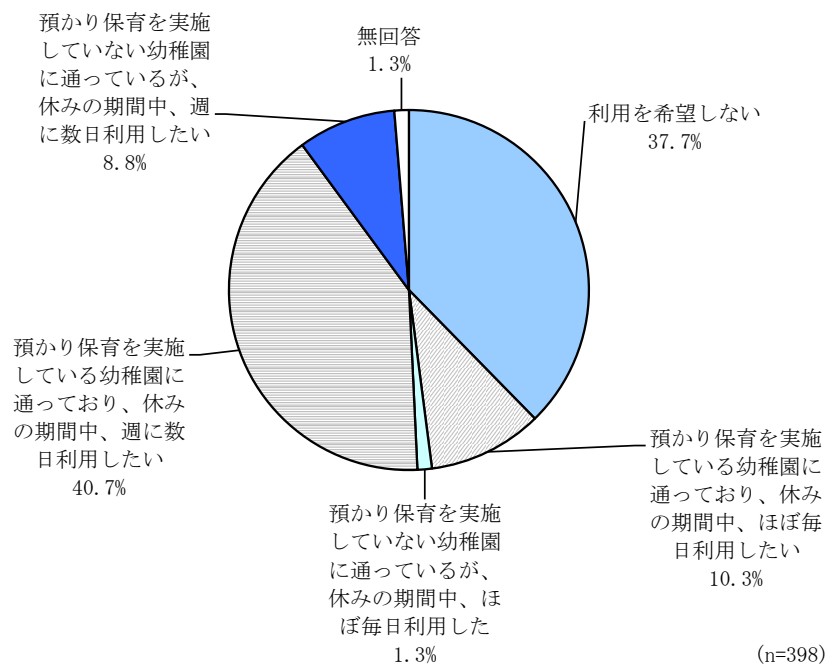
長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「預かり保育を実施している幼稚園に通っており、休みの期間中、週に数日利用したい」が40.7%で最も割合が高く、次いで「利用を希望しない」37.7%、「預かり保育を実施している幼稚園に通っており、休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」10.3%となっている。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイムで「預かり保育を実施している幼稚園に通っており、休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」、パート・アルバイト等で「預かり保育を実施している幼稚園に通っており、休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が高くなっている。

ほぼ毎日利用したい希望時間帯は、「8時～16時」の割合が最も高く、週に数日利用したい希望時間帯は「9時～15時」の割合が最も高くなっている。

圏域別にみると、川西圏域、川東圏域では「預かり保育を実施している幼稚園に通っており、休みの期間中、週に数日利用したい」割合が高く、上部西圏域、上部東圏域では「利用を希望しない」割合が高くなっている。

【図 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望】





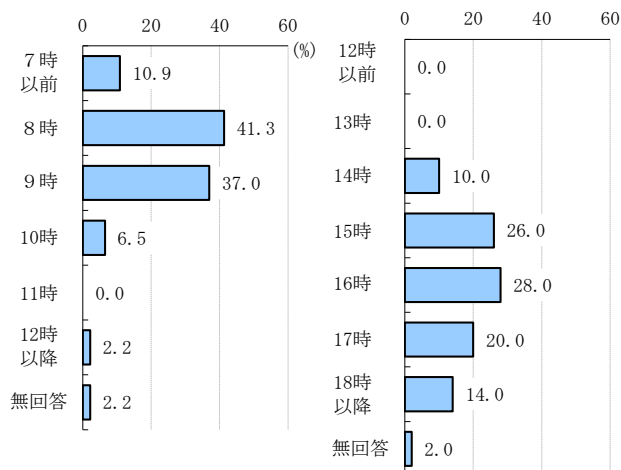
【表 母親の就労タイプ・圏域別 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望】

		合計	利用を希望しない	中園預かり、ほぼ毎日利用したい期間	幼稚園預かり、ほぼ毎日利用したい期間	中園預かり、週に数日利用したい期間	幼稚園預かり、週に数日利用したい期間	無回答
	全体	398 100.0	150 37.7	41 10.3	5 1.3	162 40.7	35 8.8	5 1.3
母親の就労タイプ	フルタイム	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	パート・アルバイト等	15 100.0	4 26.7	7 46.7	0 0.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0
	パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	107 100.0	37 34.6	17 15.9	1 0.9	49 45.8	3 2.8	0 0.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	145 100.0	59 40.7	13 9.0	2 1.4	57 39.3	13 9.0	1 0.7
	これまで就労したことがない	128 100.0	48 37.5	4 3.1	2 1.6	52 40.6	18 14.1	4 3.1
圏域別	川西	115 100.0	35 30.4	7 6.1	1 0.9	53 46.1	19 16.5	0 0.0
	川東	106 100.0	38 35.8	13 12.3	2 1.9	44 41.5	6 5.7	3 2.8
	上部西	67 100.0	30 44.8	8 11.9	2 3.0	27 40.3	0 0.0	0 0.0
	上部東	100 100.0	43 43.0	12 12.0	0 0.0	34 34.0	9 9.0	2 2.0

【図 ほぼ毎日利用したい希望時間帯】

<時から>

<時まで>

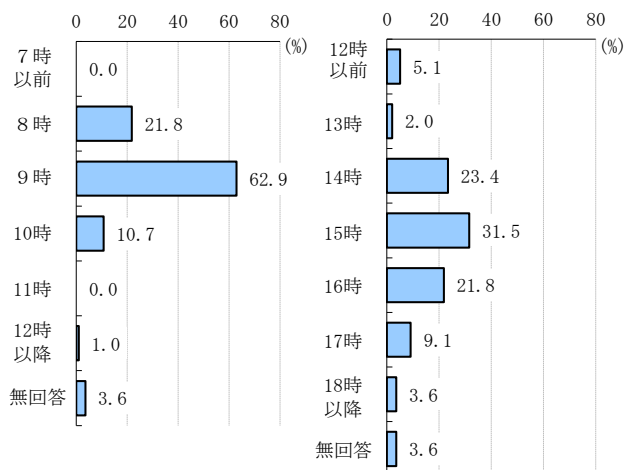


(n=46)

【図 週に数日利用したい希望時間帯】

<時から>

<時まで>

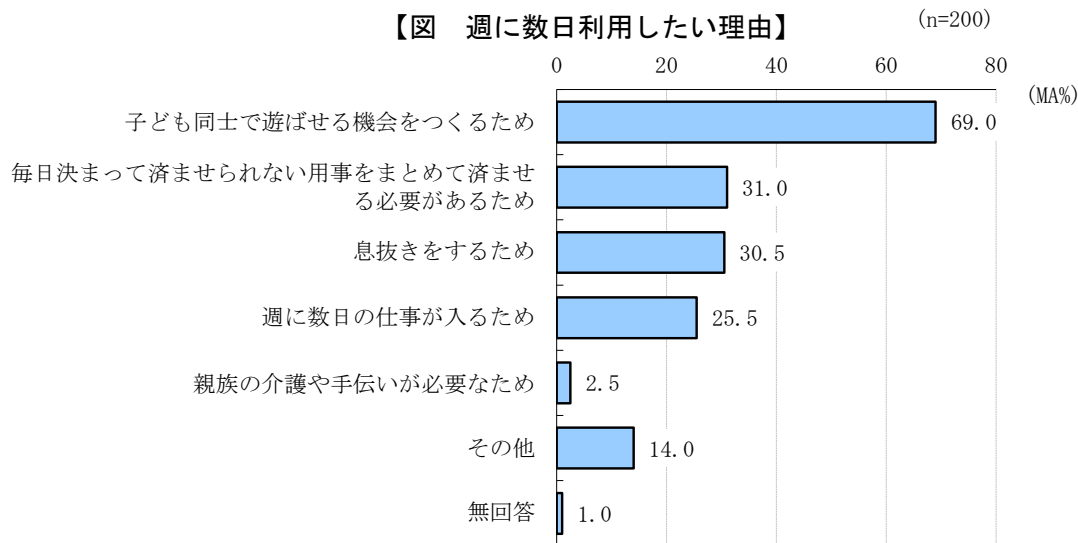


(n=197)

#### (4) 週に数日利用したい理由

問 15-1 問 15 で、「4~5. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
 毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

週に数日利用したい理由は、「子ども同士で遊ばせる機会をつくるため」が 69.0%で最も割合が高く、次いで「毎日決まって済ませられない用事をまとめて済ませる必要があるため」31.0%、「息抜きをするため」30.5%となっている。



**【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ別 週に数日利用したい理由】**

		合計	週に数日の仕事が入るため	用事があるため	毎日決まって済ませられない	親族の介護や手伝いが必要なため	息抜きをするため	子ども同士で遊ばせる機会をつくるため	その他	無回答
子どもの年齢	全体	200	51	62	5	61	138	28	2	
		100.0	25.5	31.0	2.5	30.5	69.0	14.0	1.0	
	0歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	2歳児	4	1	2	0	1	3	0	0	
		100.0	25.0	50.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	
3歳児	53	15	18	1	11	36	7	2		
	100.0	28.3	34.0	1.9	20.8	67.9	13.2	3.8		
4歳児	72	19	21	3	26	57	12	0		
	100.0	26.4	29.2	4.2	36.1	79.2	16.7	0.0		
5歳児	70	16	21	1	22	41	9	0		
	100.0	22.9	30.0	1.4	31.4	58.6	12.9	0.0		
母親の就労タイプ	フルタイム	5	3	1	0	1	3	1	0	
		100.0	60.0	20.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	
	フルタイム(産休・育休・介護休業中)	4	1	2	0	3	4	0	0	
		100.0	25.0	50.0	0.0	75.0	100.0	0.0	0.0	
	パート・アルバイト等	50	34	7	2	6	17	6	1	
		100.0	68.0	14.0	4.0	12.0	34.0	12.0	2.0	
	パート・アルバイト等(産休・育休・介護休業中)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
以前は就労していたが、現在は就労していない	128	12	50	2	47	103	20	1		
	100.0	9.4	39.1	1.6	36.7	80.5	15.6	0.8		
これまで就労したことがない	12	1	2	1	4	10	1	0		
	100.0	8.3	16.7	8.3	33.3	83.3	8.3	0.0		

## (5) 夜間（夜7時以降）の利用希望

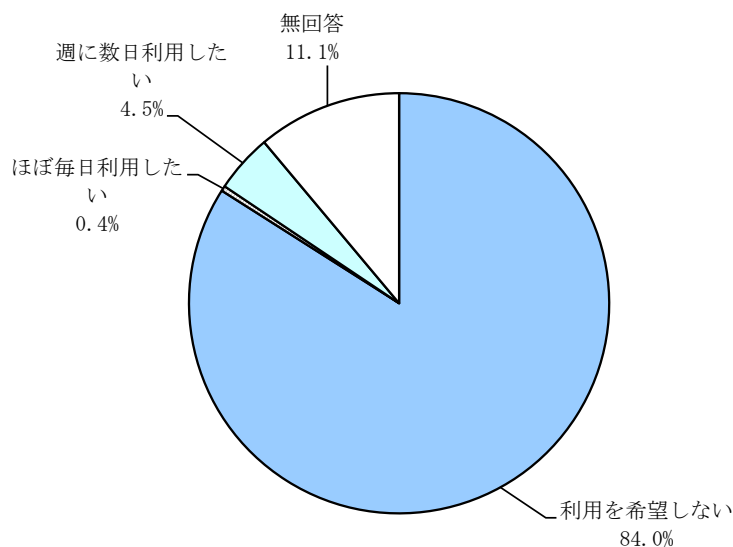
問16 あて名のお子さまについて、夜間（夜7時以降）における教育・保育事業の利用希望はありますか（ただし、「定期的」な利用のみ）。次のあてはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合には、利用したい時間帯を必ず(例) 19時～22時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

夜間の教育・保育事業の利用希望は、「利用を希望しない」が84.0%で最も割合が高く、次いで「週に数日利用したい」4.5%、「ほぼ毎日利用したい」0.4%となっている。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイムで「週に数日利用したい」割合が高くなっている。

利用したい希望時間帯は、「19時以降～21時」の割合が最も高くなっている。また、「24時以降」利用したい割合は20.7%となっている。

【図 夜間の教育・保育事業の利用希望】

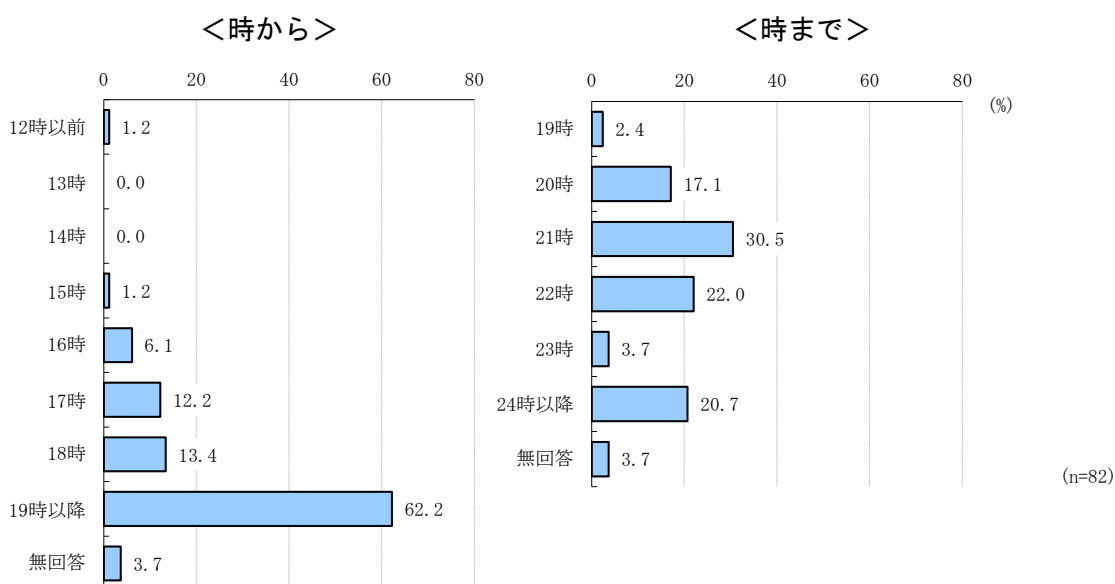


(n=1,673)

【表 母親の就労タイプ・圏域別 夜間の教育・保育事業の利用希望】

		合計	利用を希望しない	ほぼ毎日利用したい	週に数日利用したい	無回答
全 体		1673	1405	7	75	186
		100.0	84.0	0.4	4.5	11.1
母親の就労タイプ	フルタイム	401	313	3	33	52
		100.0	78.1	0.7	8.2	13.0
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	101	76	2	12	11
		100.0	75.2	2.0	11.9	10.9
	パート・アルバイト等	437	372	2	18	45
		100.0	85.1	0.5	4.1	10.3
圏域別	川西	434	373	3	19	39
		100.0	85.9	0.7	4.4	9.0
	川東	420	346	2	14	58
		100.0	82.4	0.5	3.3	13.8
	上部西	355	291	1	22	41
	100.0	82.0	0.3	6.2	11.5	
	上部東	429	368	1	18	42
	100.0	85.8	0.2	4.2	9.8	

【図 利用したい希望時間帯】



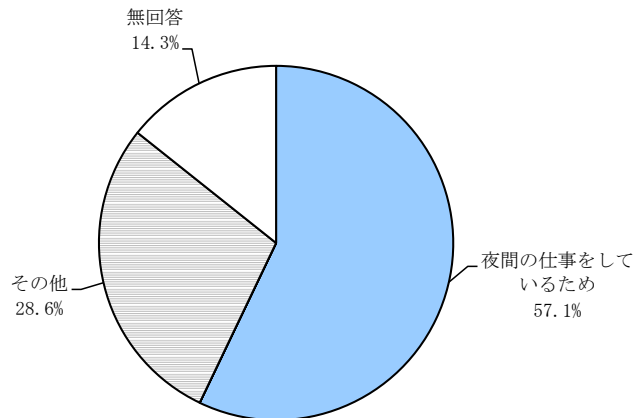
## (6) ほぼ毎日利用したい理由

問 16-1 問 16 で、「2. ほぼ毎日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

ほぼ毎日利用したい理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

ほぼ毎日利用したい理由は、「夜間の仕事をしているため」が 57.1%で最も割合が高く、次いで「その他」28.6%となっている。

【図 ほぼ毎日利用したい理由】



(n=7)

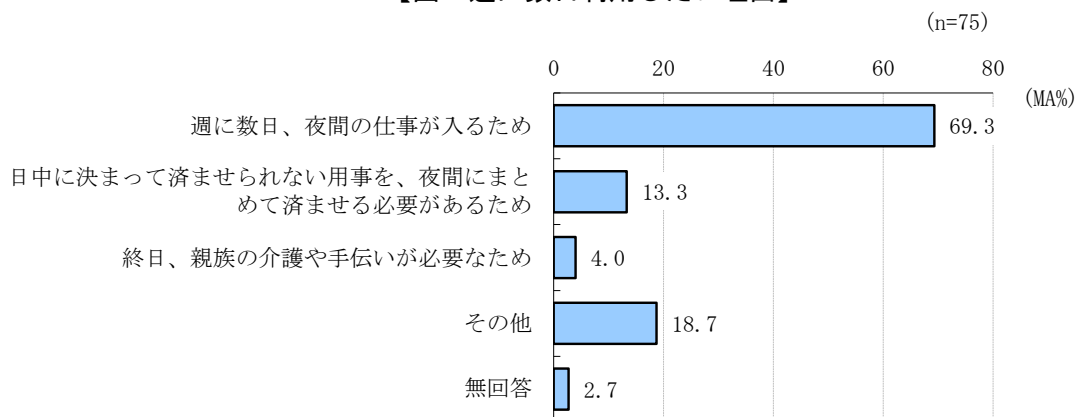
## (7) 週に数日利用したい理由

問 16-2 問 16 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

週に数日利用したい理由は、「週に数日、夜間の仕事が入るため」が 69.3%で最も割合が高く、次いで「その他」18.7%、「日中に決まって済ませられない用事を、夜間にまとめて済ませる必要があるため」13.3%となっている。

【図 週に数日利用したい理由】



## 6. 子どもの病気の際の対応について

### (1) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

問 17 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると回答された方（問 12 で「1」に○をつけた方）にうかがいます。 ※利用していない方は、問 18 へお進みください。

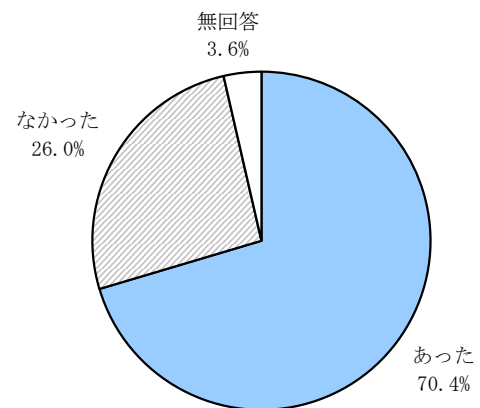
最近 1 年間に、あて名のお子さまが病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。次のいずれかの番号に○をつけてください。

【図 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと】

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことは、「あった」が 70.4%で、「なかった」が 26.0%となっている。

子どもの年齢別にみると、1 歳児以下では「あった」の割合が高くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、パート・アルバイト等で「なかった」22.7%とフルタイムと比較して割合が高くなっている。



(n=1,204)

【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ別 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと】

		合計	あった	なかった	無回答
	全体	1204	848	313	43
		100.0	70.4	26.0	3.6
子どもの年齢	0 歳児	50	41	7	2
		100.0	82.0	14.0	4.0
	1 歳児	97	83	11	3
		100.0	85.6	11.3	3.1
	2 歳児	161	126	33	2
		100.0	78.3	20.5	1.2
	3 歳児	262	176	74	12
		100.0	67.2	28.2	4.6
母親の就労タイプ	4 歳児	313	212	92	9
		100.0	67.7	29.4	2.9
	5 歳児	316	208	95	13
		100.0	65.8	30.1	4.1
	フルタイム	388	313	65	10
		100.0	80.7	16.8	2.6
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	48	43	4	1
		100.0	89.6	8.3	2.1
パート・アルバイト等	406	300	92	14	
	100.0	73.9	22.7	3.4	
パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	17	15	2	0	
		100.0	88.2	11.8	0.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	308	161	133	14
		100.0	52.3	43.2	4.5
これまで就労したことがない	25	11	10	4	
	100.0	44.0	40.0	16.0	

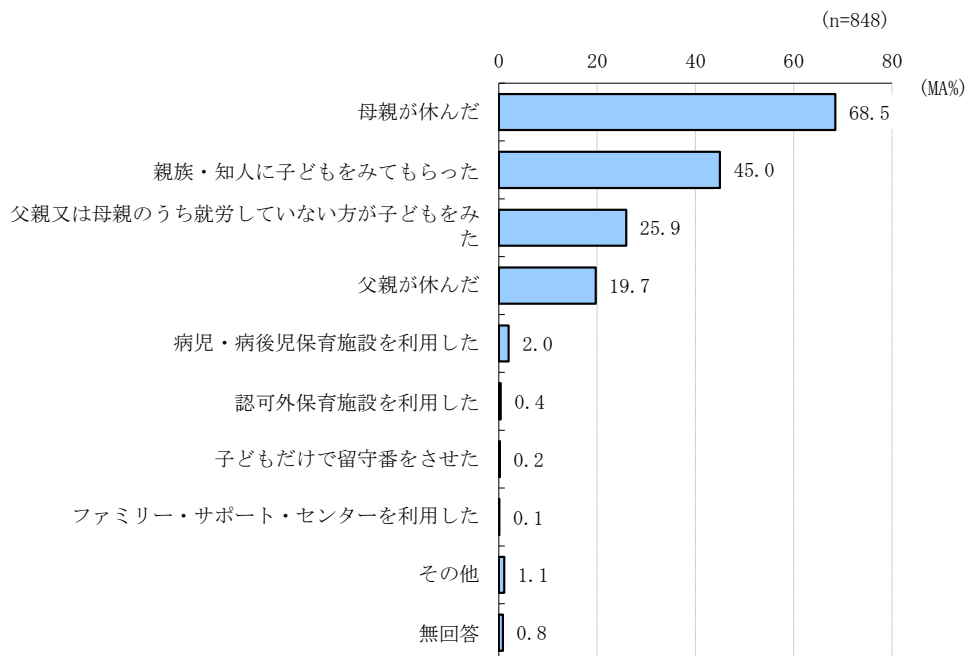
## (2) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったときの対処方法

問17-1 あて名のお子さまが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、最近1年間に行った対処方法として、次のあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれ該当する日数を口内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。)

病気やケガで通常の事業が利用できなかったときの対処方法は、「母親が休んだ」が68.5%で最も割合が高く、次いで「親族、知人に子どもをみてもらった」45.0%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」25.9%となっている。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイムで就労では、「父親が休んだ」が他の就労タイプと比べて多くなっている。

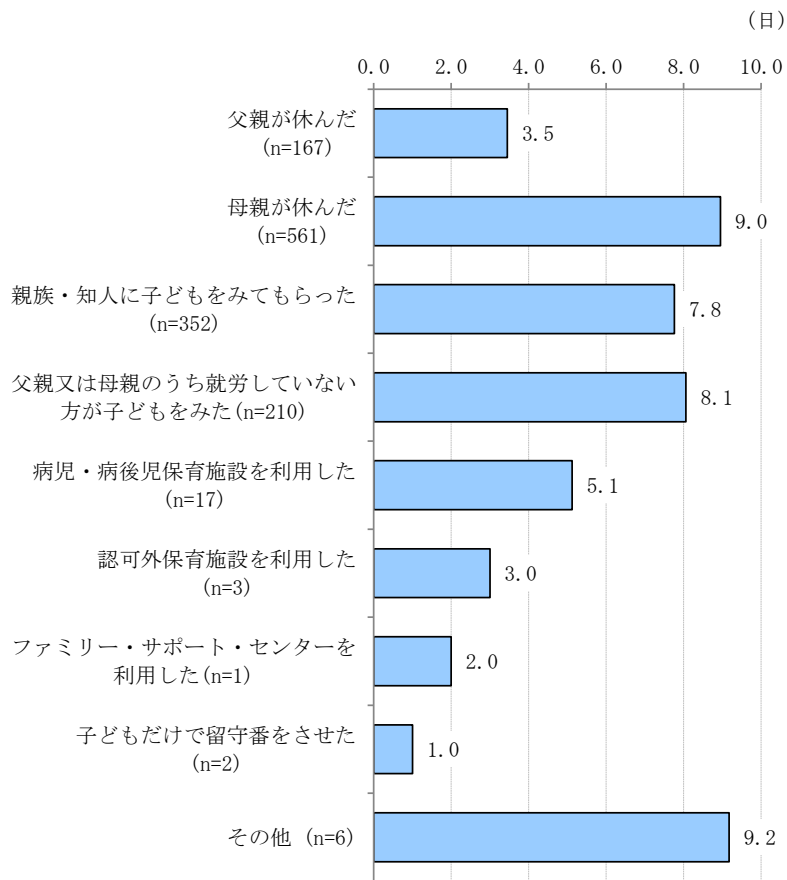
【図 病気等で通常の事業が利用できなかったときの対処方法】



【表 母親の就労タイプ別 病気等で通常の事業が利用できなかったときの対処方法】

	合計	母親が休んだ	親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	父親が休んだ	病児・病後児保育施設を利用した	認可外保育施設を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答	
全体	848	167	581	382	220	17	3	1	2	9	7	
	100.0	19.7	68.5	45.0	25.9	2.0	0.4	0.1	0.2	1.1	0.8	
母親の就労タイプ	フルタイム	313	102	269	203	16	8	1	0	2	4	2
		100.0	32.6	85.9	64.9	5.1	2.6	0.3	0.0	0.6	1.3	0.6
	フルタイム(産休・育休・介護休業中)	43	11	33	19	13	1	0	0	0	0	0
		100.0	25.6	76.7	44.2	30.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等	300	44	259	144	26	5	1	0	0	4	2
		100.0	14.7	86.3	48.0	8.7	1.7	0.3	0.0	0.0	1.3	0.7
	パート・アルバイト等(産休・育休・介護休業中)	15	1	11	2	4	2	0	0	0	1	0
		100.0	6.7	73.3	13.3	26.7	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	161	7	7	12	148	1	1	1	0	0	3
		100.0	4.3	4.3	7.5	91.9	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	1.9
これまで就労したことがない	11	1	0	0	11	0	0	0	0	0	0	
	100.0	9.1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【図 病気等で通常の事業が利用できなかったときの対処の日数】





### (3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

問 17-2 問 17-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。次のいずれかの番号に○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児保育施設等の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

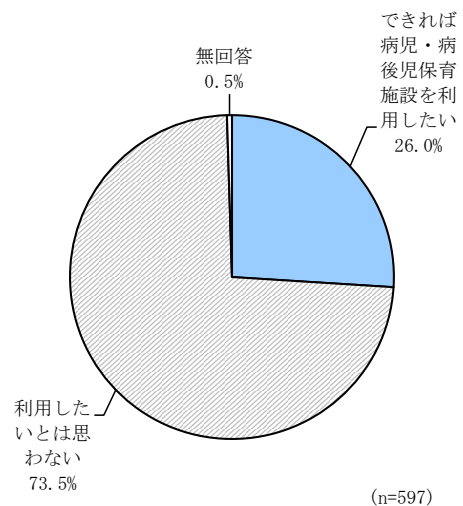
病児・病後児保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 26.0% で、「利用したいとは思わない」73.5%となっている。

利用希望日数は、「年 10 日」が 29.7%で最も割合が高く、次いで「年 5 日」21.3%、「年 12 日以上」16.1%となっている。

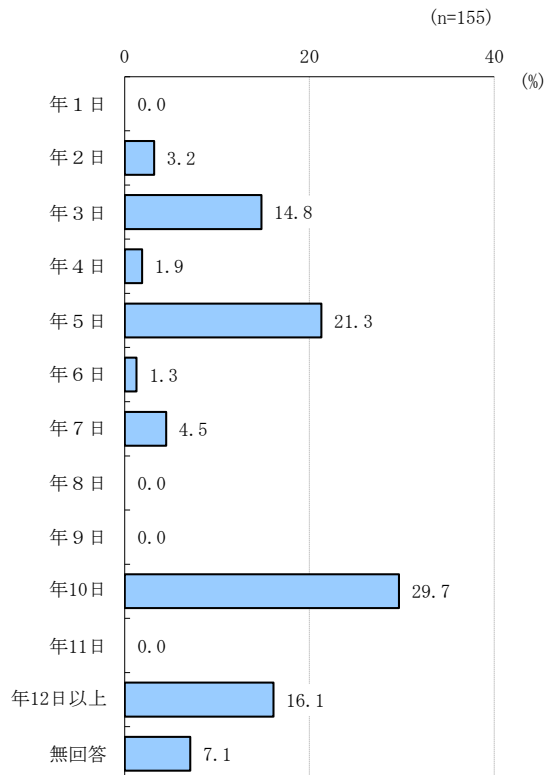
子どもの年齢別にみると、0 歳児では「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が多く 4 割を占めている。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイム（産休・育休・介護休業中）及び以前は就労していたが、現在は就労していないで「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が高くなっています。

【図 保育施設等の利用希望】



【図 病児・病後児のための保育施設等の利用希望日数】



【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ・圏域別 病児・病後児のための保育施設等の利用希望】

		合 計	設 を 利 用 し た い 病 児 ・ 病 後 児 保 育 施	利 用 し た い と は 思 わ な い	無 回 答
	全 体	597 100.0	155 26.0	439 73.5	3 0.5
子 ど も の 年 齢	0歳児	39 100.0	16 41.0	23 59.0	0 0.0
	1歳児	74 100.0	29 39.2	45 60.8	0 0.0
	2歳児	101 100.0	33 32.7	68 67.3	0 0.0
	3歳児	119 100.0	25 21.0	92 77.3	2 1.7
	4歳児	123 100.0	29 23.6	94 76.4	0 0.0
	5歳児	140 100.0	23 16.4	116 82.9	1 0.7
母 親 の 就 労 タ イ プ	フルタイム	275 100.0	78 28.4	196 71.3	1 0.4
	フルタイム（産休・育 休・介護休業中）	33 100.0	11 33.3	21 63.6	1 3.0
	パート・アルバイト等	262 100.0	59 22.5	202 77.1	1 0.4
	パート・アルバイト等 （産休・育休・介護休業中）	11 100.0	3 27.3	8 72.7	0 0.0
	以前は就労していたが 、現在は就労していない	13 100.0	4 30.8	9 69.2	0 0.0
	これまで就労したこと がない	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
圏 域 別	川西	120 100.0	40 33.3	78 65.0	2 1.7
	川東	167 100.0	34 20.4	133 79.6	0 0.0
	上部西	137 100.0	37 27.0	99 72.3	1 0.7
	上部東	163 100.0	41 25.2	122 74.8	0 0.0

## 7. 不定期の保育事業や一時預かり等の利用について

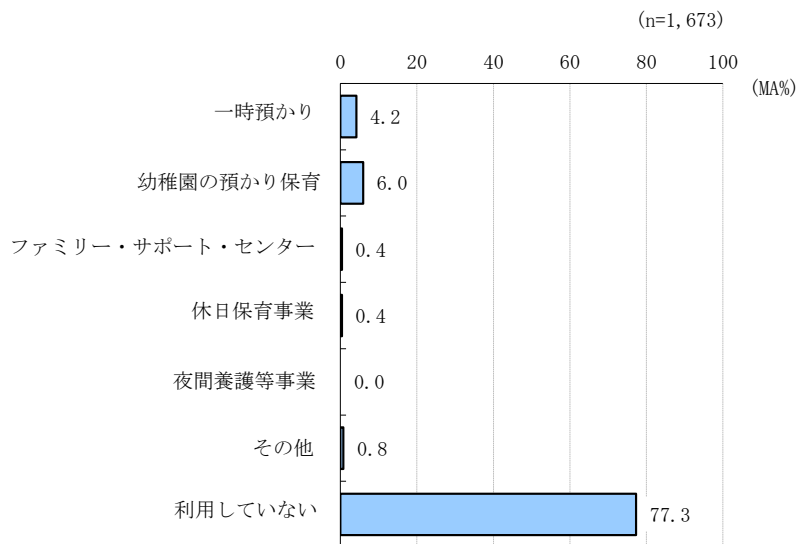
### (1) 不定期に利用している事業

問18 あて名のお子さまについて、日中の「定期的」な保育や病気以外に、私用、親の通院、一時的な就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。次のあてはまる番号すべてに○をつけ、最近1年間のおおよその利用日数を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

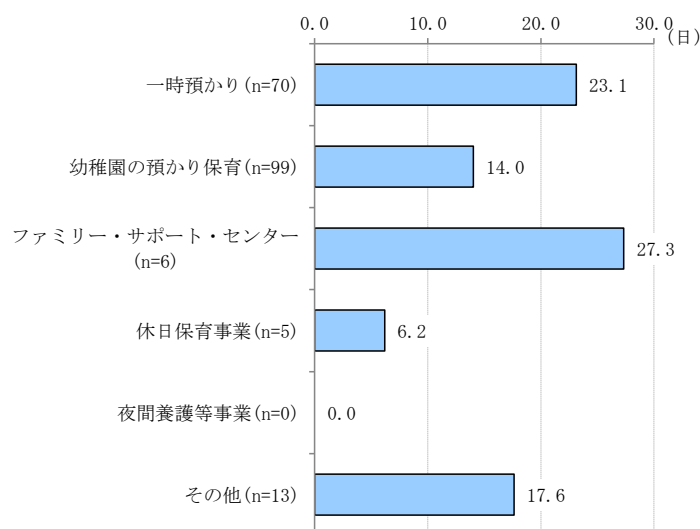
不定期に利用している事業は、「利用していない」が77.3%と最も割合が高い。

平均利用日数は、「ファミリー・サポート・センター」が27.3日と最も多く、次いで「一時預かり」23.1日、「その他」17.6日となっている。

【図 不定期に利用している事業】



【図 不定期に利用している事業の利用日数】



## (2) 今後1年間における一時預かり等の利用希望

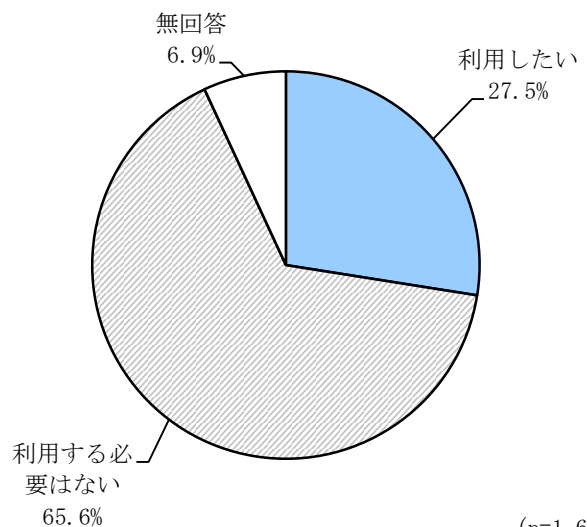
問19 あて名のお子さまについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、今後1年間に何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思われますか。次のあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれ必要と見込まれる日数を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

【表 一時預かり等の利用希望】

今後1年間における一時預かり等の利用希望は、「利用したい」27.5%、「利用する必要はない」65.6%となっている。

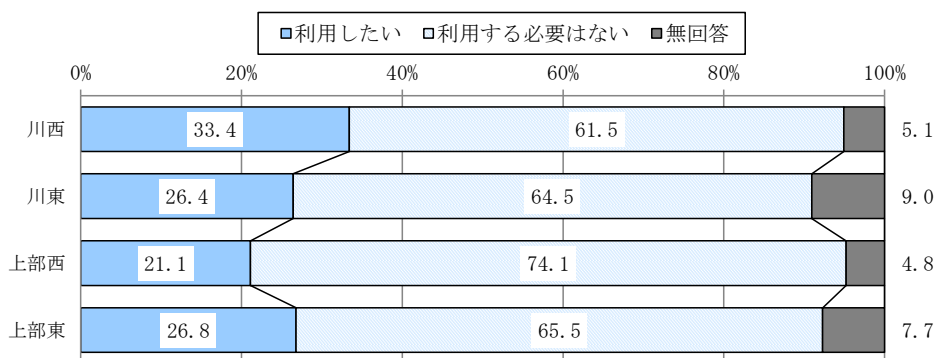
圏域別にみると、川西圏域で「利用したい」割合が他の圏域と比較して高くなっている。

また、利用したい方の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、親の通院など」が60.0%日と最も割合が高く、次いで「私用」53.5%、「不定期の就労」25.9%となっている。

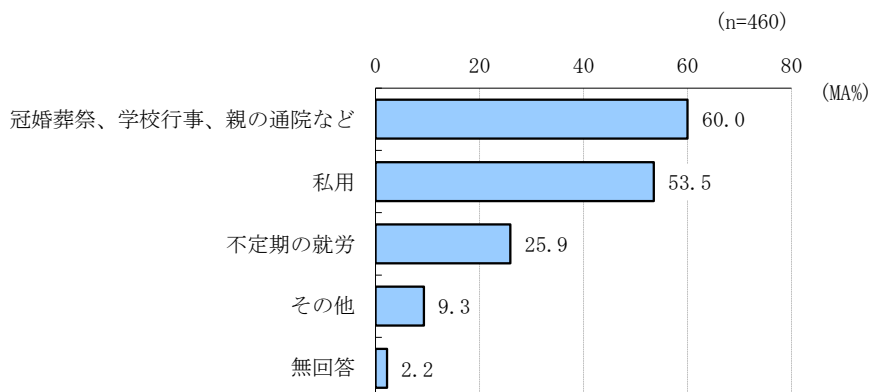


(n=1, 673)

【図 圏域別一時預かり等の利用希望】



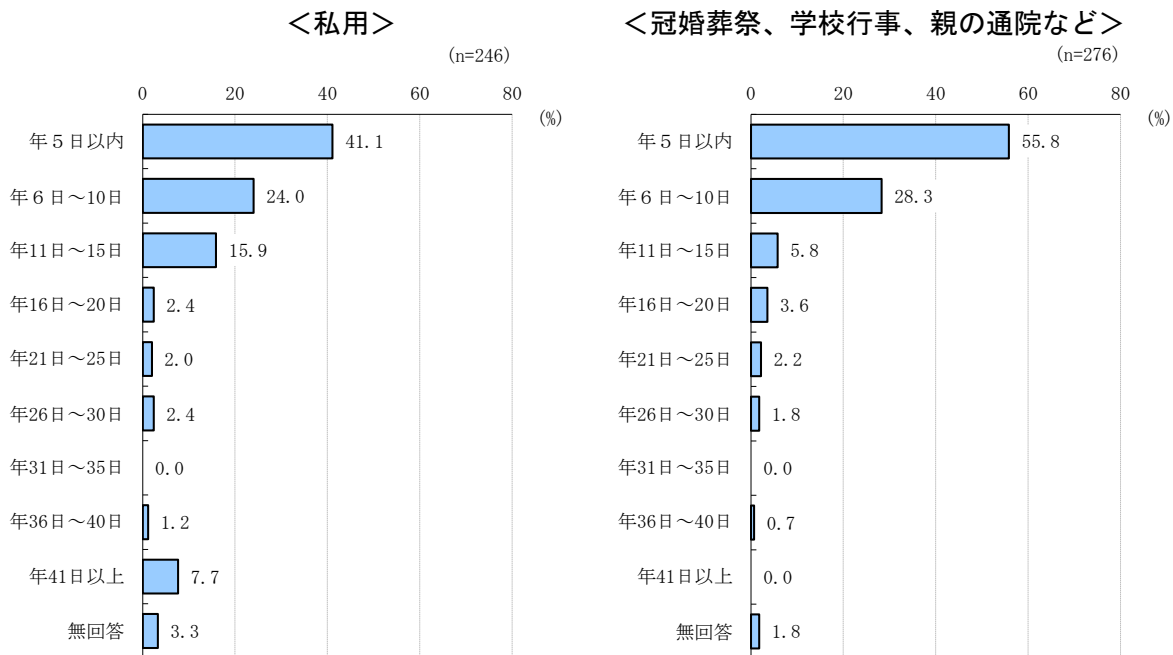
【図 一時預かり等の利用目的】



【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ別 一時預かり等の利用目的】

	合 計	一時預かり等の利用希望			合 計	一時預かり等の利用目的					
		利用したい	利用する必要はない	無回答		私用	冠婚葬祭、学校行事、親の通院など	不定期の就労	その他	無回答	
全 体	1673 100.0	460 27.5	1098 65.6	115 6.9	460 100.0	246 53.5	276 60.0	119 25.9	43 9.3	10 2.2	
子 ども の 年 齢	0歳児	229 100.0	58 25.3	150 65.5	21 9.2	58 100.0	41 70.7	42 72.4	7 12.1	4 6.9	1 1.7
	1歳児	243 100.0	81 33.3	142 58.4	20 8.2	81 100.0	44 54.3	44 54.3	19 23.5	10 12.3	3 3.7
	2歳児	270 100.0	75 27.8	178 65.9	17 6.3	75 100.0	45 60.0	45 60.0	19 25.3	10 13.3	1 1.3
	3歳児	283 100.0	78 27.6	188 66.4	17 6.0	78 100.0	38 48.7	46 59.0	22 28.2	6 7.7	2 2.6
	4歳児	320 100.0	84 26.3	219 68.4	17 5.3	84 100.0	44 52.4	46 54.8	25 29.8	5 6.0	2 2.4
	5歳児	320 100.0	82 25.6	216 67.5	22 6.9	82 100.0	33 40.2	51 62.2	27 32.9	8 9.8	1 1.2
母 親 の 就 労 タ イ プ	フルタイム	401 100.0	86 21.4	278 69.3	37 9.2	86 100.0	39 45.3	36 41.9	41 47.7	6 7.0	2 2.3
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	101 100.0	34 33.7	59 58.4	8 7.9	34 100.0	24 70.6	25 73.5	7 20.6	2 5.9	1 2.9
	パート・アルバイト等	437 100.0	86 19.7	320 73.2	31 7.1	86 100.0	45 52.3	48 55.8	31 36.0	3 3.5	4 4.7
	パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	21 100.0	6 28.6	12 57.1	3 14.3	6 100.0	3 50.0	4 66.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	647 100.0	232 35.9	381 58.9	34 5.3	232 100.0	124 53.4	152 65.5	36 15.5	27 11.6	3 1.3
	これまで就労したことがない	50 100.0	14 28.0	35 70.0	1 2.0	14 100.0	10 71.4	9 64.3	2 14.3	2 14.3	0 0.0

【図 利用日数】



### (3) 泊りがけで家族以外にみてもらう必要があったこと

問 20 最近1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、あて名のお子さまが泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

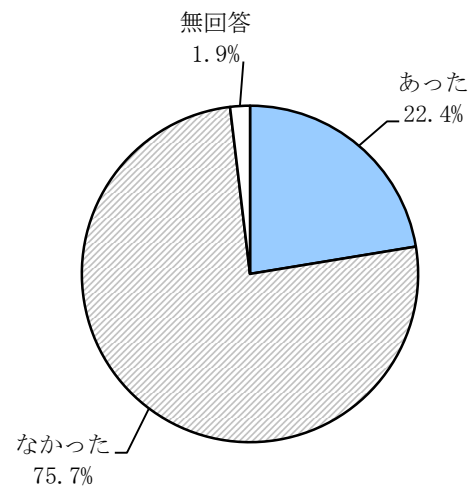
次のいずれかの番号に○をつけ、あった場合には、その場合の対処方法として次のあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれ該当する日数を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

【表 利用状況】

泊りがけで家族以外にみてもらう必要があったことでは「なかった」が75.7%、「あった」が22.4%となっている。

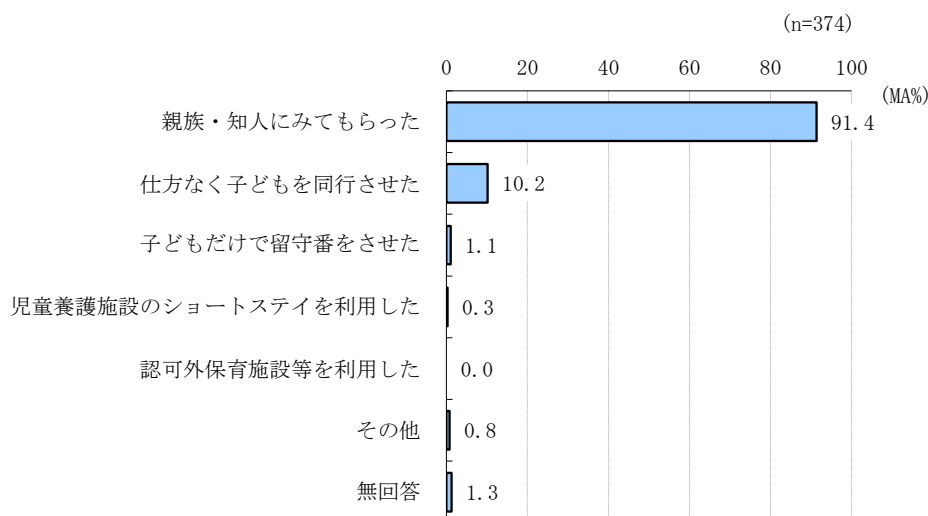
泊りがけで家族以外にみてもらう必要があったときの対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が91.4%と多数を占めている。

母親の就労タイプ別にみると、パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）で「あった」割合が高くなっている。



(n=1,673)

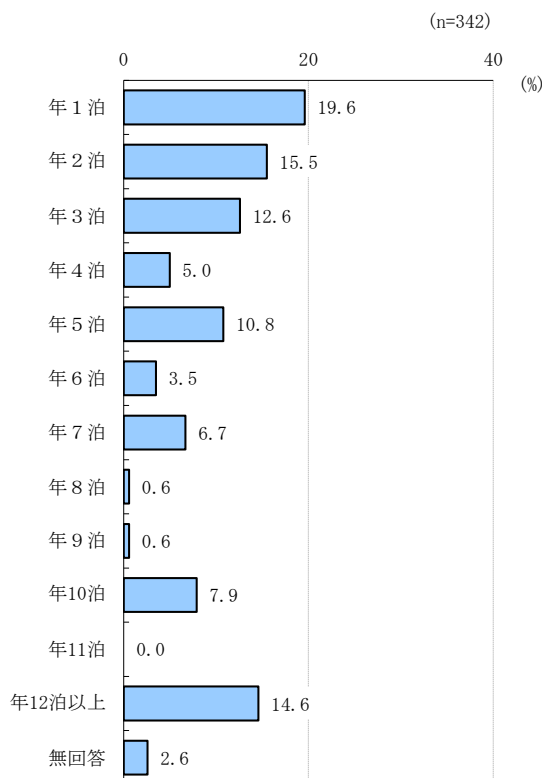
【図 最近1年間の対処方法】



【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ別 最近1年間の対処方法】

		合計	あった	なかった	無回答	合計	親族・知人にみてもらった	児童養護施設の利用した	認可外保育施設等を利用した	仕方なく子どもを同行させた	子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
	全体	1673 100.0	374 22.4	1267 75.7	32 1.9	374 100.0	342 91.4	1 0.3	0 0.0	38 10.2	4 1.1	3 0.8	5 1.3
子どもの年齢	0歳児	229 100.0	34 14.8	190 83.0	5 2.2	34 100.0	31 91.2	0 0.0	0 0.0	5 14.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1歳児	243 100.0	46 18.9	192 79.0	5 2.1	46 100.0	44 95.7	0 0.0	0 0.0	2 4.3	0 0.0	0 0.0	1 2.2
	2歳児	270 100.0	68 25.2	199 73.7	3 1.1	68 100.0	59 86.8	0 0.0	0 0.0	8 11.8	0 0.0	2 2.9	3 4.4
	3歳児	283 100.0	65 23.0	210 74.2	8 2.8	65 100.0	59 90.8	0 0.0	0 0.0	7 10.8	1 1.5	1 1.5	1 1.5
	4歳児	320 100.0	80 25.0	233 72.8	7 2.2	80 100.0	76 95.0	0 0.0	0 0.0	5 6.3	2 2.5	0 0.0	0 0.0
	5歳児	320 100.0	79 24.7	237 74.1	4 1.3	79 100.0	71 89.9	1 1.3	0 0.0	11 13.9	1 1.3	0 0.0	0 0.0
母親の就労タイプ	フルタイム	401 100.0	106 26.4	290 72.3	5 1.2	106 100.0	97 91.5	1 0.9	0 0.0	10 9.4	3 2.8	1 0.9	1 0.9
	フルタイム(産休・育休・介護休業中)	101 100.0	27 26.7	66 65.3	8 7.9	27 100.0	25 92.6	0 0.0	0 0.0	2 7.4	0 0.0	1 3.7	1 3.7
	パート・アルバイト等	437 100.0	75 17.2	351 80.3	11 2.5	75 100.0	67 89.3	0 0.0	0 0.0	8 10.7	1 1.3	0 0.0	2 2.7
	パート・アルバイト等(産休・育休・介護休業中)	21 100.0	10 47.6	11 52.4	0 0.0	10 100.0	8 80.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	647 100.0	140 21.6	500 77.3	7 1.1	140 100.0	129 92.1	0 0.0	0 0.0	16 11.4	0 0.0	1 0.7	1 0.7
	これまで就労していない	50 100.0	11 22.0	39 78.0	0 0.0	11 100.0	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【図 親族、知人にみてもらった泊数】



#### (4) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 21 あて名のお子さまは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場所のことで、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

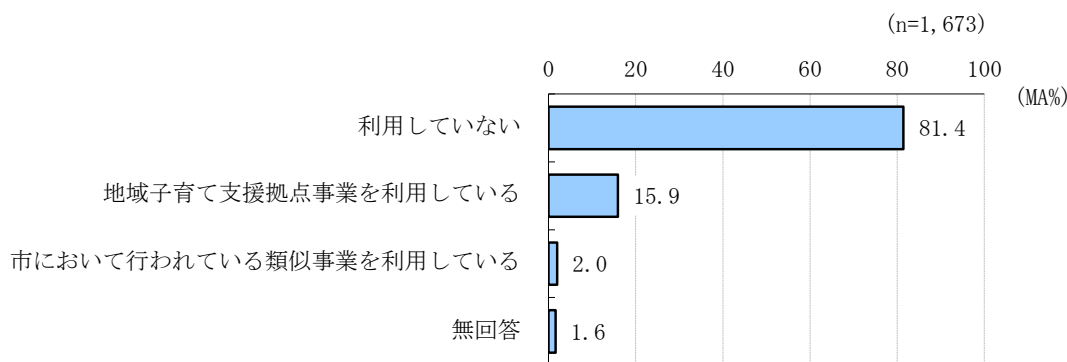
地域子育て支援拠点事業の利用状況では「利用していない」が81.4%、「地域子育て支援拠点事業を利用している」が15.9%、「市において行われている類似事業を利用している」2.0%となっている。

圏域別にみると、上部西圏域で利用している割合が、他の圏域と比較して低くなっている。

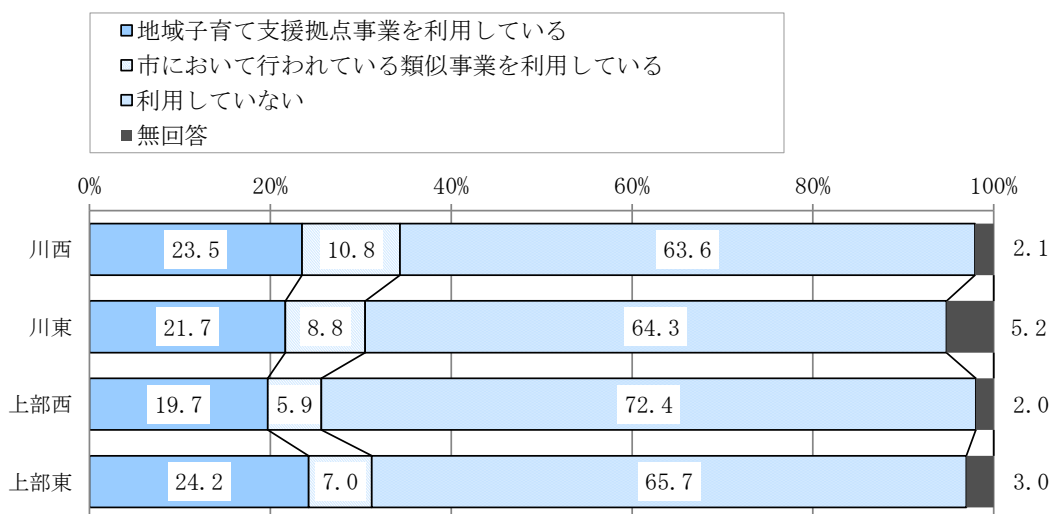
地域子育て支援拠点事業の利用回数は、「月4回（週1回）～月7回」が40.6%で最も割合が高く、次いで「月1回」19.5%、「月8回（週2回）～月11回」15.4%となっている。

市において行われている類似の事業の利用回数は、「月4回（週1回）～月7回」が33.3%で最も割合が高く、次いで「月1回」24.2%、「月2回」12.1%となっている。

【図 地域子育て支援拠点事業の利用状況】

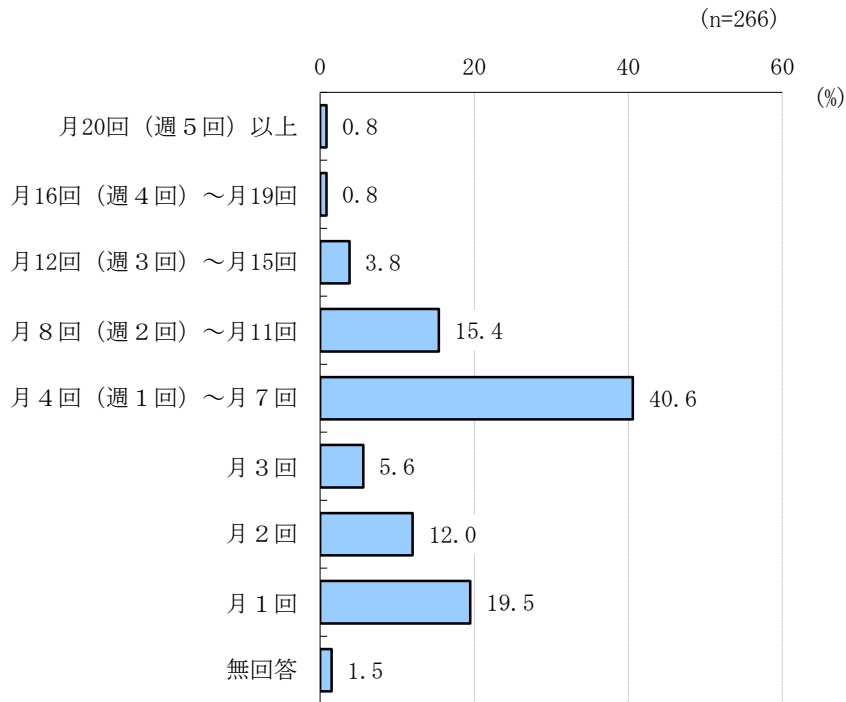


【図 圏域別 地域子育て支援拠点事業の利用状況】

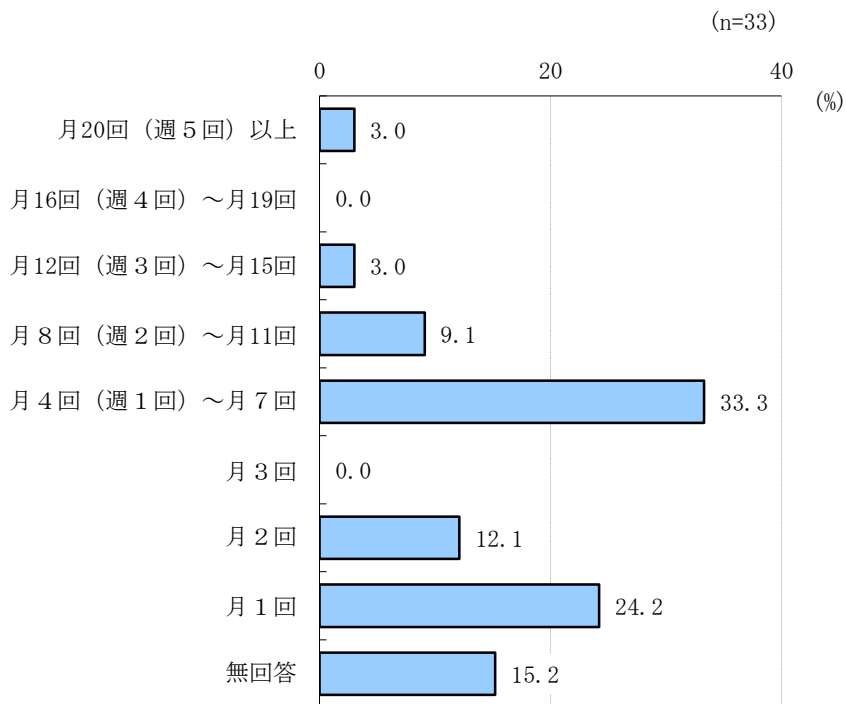




【図 地域子育て支援拠点事業の利用回数】



【図 類似事業の利用回数】



## (5) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問 22 問 21 の地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。次のあてはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、材料代等の実費負担が発生することを踏まえてお答えください。

【図 地域子育て支援拠点事業の利用希望】

地域子育て支援拠点事業の利用希望では「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 65.9%、「これまで利用したことはないが、今後利用したい」が 22.6%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」8.2%となっている。

圏域別にみると、上部西圏域で「これまで利用したことはないが、今後利用したい」割合が、他の圏域と比較して低くなっている。

今後利用したい回数は、「月 1 回」が 32.5%で最も割合が高く、次いで「月 4 回（週 1 回）～月 7 回」23.8%、「月 2 回」22.2%となっている。

利用回数を増やしたい回数は、「更に月 4 回（週 1 回）～月 7 回」が 32.8%で最も割合が高く、次いで「更に月 8 回（週 2 回）～月 11 回」21.9%、「更に月 3 回」11.7%となっている。

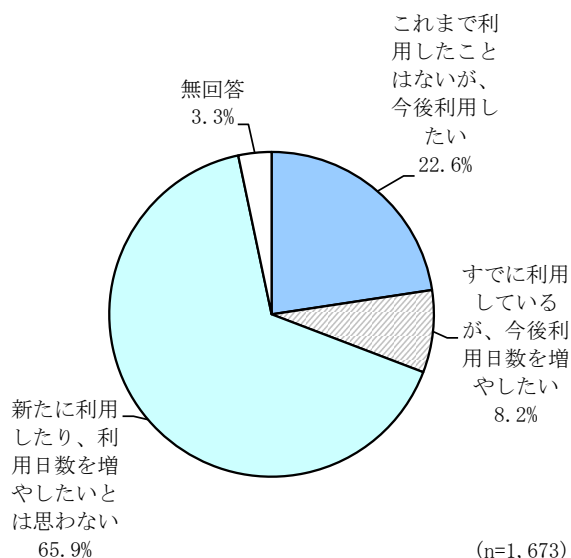
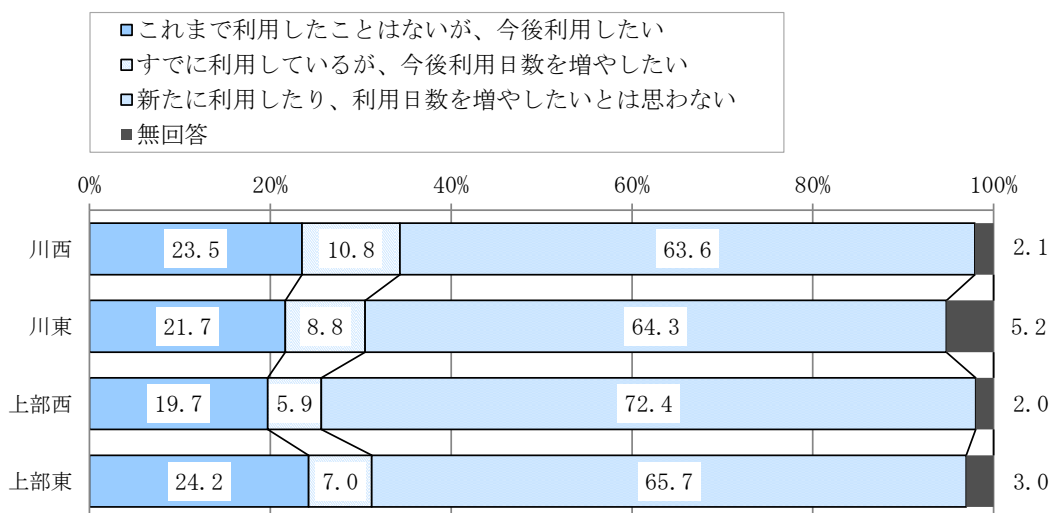
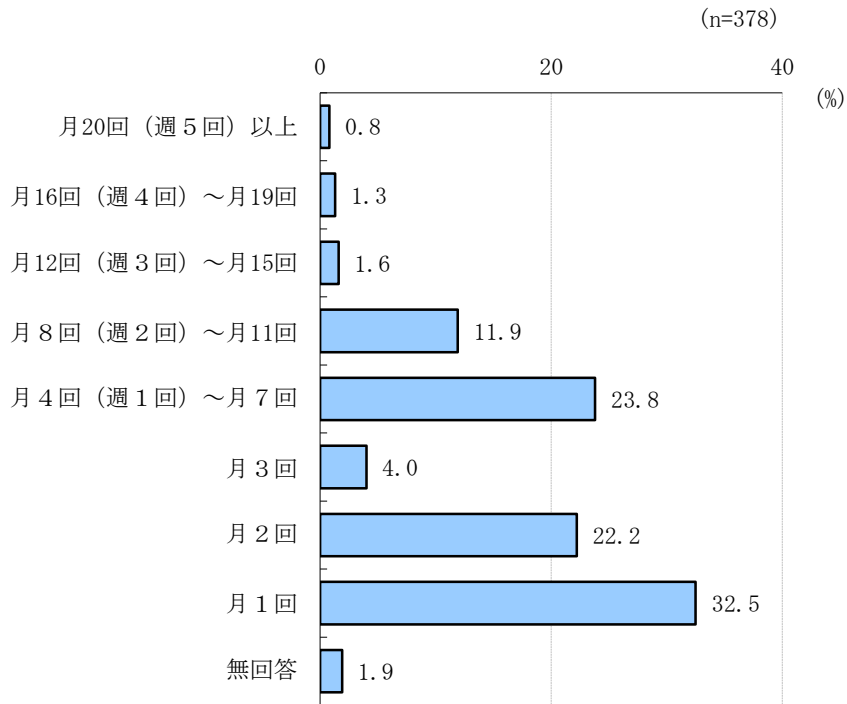


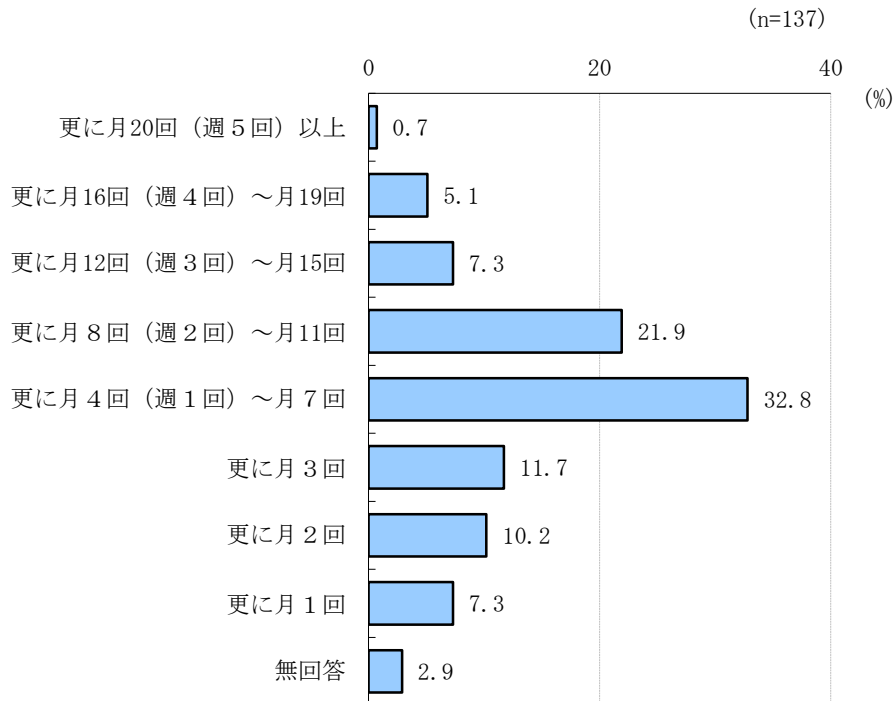
図 圏域別 地域子育て支援拠点事業の利用希望



【図 今後利用したい回数】



【図 利用回数を増やしたい回数】



## (6) 地域子育て支援事業の認知度等

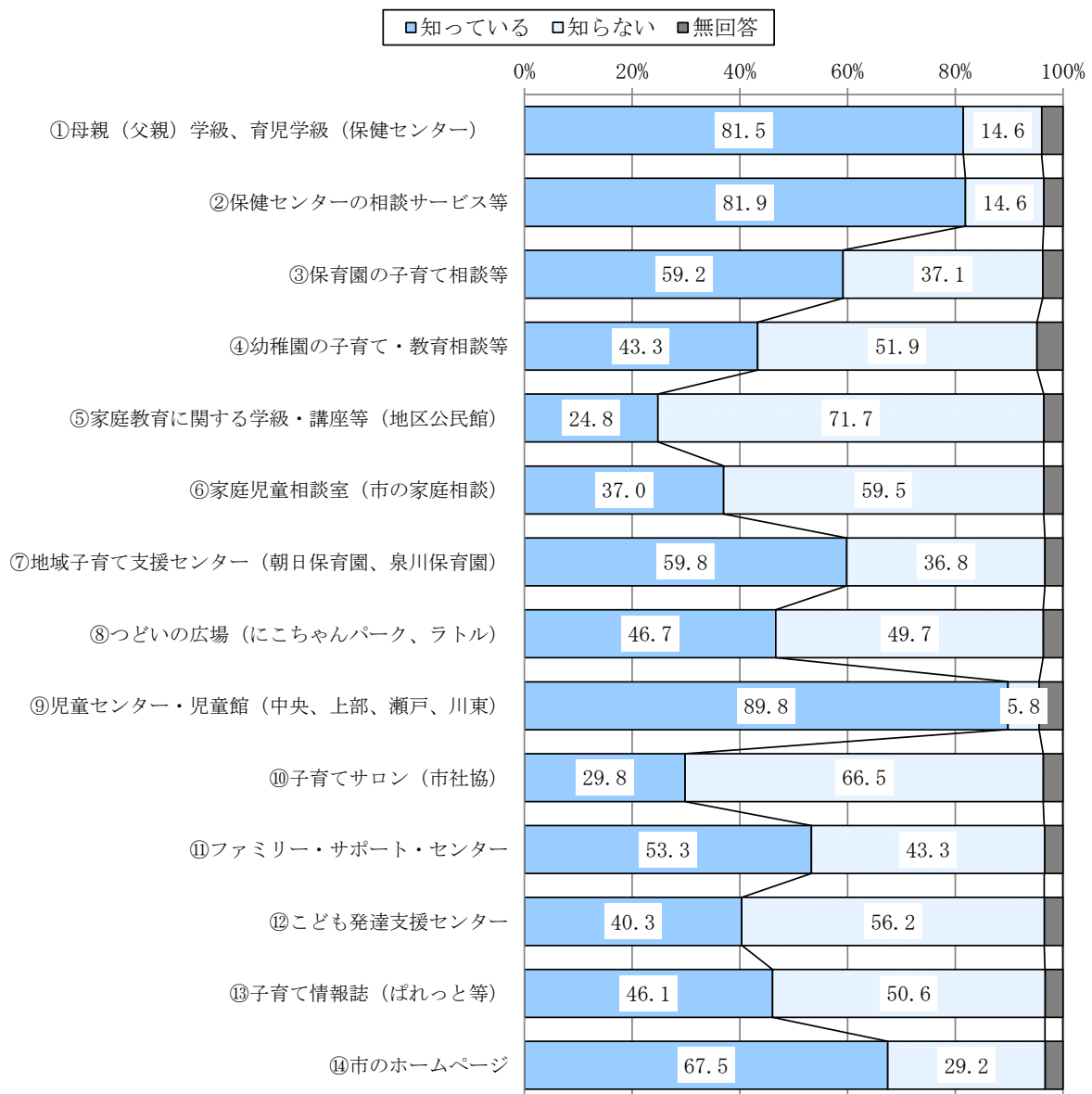
問 23 下表に記載している事業名で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをそれぞれお答えください。①～⑭の事業ごとにA～Cの各項目について、「はい・いいえ」のいずれかに○をつけてください。

子育て支援事業の認知度は、⑤家庭教育に関する学級・講座等（地区公民館）、⑩子育てサロン（市社協）で「知らない」割合が高くなっている。

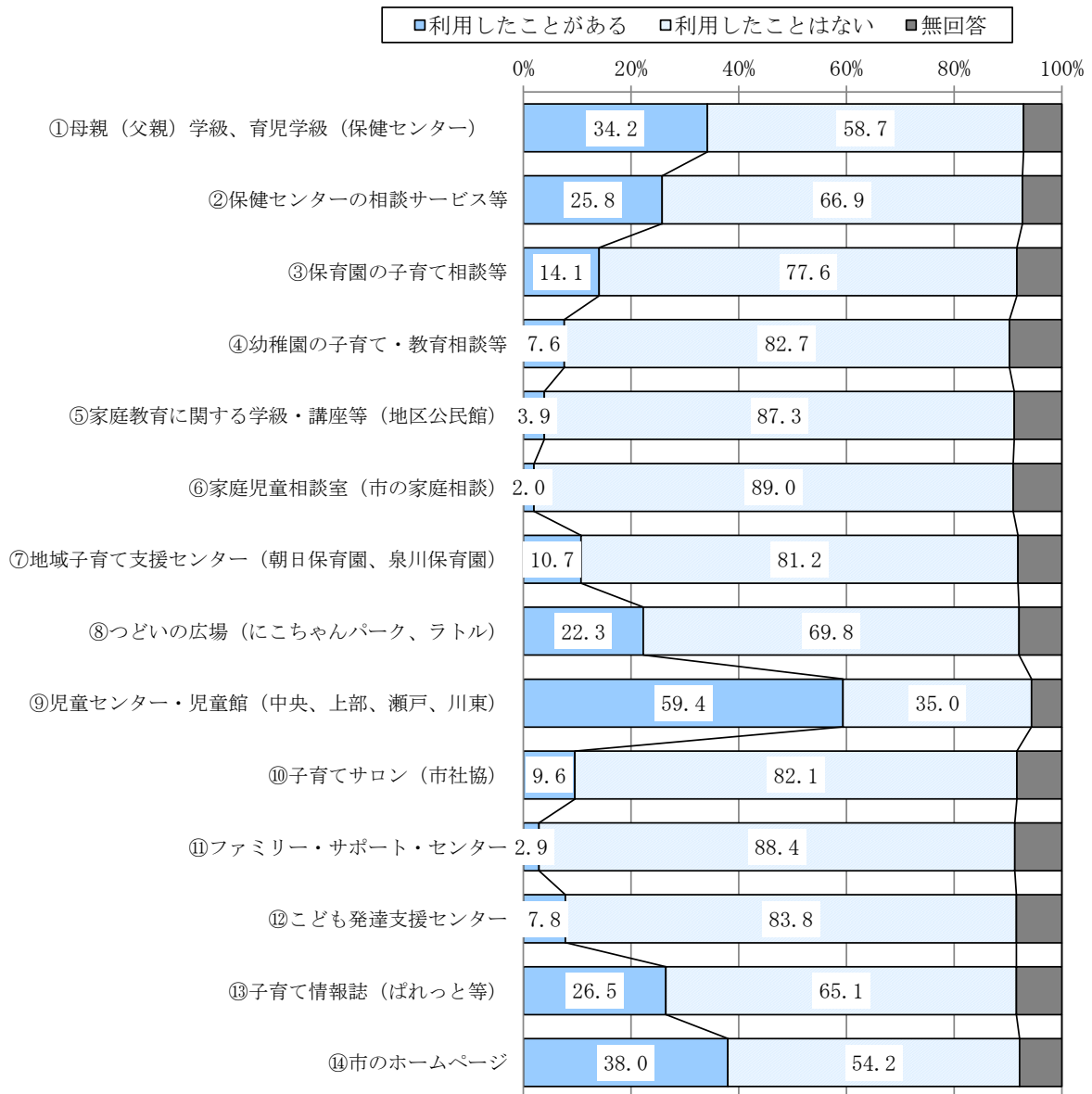
利用状況は、「利用したことがある」が、⑨児童センター・児童館（中央、上部、瀬戸、川東）が59.4%と最も割合が高く、次いで⑭市のホームページで38.0%となっている。

利用意向は、⑨児童センター・児童館（中央、上部、瀬戸、川東）が67.1%と最も割合が高く、次いで⑭市のホームページで54.5%となっている。

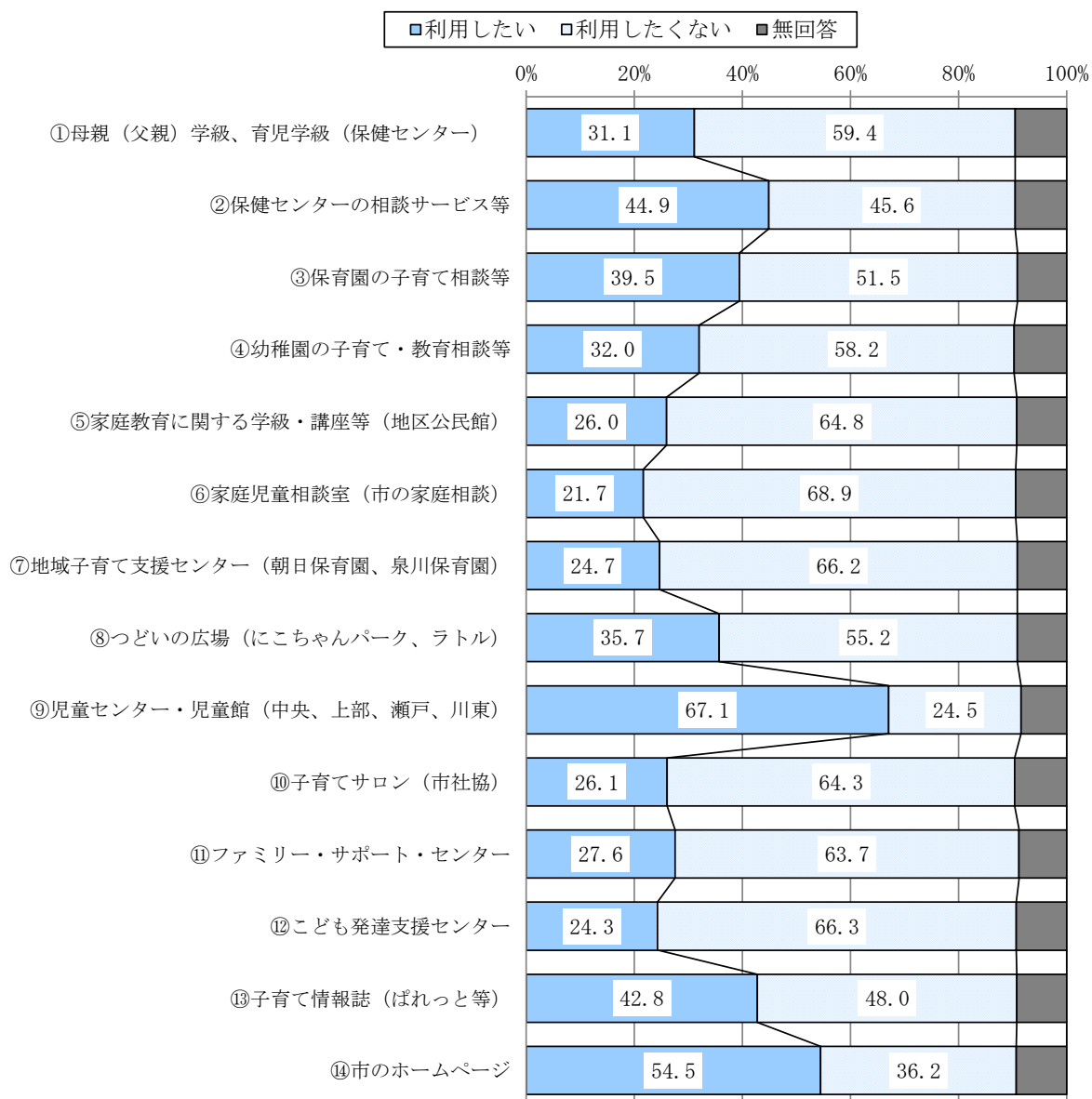
【図 子育て支援事業の認知度】



【図 子育て支援事業の利用状況】

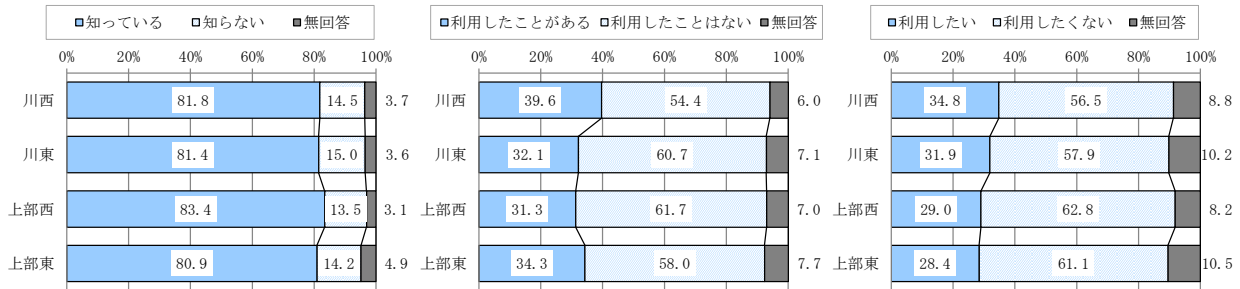


【図 子育て支援事業の利用意向】

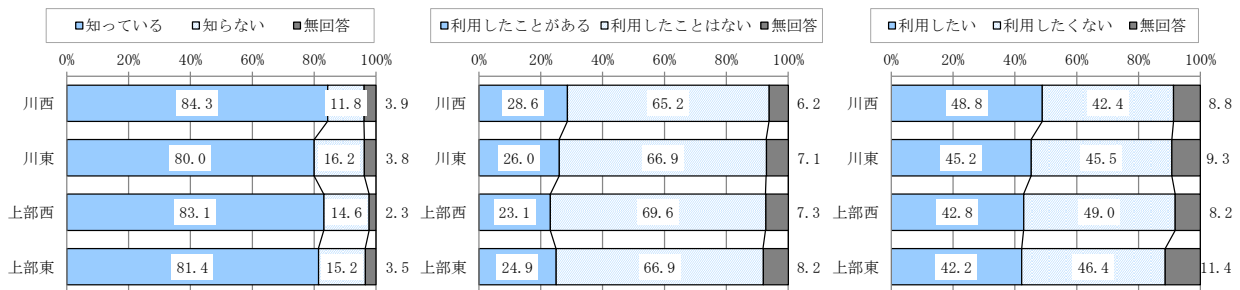


## (7) 地域子育て支援事業の認知度等 (圏域別)

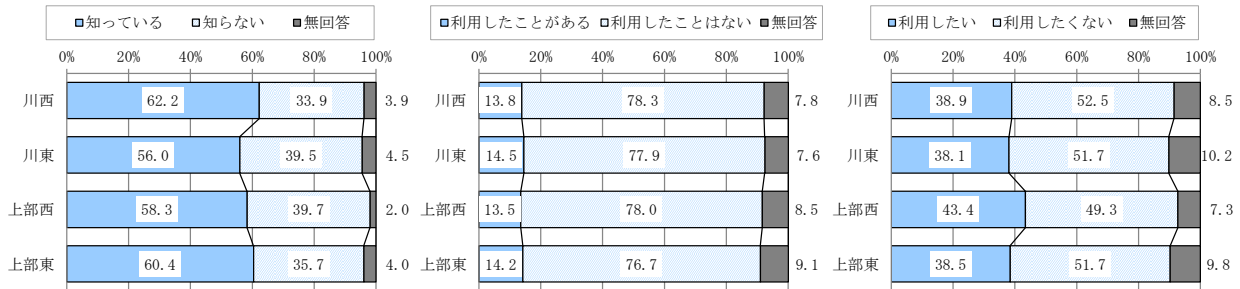
### ① 母親 (父親) 学級、育児学級 (保健センター)



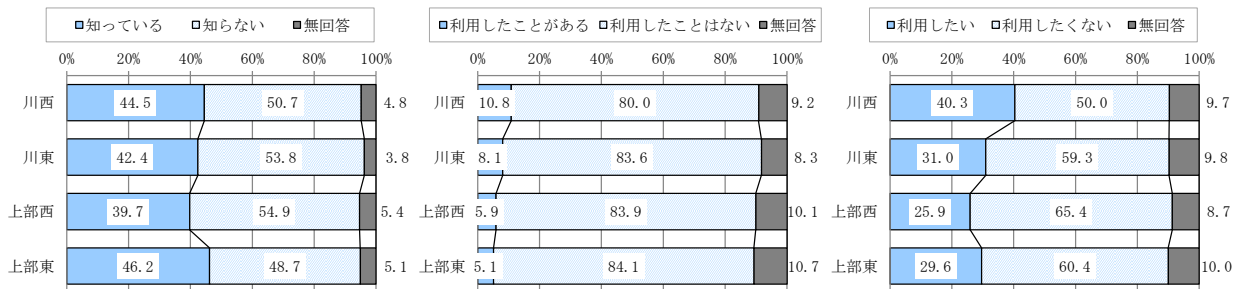
### ② 保健センターの相談サービス等



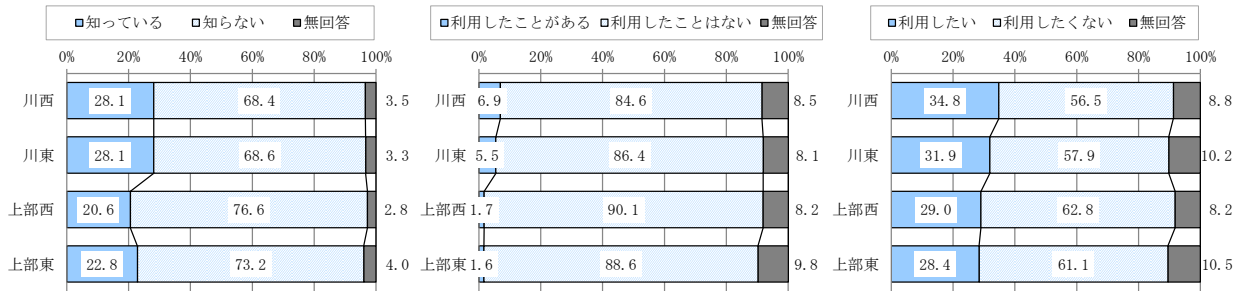
### ③ 保育園の子育て相談等



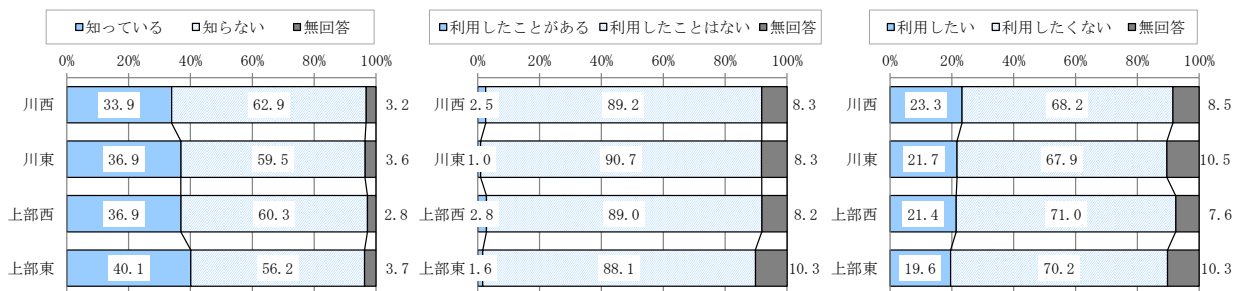
### ④ 幼稚園の子育て・教育相談等



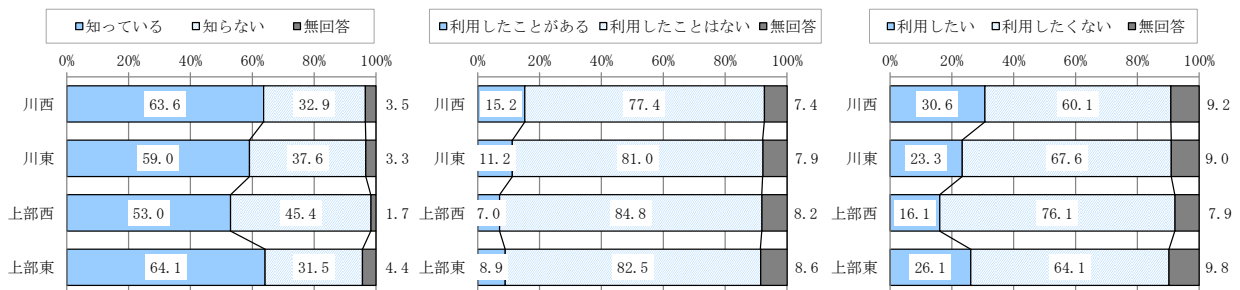
⑤家庭教育に関する学級・講座等（地区公民館）



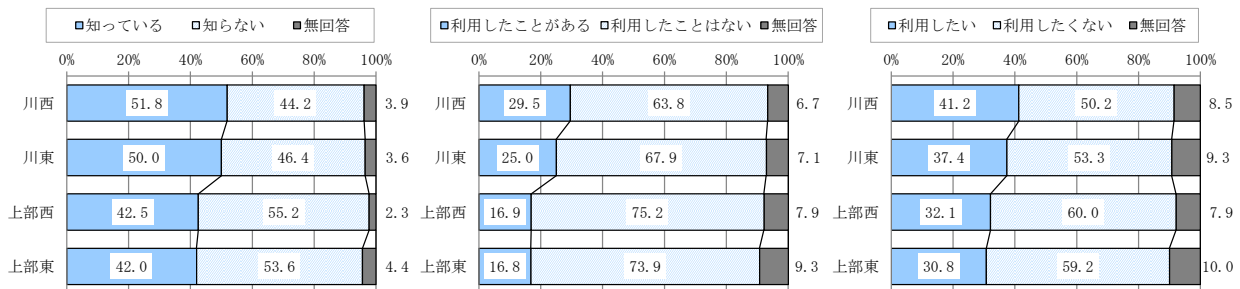
⑥家庭児童相談室（市の家庭相談）



⑦地域子育て支援センター（朝日保育園、泉川保育園）

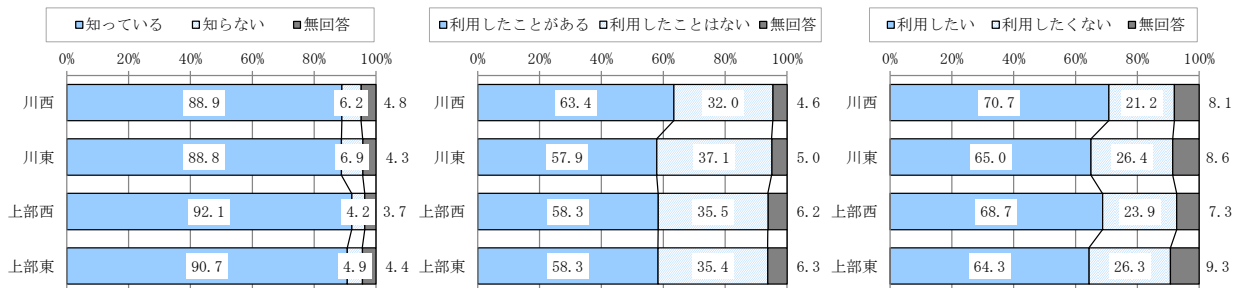


⑧つどいの広場（にこちゃんパーク、ラトル）

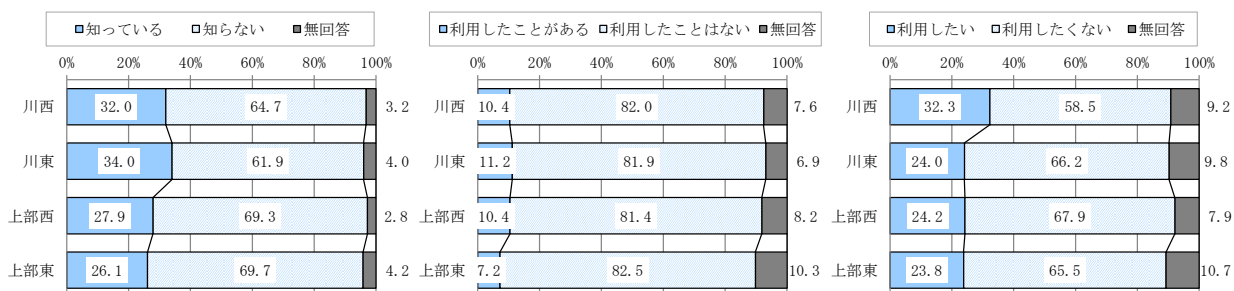




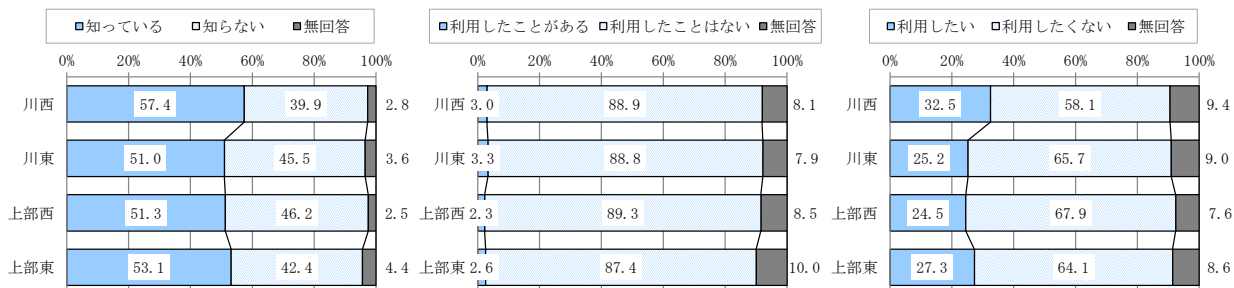
⑨児童センター・児童館（中央、上部、瀬戸、川東）



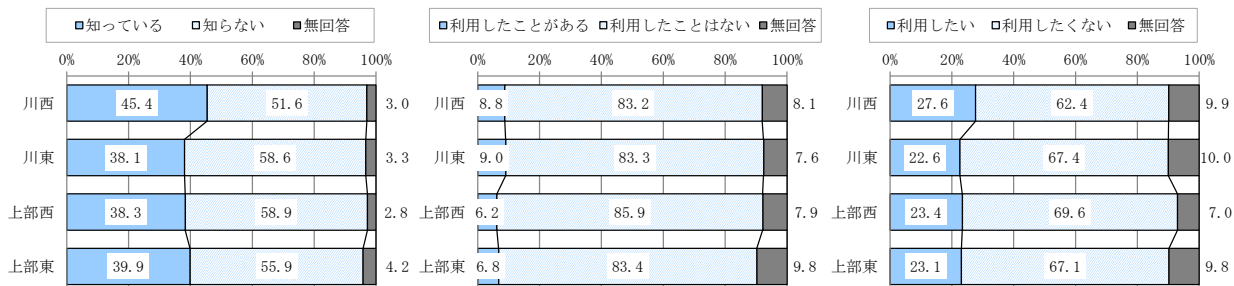
⑩子育てサロン（市社協）



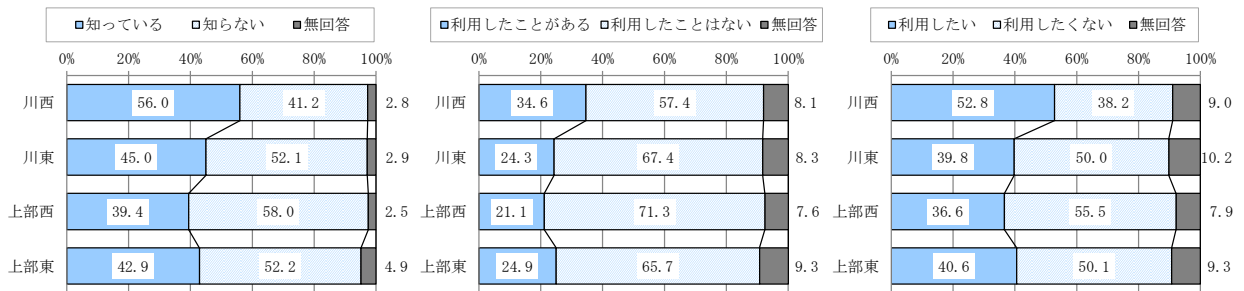
⑪ファミリー・サポート・センター



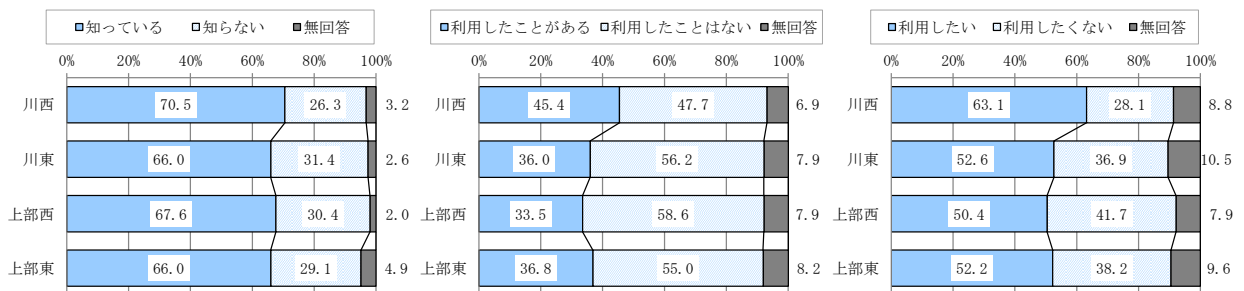
⑫こども発達支援センター



### ⑬子育て情報誌（ぱれっと等）



### ⑭市のホームページ



## 8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

### (1) 放課後の時間を過ごさせたい場所

問 24 あて名のお子さまについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思われませんか。次のあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれに該当する日数を数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

また、「5 放課後児童クラブ」と答えた方は、利用を希望する時間を口内に数字でご記入ください。利用の時間は必ず(例)18時のように、24時間制でご記入ください。

問 25 かなり先のことにはなりますが、あて名のお子さまについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思われませんか。次のあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれに該当する日数を数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

また、「5 放課後児童クラブ」と答えた方は、利用を希望する時間を口内に数字でご記入ください。利用の時間は必ず(例)18時のように、24時間制でご記入ください。

放課後の時間を過ごさせたい場所は、低学年は「自宅」が54.7%と最も割合が高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」45.6%、「習い事」39.7%となっている。高学年は「自宅」が70.3%と最も割合が高く、次いで「習い事」48.8%、「祖父母、親戚宅や友人・知人宅」26.6%となっている。

低学年について、母親の就労タイプ別にみると、フルタイムでは「放課後児童クラブ（学童保育）」が76.9%と割合が高くなっている。就労していないでは「自宅」の割合が高くなっている。

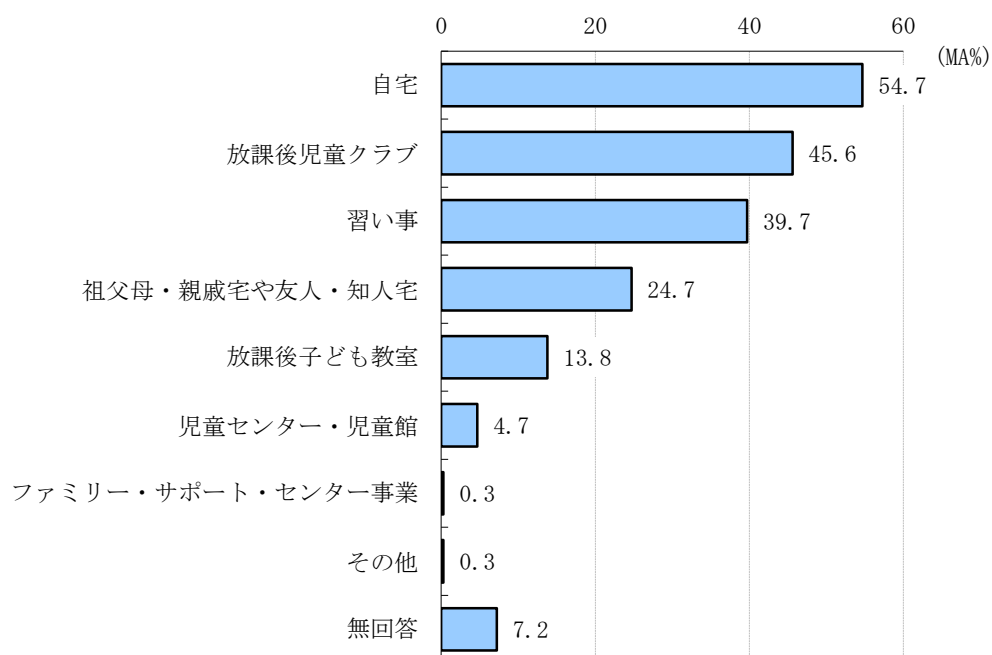
高学年について、母親の就労タイプ別にみると、フルタイムでは「自宅」の割合が高くなっている。就労していないでは「習い事」の割合が高くなっている。

放課後の時間を過ごさせたい日数の平均は、低学年は「放課後児童クラブ（学童保育）」が週4.5日で最も多く、次いで「自宅」週3.7日となっている。高学年は「放課後児童クラブ（学童保育）」が週4.1日と最も多く、次いで「自宅」週3.7日となっている。

放課後児童クラブの希望時間は、低学年は「17時まで」が41.8%と最も割合が高く、次いで「18時まで」39.0%、「16時まで」13.0%となっている。高学年は「18時まで」が42.9%、「17時まで」41.7%、「16時まで」7.1%となっている。

【図 放課後の時間を過ごさせたい場所（低学年）】

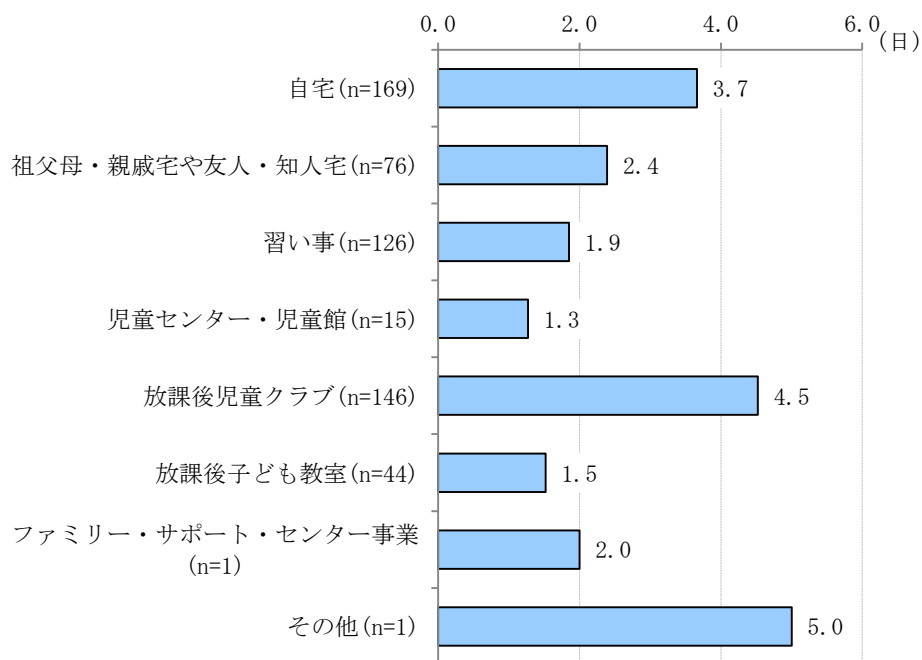
(n=320)



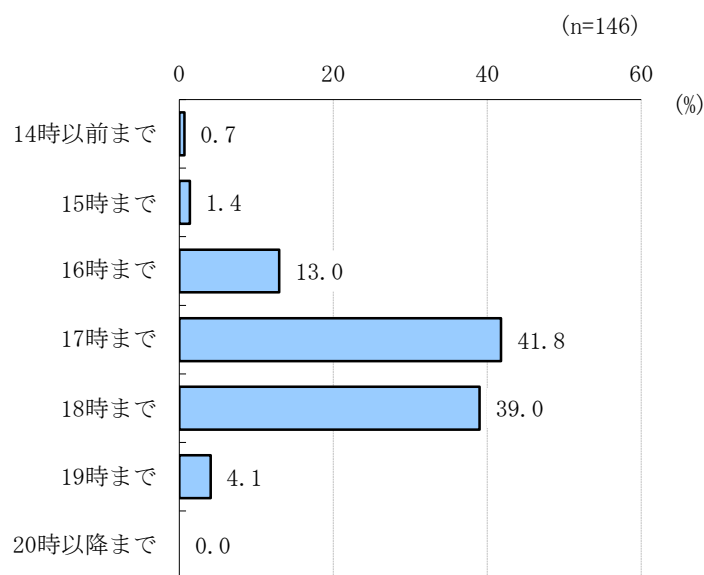
【表 母親の就労タイプ別 放課後の時間を過ごさせたい場所（低学年）】

		合計	自宅	祖父母・親戚宅や友人・知人宅	習い事	児童センター・児童館	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリー・サポート・センター事業	その他	無回答
	全体	320	175	79	127	15	146	44	1	1	23
		100.0	54.7	24.7	39.7	4.7	45.6	13.8	0.3	0.3	7.2
母親の就労タイプ	フルタイム	91	21	26	24	1	70	8	1	1	9
		100.0	23.1	28.6	26.4	1.1	76.9	8.8	1.1	1.1	9.9
	フルタイム（産休・育児・介護休業中）	4	2	2	3	0	2	1	0	0	0
		100.0	50.0	50.0	75.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等	115	58	28	30	2	54	8	0	0	9
		100.0	50.4	24.3	26.1	1.7	47.0	7.0	0.0	0.0	7.8
	パート・アルバイト等（産休・育児・介護休業中）	4	0	0	1	0	4	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない	97	87	22	65	12	13	25	0	0	4	
	100.0	89.7	22.7	67.0	12.4	13.4	25.8	0.0	0.0	4.1	
これまで就労したことがない	4	4	1	2	0	1	2	0	0	0	
	100.0	100.0	25.0	50.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	

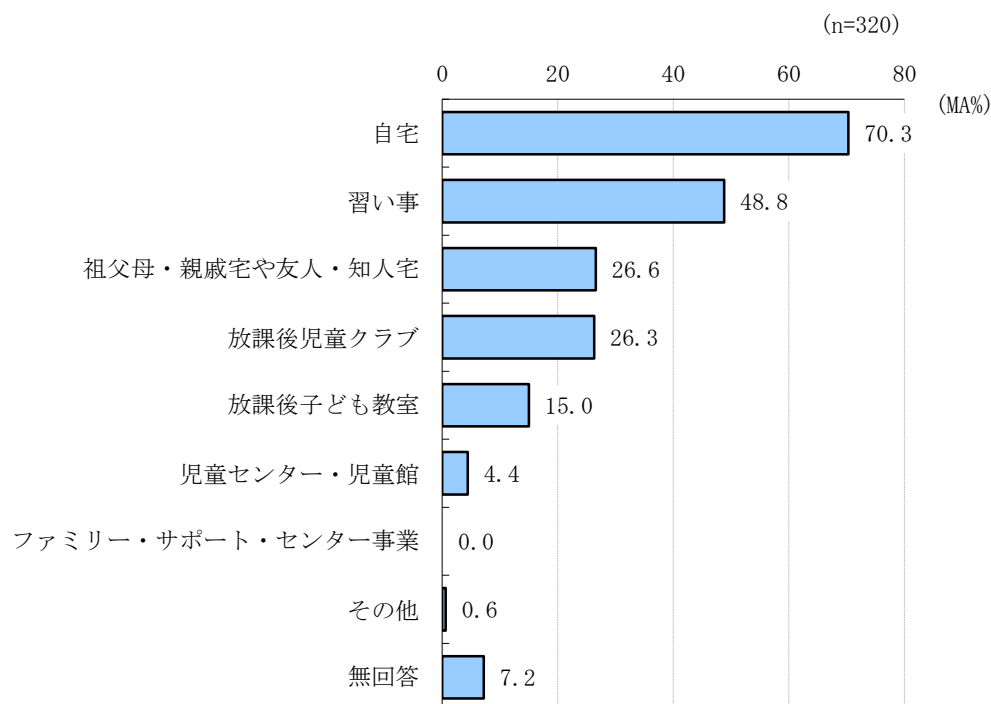
【図 放課後の時間を過ごさせたい平均日数（低学年）】



【図 放課後児童クラブ希望時間（低学年）】



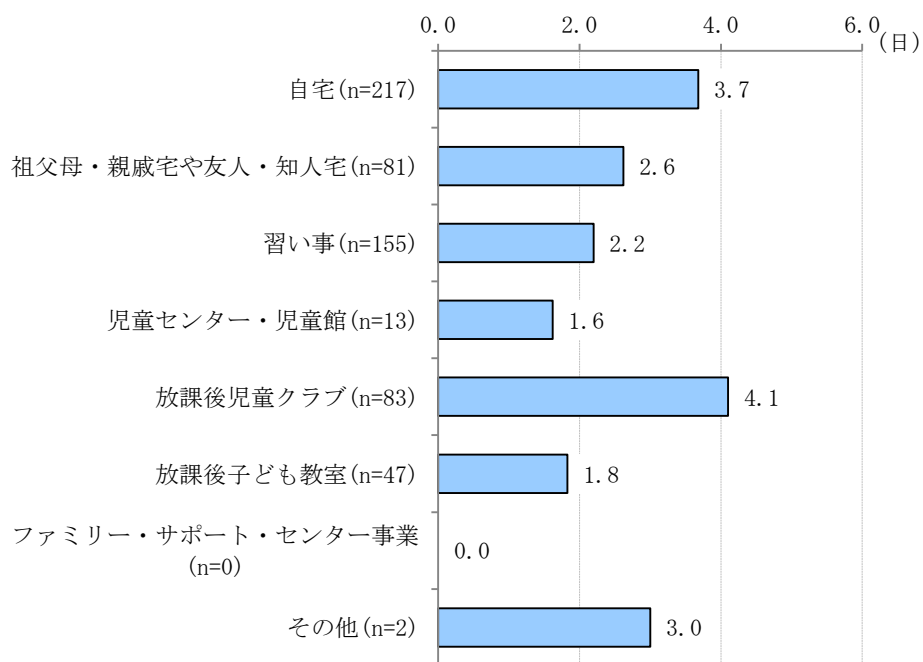
【図 放課後の時間を過ごさせたい場所（高学年）】



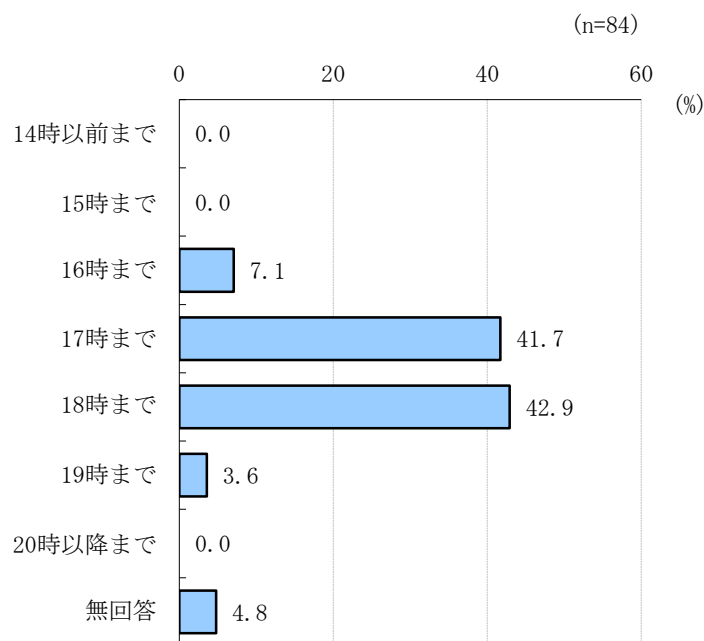
【表 母親の就労タイプ別 放課後の時間を過ごさせたい場所（高学年）】

		合計	自宅	祖父母・親戚宅や友人・知人宅	習い事	児童センター・児童館	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	ファミリー・サポート・センター事業	その他	無回答
	全体	320	225	85	156	14	84	48	0	2	23
		100.0	70.3	26.6	48.8	4.4	26.3	15.0	0.0	0.6	7.2
母親の就労タイプ	フルタイム	91	49	31	35	2	34	12	0	1	10
		100.0	53.8	34.1	38.5	2.2	37.4	13.2	0.0	1.1	11.0
	フルタイム（産休・育児・介護休業中）	4	3	1	2	0	2	0	0	0	0
		100.0	75.0	25.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等	115	81	23	43	3	27	8	0	0	10
		100.0	70.4	20.0	37.4	2.6	23.5	7.0	0.0	0.0	8.7
	パート・アルバイト等（産休・育児・介護休業中）	4	3	0	1	0	1	0	0	0	0
	100.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない	97	83	29	68	9	18	26	0	1	3	
	100.0	85.6	29.9	70.1	9.3	18.6	26.8	0.0	1.0	3.1	
これまで就労していない	4	3	0	3	0	1	2	0	0	0	
	100.0	75.0	0.0	75.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	

【図 放課後の時間を過ごさせたい平均日数（高学年）】



【図 放課後児童クラブ希望時間（高学年）】



## (2) 放課後児童クラブの利用希望

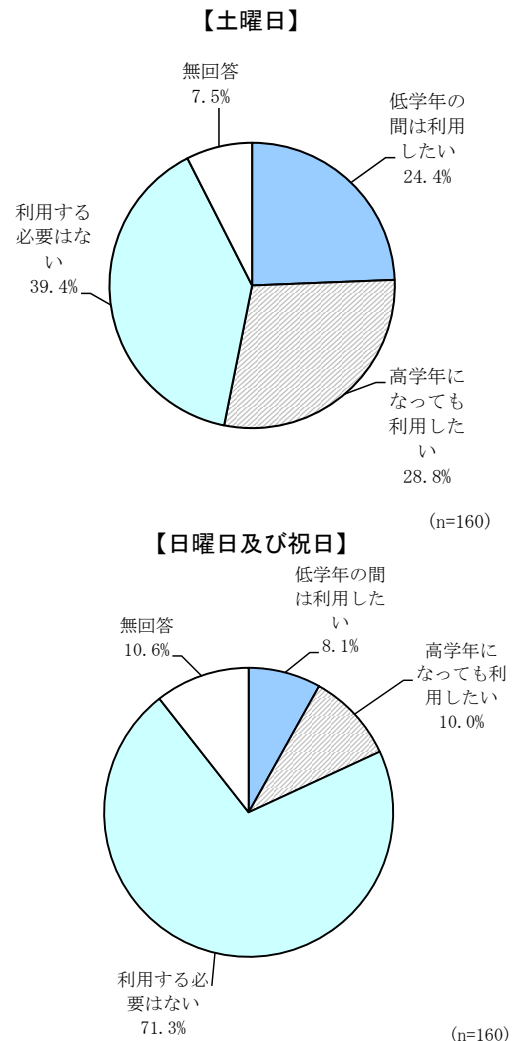
問 26 問 24 及び問 25 で「5. 放課後児童クラブ (学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さまについて、土曜日・日曜日及び祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。次のあてはまる番号 1 つに○をつけ、希望がある場合には、利用したい時間帯を必ず(例) 08～18 時のように、24 時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、事業の利用には、おやつ代等の実費負担が発生することを踏まえてお答えください。

放課後児童クラブの利用希望は、土曜日、日曜日及び祝日ともに「利用する必要はない」が最も割合が高くなっているが、土曜日のほうが利用したい割合が高くなっている。

放課後児童クラブの希望時間帯の平均は、土曜日、日曜日及び祝日ともに「8 時～18 時」の割合が高くなっている。

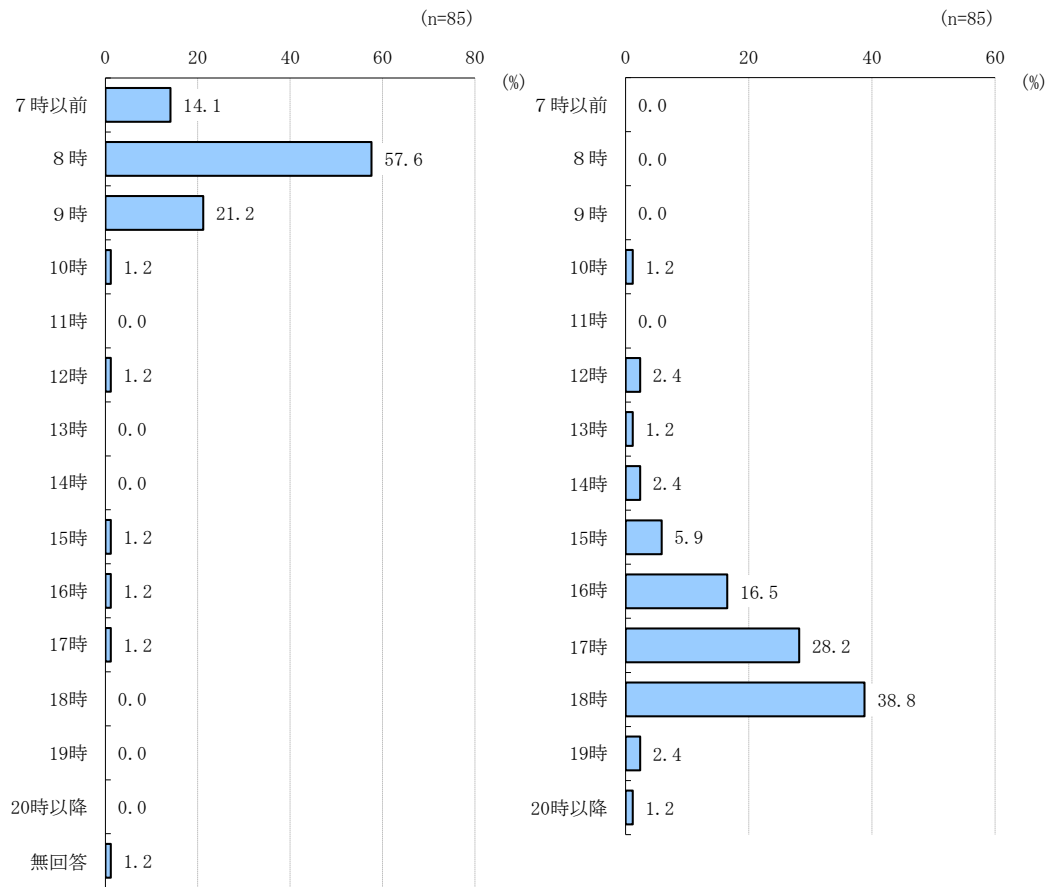
母親の就労タイプ別にみると、土曜日については、フルタイム、パートタイム・アルバイト等で「低学年の間は利用したい」、就労していないで「高学年になっても利用したい」の割合が高くなっている。日曜日・祝日については、フルタイム(産休・育休・介護休業中)で「低学年の間は利用したい」、フルタイムで「高学年になっても利用したい」の割合が高くなっている。

【図 放課後児童クラブの利用希望】

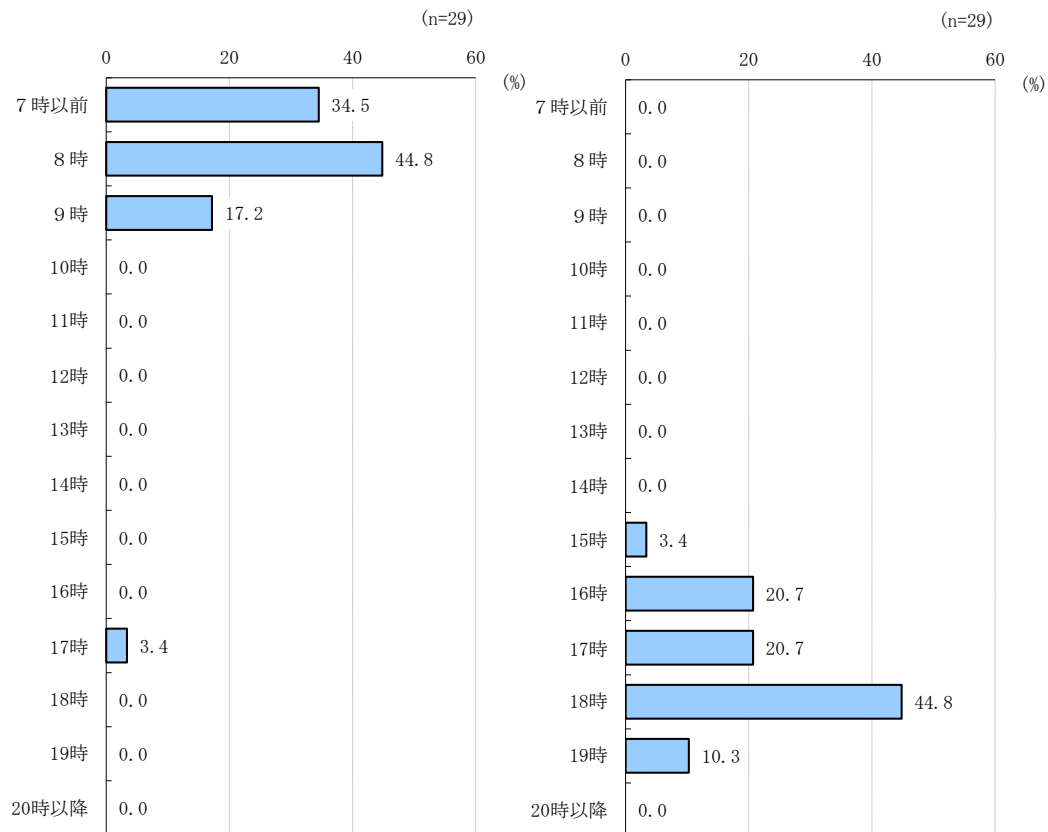




【図 放課後児童クラブの希望時間帯（土曜日）】



【図 放課後児童クラブの希望時間帯（日曜日及び祝日）】



【表 母親の就労タイプ別 放課後児童クラブの利用希望】

	合計	土曜日				日曜日及び祝日				
		低学年の間は利用したい	高学年になっても利用したい	利用する必要はない	無回答	低学年の間は利用したい	高学年になっても利用したい	利用する必要はない	無回答	
全体	160	39	46	63	12	13	16	114	17	
	100.0	24.4	28.8	39.4	7.5	8.1	10.0	71.3	10.6	
母親の就労タイプ	フルタイム	70	21	19	26	4	9	9	49	3
	100.0	30.0	27.1	37.1	5.7	12.9	12.9	70.0	4.3	
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	3	1	1	1	0	1	0	2	0
	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	
	パート・アルバイト等	56	15	13	23	5	3	5	42	6
	100.0	26.8	23.2	41.1	8.9	5.4	8.9	75.0	10.7	
	パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	4	0	1	3	0	0	0	2	2
100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0		
以前は就労していたが、現在は就労していない	22	1	11	7	3	0	2	15	5	
	100.0	4.5	50.0	31.8	13.6	0.0	9.1	68.2	22.7	
	2	0	1	1	0	0	0	2	0	
100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
圏域別	川西	33	5	13	14	1	2	4	24	3
	100.0	15.2	39.4	42.4	3.0	6.1	12.1	72.7	9.1	
	川東	37	10	5	18	4	2	2	28	5
	100.0	27.0	13.5	48.6	10.8	5.4	5.4	75.7	13.5	
	上部西	38	13	10	14	1	3	5	28	2
100.0	34.2	26.3	36.8	2.6	7.9	13.2	73.7	5.3		
上部東	46	8	16	16	6	4	5	31	6	
100.0	17.4	34.8	34.8	13.0	8.7	10.9	67.4	13.0		

### (3) 長期休暇期間中における放課後児童クラブの利用希望

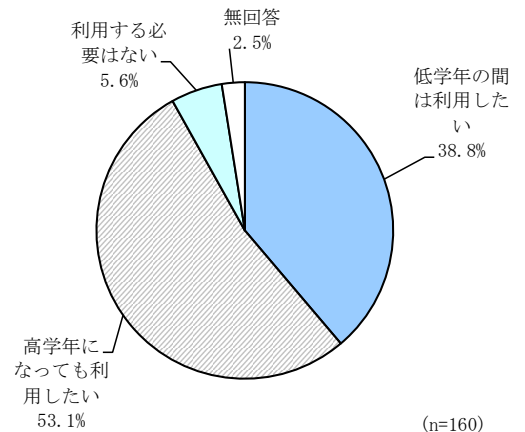
問27 あて名のお子さまについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中における放課後児童クラブの利用希望はありますか。次のあてはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合には、利用したい時間帯を必ず(例)08～18時のように、24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、事業の利用には、おやつ代等の実費負担が発生することを踏まえてお答えください。

【図 放課後児童クラブの利用希望】

長期休暇期間中における放課後児童クラブの利用希望は、「高学年になっても利用したい」が53.1%で最も割合が高く、次いで「低学年の間は利用したい」38.8%、「利用する必要はない」5.6%となっている。

希望時間帯の平均は、「8時～17時」の割合が高くなっている。

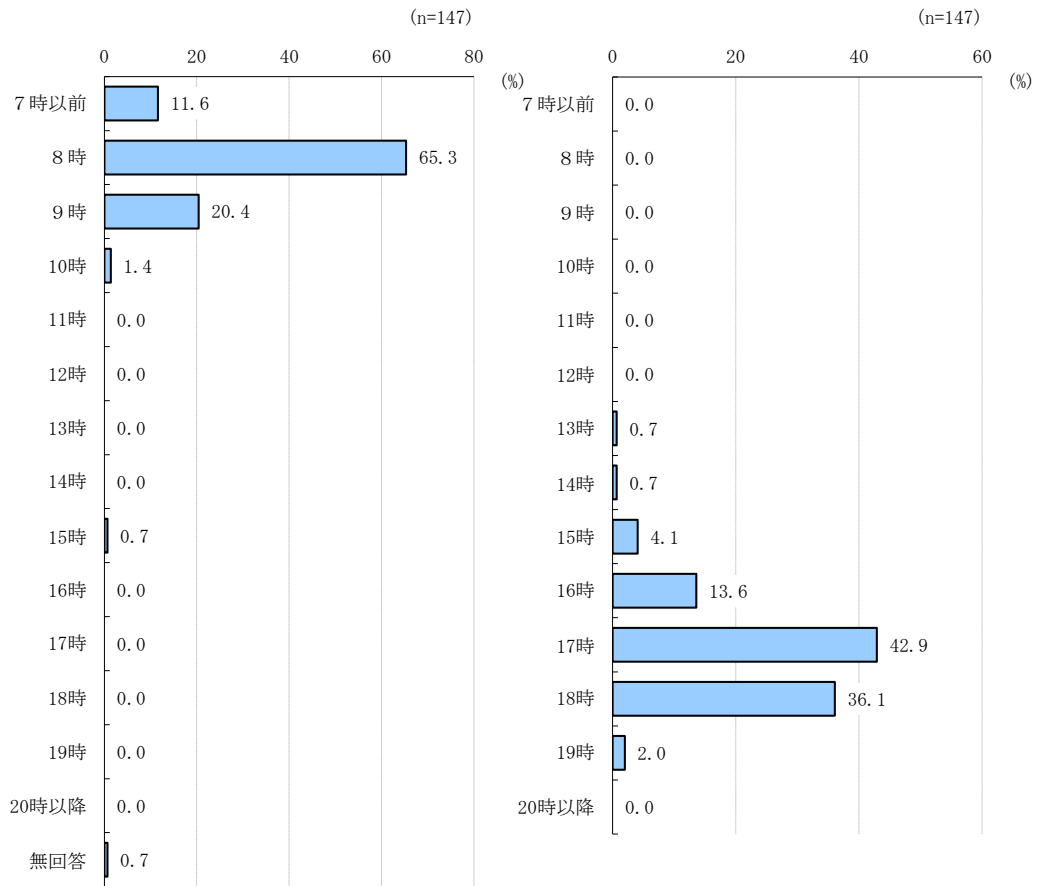
母親の就労タイプ別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「高学年になっても利用したい」割合が高くなっている



【表 母親の就労タイプ別 放課後児童クラブの利用希望】

		合計	低学年の間は利用したい	高学年になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
母親の就労タイプ	全体	160 100.0	62 38.8	85 53.1	9 5.6	4 2.5
	フルタイム	70 100.0	28 40.0	38 54.3	3 4.3	1 1.4
	フルタイム(産休・育休・介護休業中)	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	パート・アルバイト等	56 100.0	25 44.6	26 46.4	4 7.1	1 1.8
	パート・アルバイト等(産休・育休・介護休業中)	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	22 100.0	4 18.2	15 68.2	2 9.1	1 4.5
	これまで就労したことがない	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0

【図 放課後児童クラブの希望時間帯】



## 9. 子どもと子育てに対する考え方について

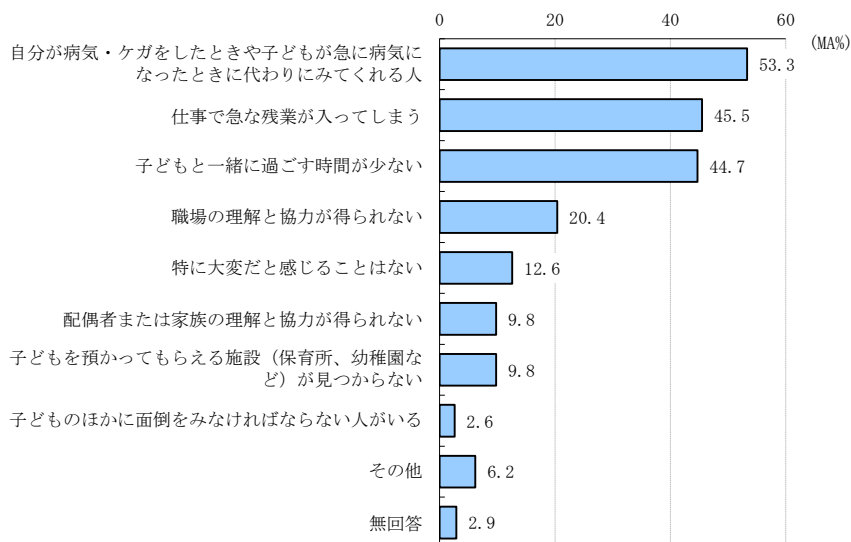
### (1) 仕事と子育ての両立について

問28 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事と子育ての両立については、「自分が病気・ケガをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりにみてくれる人」が53.3%で最も割合が高く、次いで「仕事で急な残業が入ってしまう」45.5%、「子どもと一緒に過ごす時間が少ない」44.7%となっている。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイムで就労では「子どもと一緒に過ごす時間が少ない」の割合が最も高く、パートタイム・アルバイト等では「自分が病気・ケガをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりにみてくれる人」の割合が最も高くなっている。

【図 仕事と子育ての両立について】 (n=1,673)



【表 母親の就労タイプ別 仕事と子育ての両立について】

	合計	特に大変だと感じることはない	仕事で急な残業が入ってしまう	子どもと一緒に過ごす時間が少ない	自分が病気・ケガをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりにみてくれる人	配偶者または家族の理解と協力が得られない	職場の理解と協力が得られない	子どもを預かれないか、人に面倒をみなければならぬ	見つけられない保育所、幼稚園など	子どもを預かってもらえる施設	子どもと一緒に過ごす時間が少ない	その他	無回答
全体	1673	211	762	892	164	342	44	164	747	104	49		
	100.0	12.6	45.5	53.3	9.8	20.4	2.6	9.8	44.7	6.2	2.9		
母親の就労タイプ	401	30	244	164	21	46	15	10	267	36	2		
	100.0	7.5	60.8	40.9	5.2	11.5	3.7	2.5	66.6	9.0	0.5		
フルタイム	101	8	74	62	8	17	1	21	56	7	0		
	100.0	7.9	73.3	61.4	7.9	16.8	1.0	20.8	55.4	6.9	0.0		
フルタイム（産休・育休・介護休業中）	437	93	121	218	39	41	8	24	126	28	16		
	100.0	21.3	27.7	49.9	8.9	9.4	1.8	5.5	28.8	6.4	3.7		
パート・アルバイト等	21	2	12	16	2	2	0	2	6	1	0		
	100.0	9.5	57.1	76.2	9.5	9.5	0.0	9.5	28.6	4.8	0.0		
パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	647	66	287	402	86	222	18	98	262	28	25		
	100.0	10.2	44.4	62.1	13.3	34.3	2.8	15.1	40.5	4.3	3.9		
以前は就労していたが、現在は就労していない	50	11	15	22	6	12	2	8	21	2	5		
	100.0	22.0	30.0	44.0	12.0	24.0	4.0	16.0	42.0	4.0	10.0		

## (2) 理想とする子どもの人数

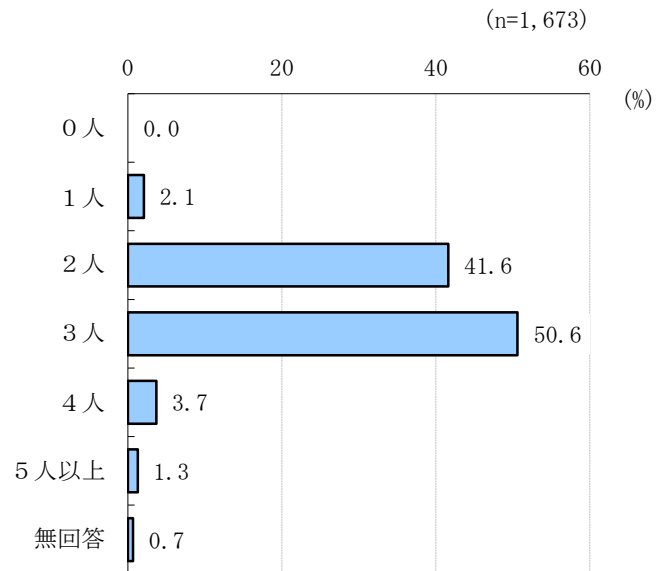
問 29 あなたが理想であると思われるお子さまの人数についてうかがいます。次の口内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

【図 理想とする子どもの人数】

理想であると思われる子どもの人数は「3人」が50.6%と最も割合が高く、次いで「2人」41.6%、「4人」3.7%となっている。

子どもの年齢別にみると、いずれの年齢においても「3人」の割合が高くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）で「3人」の割合が高くなっている。



【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ別 理想とする子どもの人数】

		合計	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
	全体	1673	35	696	847	62	22	11
		100.0	2.1	41.6	50.6	3.7	1.3	0.7
子どもの年齢	0歳児	229	3	105	110	6	5	0
		100.0	1.3	45.9	48.0	2.6	2.2	0.0
	1歳児	243	2	105	124	10	2	0
		100.0	0.8	43.2	51.0	4.1	0.8	0.0
	2歳児	270	9	116	130	11	3	1
		100.0	3.3	43.0	48.1	4.1	1.1	0.4
	3歳児	283	8	108	148	14	2	3
	100.0	2.8	38.2	52.3	4.9	0.7	1.1	
4歳児	320	5	138	156	11	5	5	
	100.0	1.6	43.1	48.8	3.4	1.6	1.6	
5歳児	320	8	119	176	10	5	2	
	100.0	2.5	37.2	55.0	3.1	1.6	0.6	
母親の就労タイプ	フルタイム	401	6	171	200	15	7	2
		100.0	1.5	42.6	49.9	3.7	1.7	0.5
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	101	3	34	61	3	0	0
		100.0	3.0	33.7	60.4	3.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等	437	12	194	203	17	6	5
		100.0	2.7	44.4	46.5	3.9	1.4	1.1
	パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	21	0	5	13	2	1	0
	100.0	0.0	23.8	61.9	9.5	4.8	0.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない	647	13	268	331	25	7	3	
	100.0	2.0	41.4	51.2	3.9	1.1	0.5	
これまで就労したことがない	50	0	18	31	0	0	1	
	100.0	0.0	36.0	62.0	0.0	0.0	2.0	

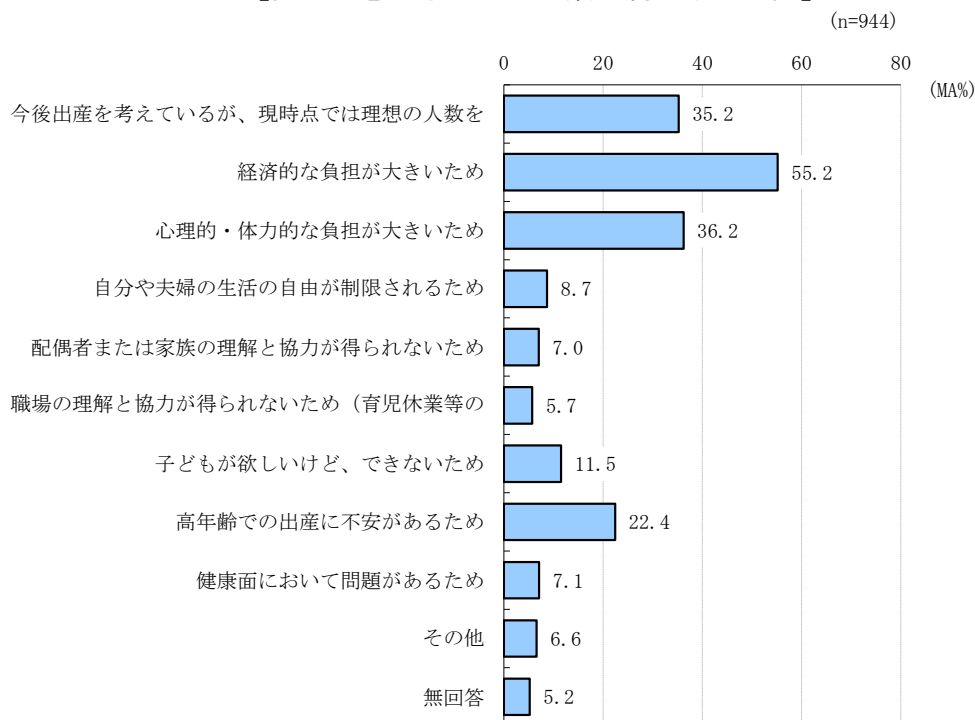
### (3) 理想の子どもの人数に満たない理由

問 29-1 問 29 で理想であると思われる子どもの人数より、実際の子どもの人数が少ない方にうかがいます。理想の子どもの人数に満たない理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

理想の子どもの人数に満たない理由は、「経済的な負担が大きい」とが 55.2% で最も割合が高く、次いで「心理的・体力的な負担が大きい」と 36.2%、「今後出産を考えているが、現時点では理想の人数を満たしていない」と 35.2% となっている。

母親の就労タイプ別にみると、パート・アルバイト等で「経済的な負担が大きい」との割合が高く、これまで就労したことがないで「心理的・体力的な負担が大きい」との割合が高くなっている。

【図 理想の子どもの人数に満たない理由】



【表 母親の就労タイプ別 理想の子どもの人数に満たない理由】

	合計	今後出産を考えた理想の人数を満たしているが、現時点では理想の人数を満了していない	経済的な負担が大きい	心理的・体力的な負担が大きい	自分や夫婦の生活の自由が制限される	配偶者または家族の理解と協力が得られない	職場の理解と協力が得られない (育児休業等を含む)	子どもが欲しいけど、できない	高齢での出産に不安がある	健康面において問題がある	その他	無回答	
全体	944	332	521	342	82	66	54	109	211	67	62	49	
	100.0	35.2	55.2	36.2	8.7	7.0	5.7	11.5	22.4	7.1	6.6	5.2	
母親の就労タイプ	フルタイム	238	79	126	77	23	17	18	32	45	10	23	8
		100.0	33.2	52.9	32.4	9.7	7.1	7.6	13.4	18.9	4.2	9.7	3.4
	フルタイム (産休・育児・介護休業中)	70	32	34	25	4	3	6	9	17	3	5	2
		100.0	45.7	48.6	35.7	5.7	4.3	8.6	12.9	24.3	4.3	7.1	2.9
	パート・アルバイト等	199	49	132	72	16	15	18	20	58	18	13	12
		100.0	24.6	66.3	36.2	8.0	7.5	9.0	10.1	29.1	9.0	6.5	6.0
パート・アルバイト等 (産休・育児・介護休業中)	10	5	4	2	1	2	1	1	1	0	0	1	
	100.0	50.0	40.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない	396	163	205	153	35	26	11	45	86	32	19	22	
	100.0	41.2	51.8	38.6	8.8	6.6	2.8	11.4	21.7	8.1	4.8	5.6	
これまで就労したことがない	24	4	17	13	3	2	0	2	4	2	1	2	
	100.0	16.7	70.8	54.2	12.5	8.3	0.0	8.3	16.7	8.3	4.2	8.3	

#### (4) 子育てについて感じていることについて

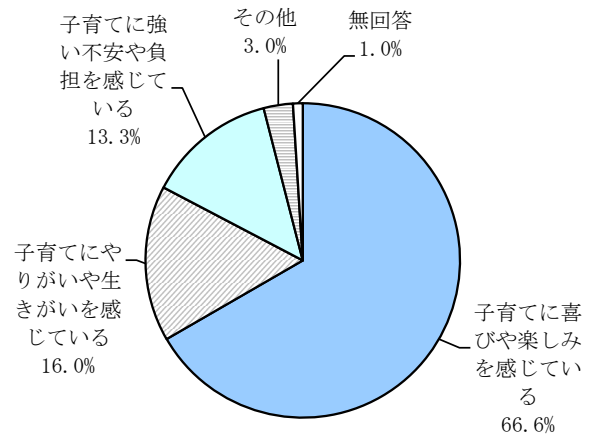
問 30 現在の子育てについてどのように感じられていますか。次のもっともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

【図 子育てについて感じていること】

子育てについて感じていることは、「子育てに喜びや楽しみを感じている」が 66.6%で最も割合が高く、次いで「子育てにやりがいや生きがいを感じている」16.0%、「子育てに強い不安や負担を感じている」13.3%となっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が高くなるにつれて「子育てに強い不安や負担を感じている」割合が高くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、パート・アルバイト等で「子育てに強い不安や負担を感じている」割合が高くなっている。



(n=1,673)

【表 子どもの年齢・母親の就労タイプ別 子育てについて感じていること】

		合計	子育てに喜びや楽しみを感じている	子育てにやりがいや生きがいを感じている	子育てに強い不安や負担を感じている	その他	無回答
	全体	1673	1115	268	223	50	17
		100.0	66.6	16.0	13.3	3.0	1.0
子どもの年齢	0歳児	229	171	34	19	4	1
		100.0	74.7	14.8	8.3	1.7	0.4
	1歳児	243	168	37	28	10	0
		100.0	69.1	15.2	11.5	4.1	0.0
	2歳児	270	186	41	29	10	4
		100.0	68.9	15.2	10.7	3.7	1.5
	3歳児	283	179	55	40	6	3
		100.0	63.3	19.4	14.1	2.1	1.1
母親の就労タイプ	4歳児	320	209	49	49	8	5
		100.0	65.3	15.3	15.3	2.5	1.6
	5歳児	320	200	49	57	10	4
		100.0	62.5	15.3	17.8	3.1	1.3
	フルタイム	401	273	65	50	9	4
		100.0	68.1	16.2	12.5	2.2	1.0
	フルタイム(産休・育休・介護休業中)	101	71	13	12	2	3
		100.0	70.3	12.9	11.9	2.0	3.0
パート・アルバイト等	437	280	66	71	14	6	
	100.0	64.1	15.1	16.2	3.2	1.4	
パート・アルバイト等(産休・育休・介護休業中)	21	14	4	3	0	0	
	100.0	66.7	19.0	14.3	0.0	0.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない	647	438	106	78	21	4	
	100.0	67.7	16.4	12.1	3.2	0.6	
これまで就労したことがない	50	29	10	8	3	0	
	100.0	58.0	20.0	16.0	6.0	0.0	



## (5) 子育てについて不安や負担を感じている理由

問 30-1 問 30 で「3. 子育てに強い不安や負担を感じている」に○をつけた方にかがいます。

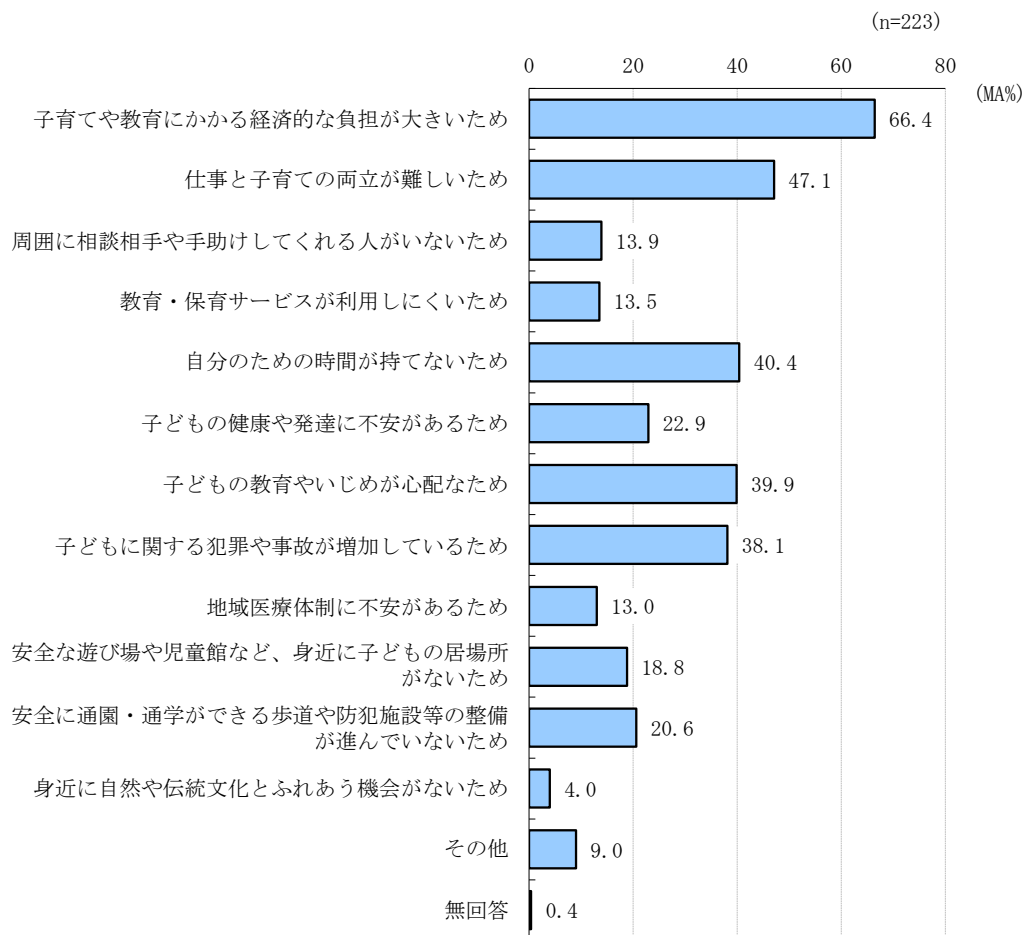
どのような理由で強い不安や負担を感じていますか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てについて不安や負担を感じている理由は、「子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいため」が 66.4%で最も割合が高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいため」47.1%、「自分のための時間が持てないため」40.4%となっている。

子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「子どもの教育やいじめが心配なため」の割合が高くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイムで「仕事と子育ての両立が難しいため」の割合が高くなっている。

【図 子育てについて不安や負担を感じている理由】



【表 子育てについて不安や負担を感じている理由】

		合計	子育てや教育にかかる経済的な負担が大きい	仕事と子育ての両立が難しい	周囲に相談相手や手助けしてくれる人がいない	教育・保育サービスが利用しにくい	自分のための時間が持てない	子どもの健康や発達に不安がある	子どもの教育やいじめが心配
全体		223	148	105	31	30	90	51	89
		100.0	66.4	47.1	13.9	13.5	40.4	22.9	39.9
子どもの年齢	0歳児	19	10	12	4	4	10	4	6
		100.0	52.6	63.2	21.1	21.1	52.6	21.1	31.6
	1歳児	28	20	11	1	4	12	6	10
		100.0	71.4	39.3	3.6	14.3	42.9	21.4	35.7
	2歳児	29	19	12	6	2	11	11	10
		100.0	65.5	41.4	20.7	6.9	37.9	37.9	34.5
	3歳児	40	26	17	3	8	11	10	17
		100.0	65.0	42.5	7.5	20.0	27.5	25.0	42.5
4歳児	49	39	24	6	3	21	10	21	
	100.0	79.6	49.0	12.2	6.1	42.9	20.4	42.9	
5歳児	57	34	29	10	9	25	10	24	
	100.0	59.6	50.9	17.5	15.8	43.9	17.5	42.1	
母親の就労タイプ	フルタイム	50	35	40	4	2	24	7	20
		100.0	70.0	80.0	8.0	4.0	48.0	14.0	40.0
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	12	7	10	3	1	4	3	4
		100.0	58.3	83.3	25.0	8.3	33.3	25.0	33.3
	パート・アルバイト等	71	52	31	9	8	23	16	28
		100.0	73.2	43.7	12.7	11.3	32.4	22.5	39.4
	パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	3	3	1	1	0	1	0	1
	100.0	100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	
以前は就労していたが、現在は就労していない	78	45	21	14	18	37	22	31	
	100.0	57.7	26.9	17.9	23.1	47.4	28.2	39.7	
これまで就労したことがない	8	6	2	0	1	1	3	4	
	100.0	75.0	25.0	0.0	12.5	12.5	37.5	50.0	
		故子どもが増加に関する犯罪や事故	地域医療体制に不安がある	安全な遊び場や児童館がない	安全な通園・通学が難しい	身近な自然や伝統文化と	その他	無回答	
全体		85	29	42	46	9	20	1	
		38.1	13.0	18.8	20.6	4.0	9.0	0.4	
子どもの年齢	0歳児	5	3	5	2	1	3	0	
		26.3	15.8	26.3	10.5	5.3	15.8	0.0	
	1歳児	10	1	6	7	1	1	0	
		35.7	3.6	21.4	25.0	3.6	3.6	0.0	
	2歳児	12	0	1	4	0	1	0	
		41.4	0.0	3.4	13.8	0.0	3.4	0.0	
	3歳児	15	9	5	7	1	3	1	
		37.5	22.5	12.5	17.5	2.5	7.5	2.5	
4歳児	16	3	11	10	4	4	0		
	32.7	6.1	22.4	20.4	8.2	8.2	0.0		
5歳児	27	13	14	16	2	8	0		
	47.4	22.8	24.6	28.1	3.5	14.0	0.0		
母親の就労タイプ	フルタイム	21	6	7	9	2	3	0	
		42.0	12.0	14.0	18.0	4.0	6.0	0.0	
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	5	1	1	2	0	1	0	
		41.7	8.3	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	
	パート・アルバイト等	27	8	16	15	3	1	1	
		38.0	11.3	22.5	21.1	4.2	1.4	1.4	
	パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	0	1	0	0	0	0	0	
	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
以前は就労していたが、現在は就労していない	28	13	15	18	3	14	0		
	35.9	16.7	19.2	23.1	3.8	17.9	0.0		
これまで就労したことがない	3	0	3	1	1	1	0		
	37.5	0.0	37.5	12.5	12.5	12.5	0.0		

## (6) 一番望む子育て支援策について

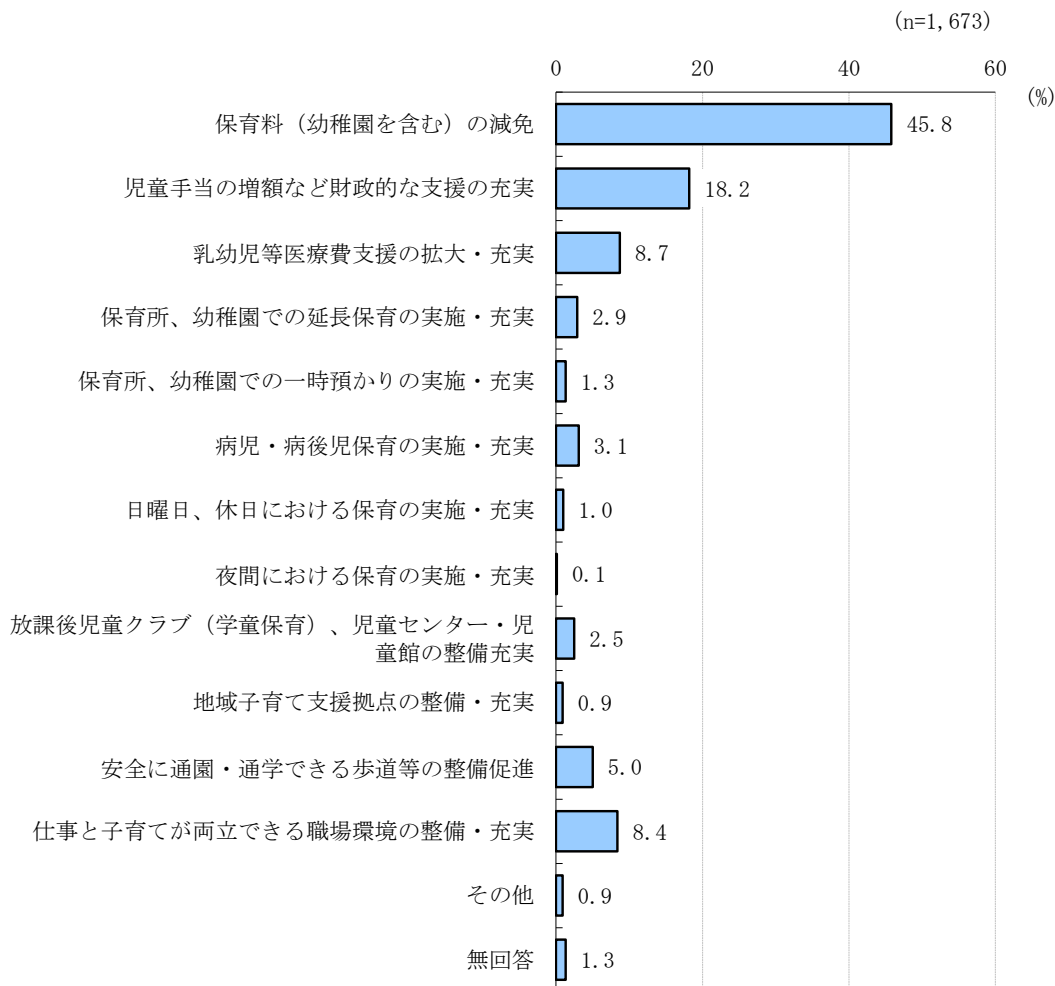
問31 あなたが一番望んでいる子育て支援策は何ですか。次の項目のうち優先度が高いものから順番に3つまで□内に数字をご記入ください。

一番望む子育て支援策は、「保育料（幼稚園を含む）の減免」が45.8%で最も割合が高く、次いで「児童手当の増額など経済的な支援の充実」18.2%、「仕事と子育てが両立できる職場環境の整備・充実」8.4%となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳児で「仕事と子育てが両立できる職場環境の整備・充実」、5歳児で「乳幼児等医療費支援の拡大・充実」が他の年齢と比較して高くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、パート・アルバイト等で「保育料（幼稚園を含む）の減免」の割合が高くなっている。

【図 一番望む子育て支援策】



【表 一番望む子育て支援策】

		合計	免保育料（幼稚園を含む）の減	児童手当の増額など財政的な支援の充実	乳幼児等医療費支援の拡大・充実	保育所、幼稚園での延長保育の実施・充実	保育所、幼稚園での一時預かりの実施・充実	病児・病後児保育の実施・充実	日曜日、休日における保育の実施・充実	
	全体	1673 100.0	766 45.8	305 18.2	146 8.7	48 2.9	21 1.3	52 3.1	17 1.0	
子どもの年齢	0歳児	229 100.0	108 47.2	33 14.4	14 6.1	10 4.4	2 0.9	6 2.6	1 0.4	
	1歳児	243 100.0	123 50.6	41 16.9	14 5.8	5 2.1	9 3.7	7 2.9	4 1.6	
	2歳児	270 100.0	139 51.5	41 15.2	14 5.2	12 4.4	4 1.5	11 4.1	4 1.5	
	3歳児	283 100.0	153 54.1	50 17.7	23 8.1	6 2.1	3 1.1	5 1.8	1 0.4	
	4歳児	320 100.0	144 45.0	62 19.4	28 8.8	11 3.4	2 0.6	15 4.7	2 0.6	
	5歳児	320 100.0	95 29.7	77 24.1	51 15.9	4 1.3	1 0.3	8 2.5	5 1.6	
	母親の就労タイプ	フルタイム	401 100.0	181 45.1	79 19.7	16 4.0	14 3.5	1 0.2	16 4.0	7 1.7
フルタイム（産休・育休・介護休業中）		101 100.0	55 54.5	3 3.0	4 4.0	10 9.9	0 0.0	6 5.9	2 2.0	
パート・アルバイト等		437 100.0	192 43.9	85 19.5	42 9.6	7 1.6	3 0.7	19 4.3	7 1.6	
パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）		21 100.0	15 71.4	2 9.5	2 9.5	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	
以前は就労していたが、現在は就労していない		647 100.0	291 45.0	122 18.9	75 11.6	16 2.5	17 2.6	9 1.4	1 0.2	
これまで就労したことがない		50 100.0	23 46.0	8 16.0	7 14.0	1 2.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	
				夜間における保育の実施	児童館、児童クラブ（学童）の充実	放課後児童クラブの整備	地域子育て支援拠点の整備・充実	安全に歩道等の整備・通学できる環境の整備・促進	仕事と子育てが両立できる環境の整備・充実	その他
	全体	1 0.1	41 2.5	15 0.9	83 5.0	141 8.4	15 0.9	22 1.3		
子どもの年齢	0歳児	0 0.0	4 1.7	7 3.1	10 4.4	31 13.5	0 0.0	3 1.3		
	1歳児	0 0.0	3 1.2	4 1.6	10 4.1	20 8.2	2 0.8	1 0.4		
	2歳児	1 0.4	4 1.5	2 0.7	10 3.7	19 7.0	3 1.1	6 2.2		
	3歳児	0 0.0	4 1.4	0 0.0	12 4.2	18 6.4	5 1.8	3 1.1		
	4歳児	0 0.0	6 1.9	2 0.6	13 4.1	28 8.8	3 0.9	4 1.3		
	5歳児	0 0.0	19 5.9	0 0.0	28 8.8	25 7.8	2 0.6	5 1.6		
	母親の就労タイプ	フルタイム	0 0.0	17 4.2	2 0.5	10 2.5	48 12.0	4 1.0	6 1.5	
フルタイム（産休・育休・介護休業中）		1 1.0	2 2.0	1 1.0	1 1.0	14 13.9	1 1.0	1 1.0		
パート・アルバイト等		0 0.0	12 2.7	0 0.0	35 8.0	25 5.7	2 0.5	8 1.8		
パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0		
以前は就労していたが、現在は就労していない		0 0.0	10 1.5	11 1.7	32 4.9	51 7.9	6 0.9	6 0.9		
これまで就労したことがない		0 0.0	0 0.0	1 2.0	5 10.0	1 2.0	2 4.0	1 2.0		

## 10. 職場の両立支援制度の利用状況について

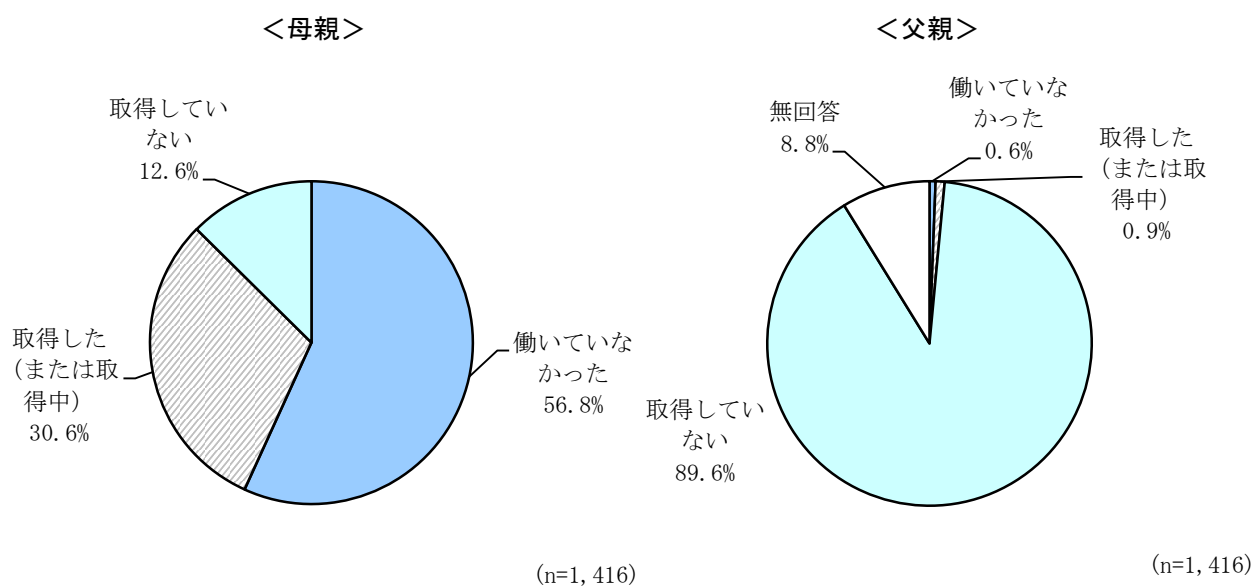
### (1) 育児休業の取得状況

問33 あて名のお子さまが生まれたとき、父母のどちらかもしくは双方が育児休業を取得されましたか。母親と父親のそれぞれについて、次のあてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由について、下欄の該当する数字を〔 〕内にご記入ください。

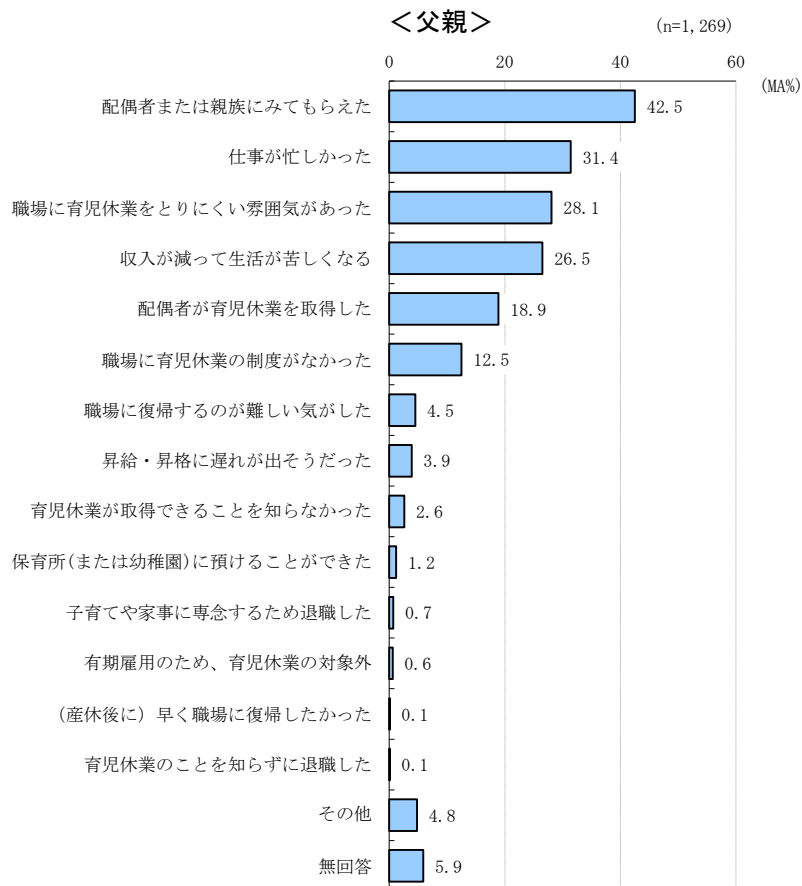
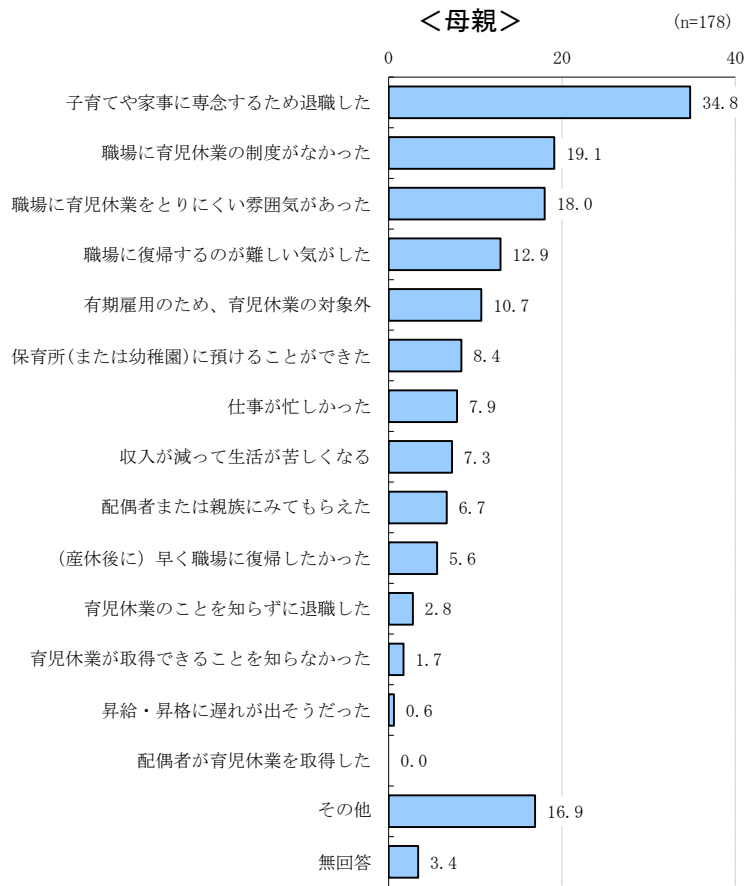
育児休業の取得状況は、母親では「取得した（または取得中）」30.6%、「取得していない」12.6%、父親では「取得した（または取得中）」0.9%、「取得していない」89.6%となっている。

育児休業を取得しなかった理由は、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が34.8%で最も割合が高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」19.1%、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」18.0%となっている。父親では「配偶者または親族にみてもらえた」が42.5%で最も割合が高く、次いで「仕事が忙しかった」31.4%、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」28.1%となっている。

【図 育児休業の取得状況】



【表 育児休業を取得しなかった理由】



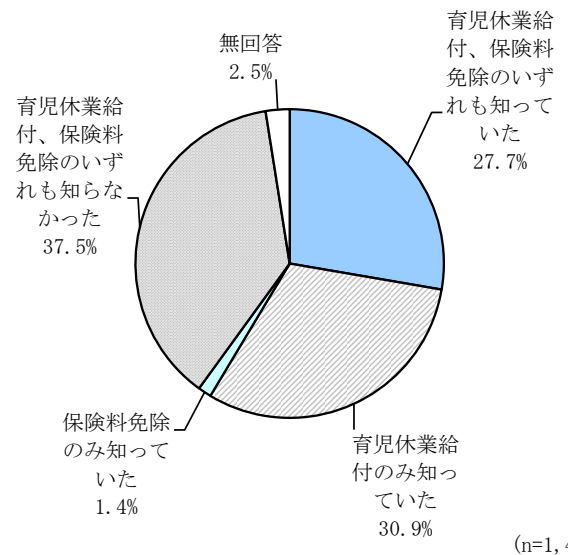
## (2) 育児休業給付と保険料免除について

問 33-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、また満3歳になるまでの育児休業等の期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを知っていましたか。次のあてはまる番号1つに○をつけてください。

【図 育児休業給付と保険料免除について】

育児休業給付と保険料免除については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が37.5%で最も割合が高く、次いで「育児休業のみ知っていた」30.9%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」27.7%となっている。

母親の就労タイプ別にみると、パート・アルバイト等で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」割合が高くなっている。



(n=1, 416)

【表 育児休業給付と保険料免除について】

		合計	育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	育児休業給付のみ知っていた	保険料免除のみ知っていた	育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	無回答
	全体	1416	392	438	20	531	35
		100.0	27.7	30.9	1.4	37.5	2.5
母親の就労タイプ	フルタイム	355	172	92	5	80	6
		100.0	48.5	25.9	1.4	22.5	1.7
	フルタイム（産休・育休・介護休業中）	95	60	25	0	10	0
		100.0	63.2	26.3	0.0	10.5	0.0
	パート・アルバイト等	372	70	112	5	172	13
		100.0	18.8	30.1	1.3	46.2	3.5
	パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）	17	4	6	0	7	0
		100.0	23.5	35.3	0.0	41.2	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	529	78	194	9	237	11	
	100.0	14.7	36.7	1.7	44.8	2.1	
これまで就労していない	39	5	8	0	21	5	
	100.0	12.8	20.5	0.0	53.8	12.8	

### (3) 育児休業取得後の職場復帰について

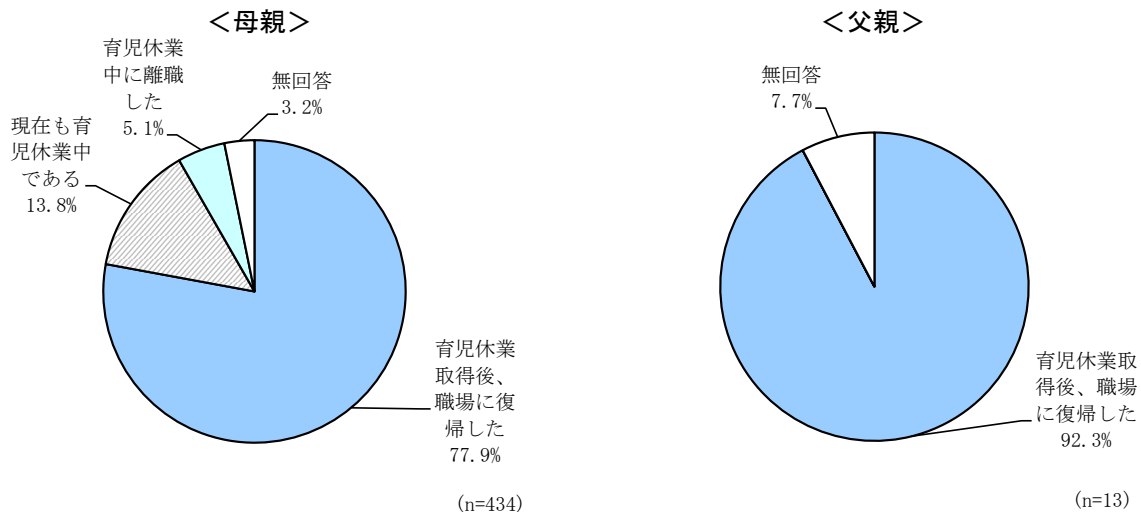
問 33-2 問 33 で「2. 取得した（または取得中である）」に○をつけた方にかがいます。

※該当しない方は、以上で終了となります。ありがとうございました。

育児休業取得後に職場復帰しましたか。次のあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

育児休業取得後の職場復帰は、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」77.9%、「現在も育児休業中である」13.8%、「育児休業中に離職した」5.1%となっている。父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」92.3%となっている。

【図 育児休業取得後の職場復帰】



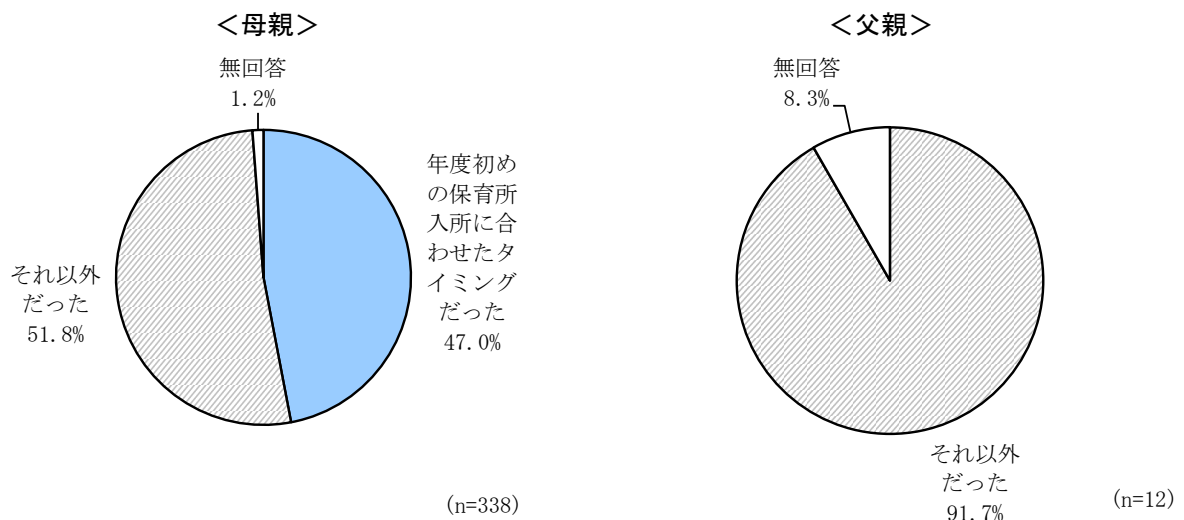
### (4) 職場復帰のタイミングについて

問 33-3 33-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所(または幼稚園)入所のタイミングでしたか、それ以外でしたか。次のいずれかに○をつけてください。

職場復帰のタイミングは、母親では「それ以外だった」51.8%、「年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだった」47.0%となっている。父親では「それ以外だった」91.7%となっている。

【図 職場復帰のタイミング】





## (5) 職場復帰したときの子どもの年齢

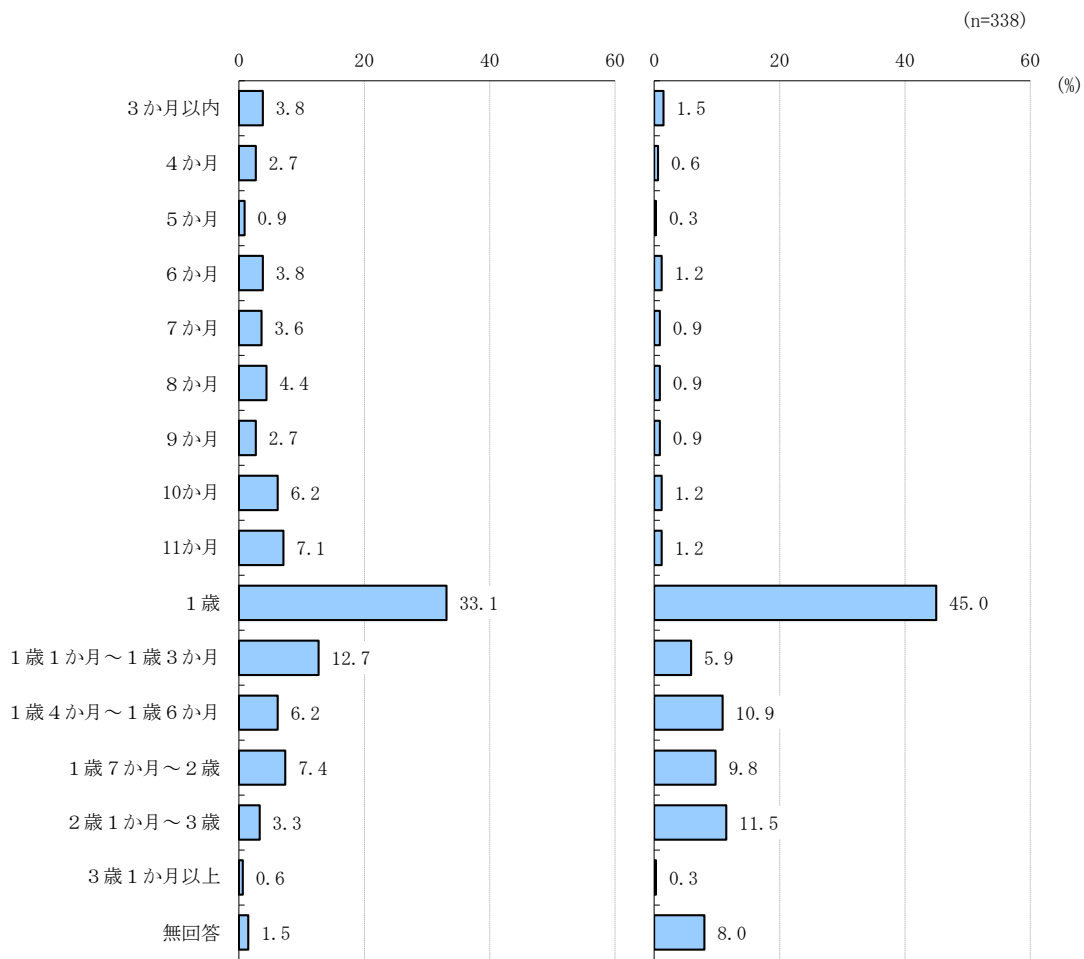
問 33-4 育児休業からは、実際にお子さまが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月のときまで取得を希望されていましたか。次の口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

職場復帰したときの子どもの年齢は、「1歳」が33.1%と最も割合が高く、次いで「1歳1か月～1歳3か月」12.7%、「1歳7か月～2歳」7.4%となっている。実際の取得期間と希望する取得期間を比較すると、1歳以上を希望する割合が高くなっています。

【図 育児休業取得後の職場復帰】

<実際の取得期間>

<希望の取得期間>

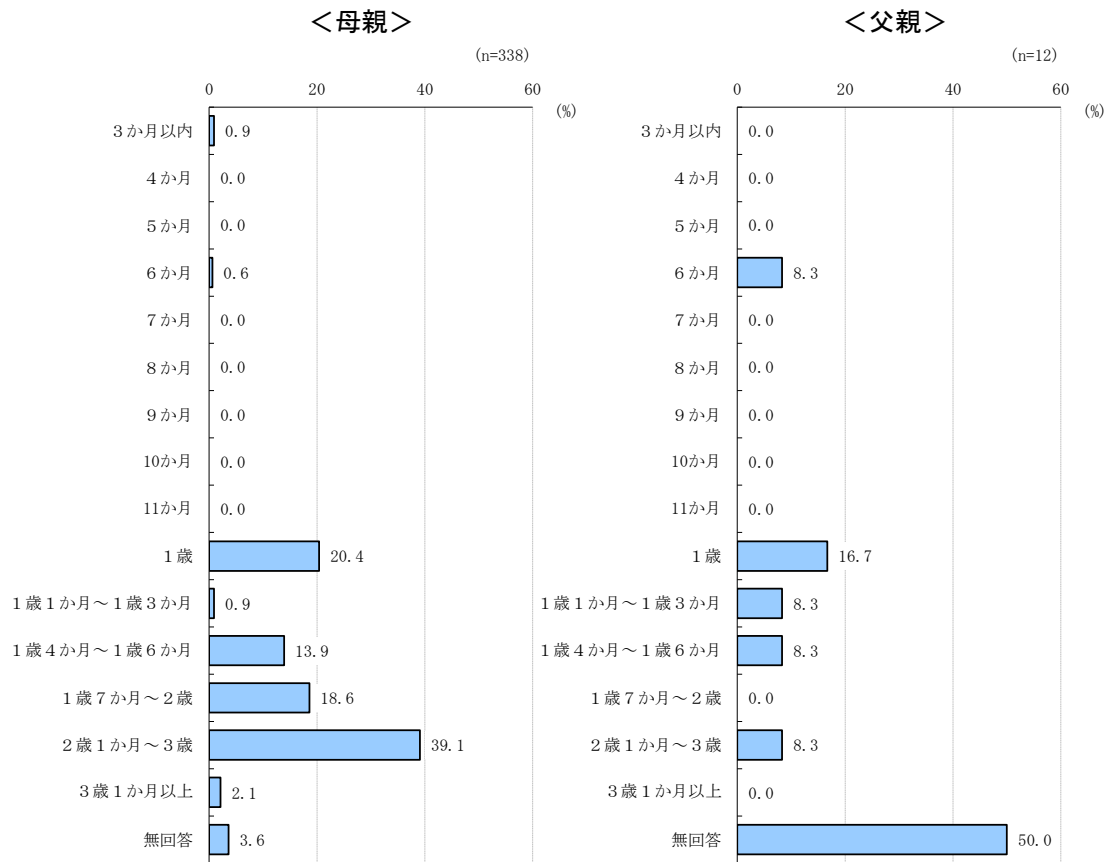


## (6) 育児休業を取得する希望（3歳まで）

問 33-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さまが何歳何か月のときまで取得したいと思われませんか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、休暇を取得する希望として、母親では「2歳1か月～3歳」が39.1%と最も割合が高く、次いで「1歳」20.4%、「1歳7か月～2歳」18.6%となっている。父親では「1歳」が16.7%と最も割合が高くなっている。

【図 育児休業の希望】



## (7) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

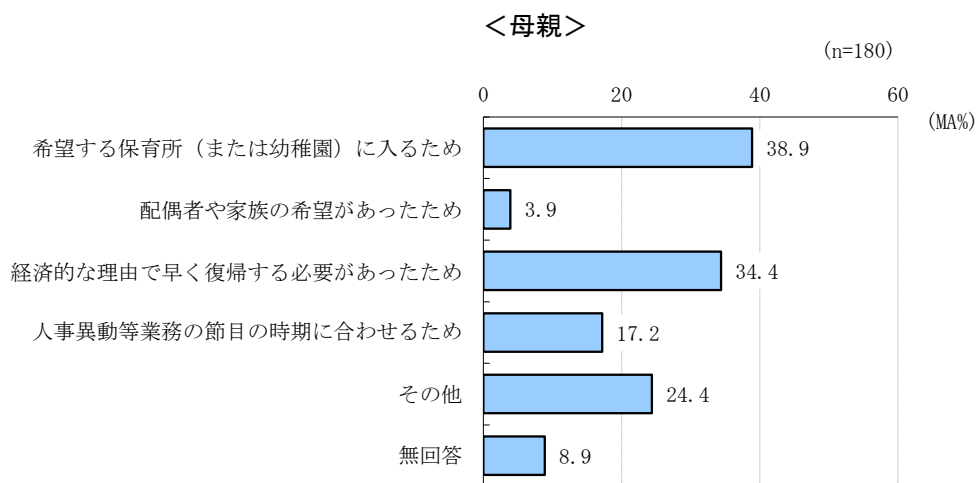
問 33-6 問 33-4 で実際と希望の職場復帰のタイミングが異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

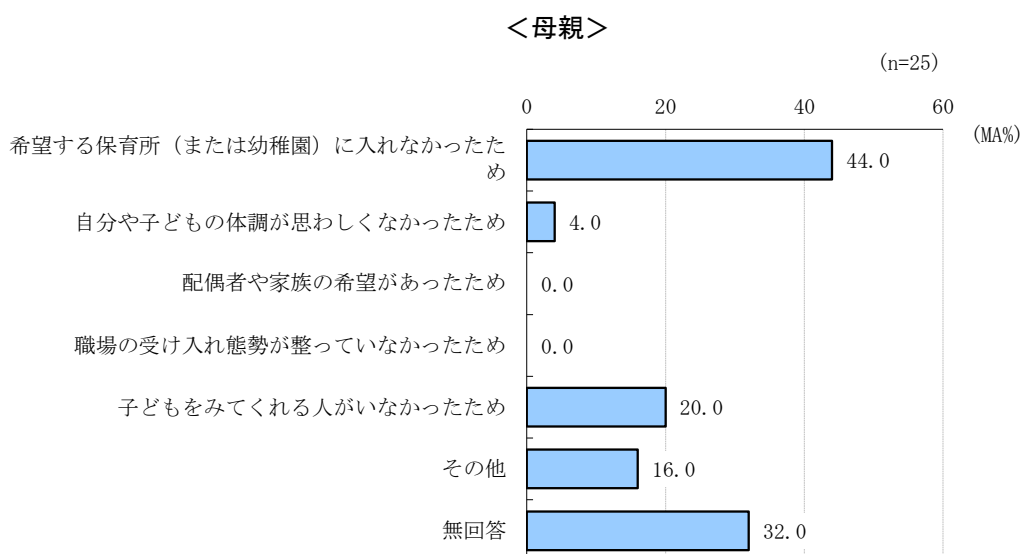
希望の時期に職場復帰しなかった理由（希望より早く復帰された方）は、母親では「希望する保育所（または幼稚園）に入るため」が38.9%と最も割合が高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」34.4%となっている。

希望より遅く復帰された方は、母親では「希望する保育所（または幼稚園）に入れなかったため」が44.0%と最も割合が高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」20.0%となっている。

【図 希望の時期に職場復帰しなかった理由(希望より早く復帰された方)】



【図 希望の時期に職場復帰しなかった理由(希望より遅く復帰された方)】



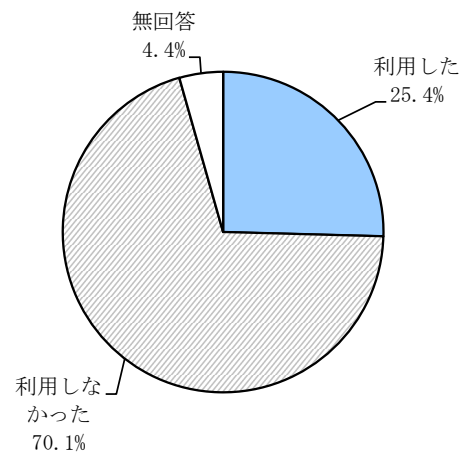
(8) 短時間勤務制度について (母親)

問 33-7 問 33-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。  
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用されましたか。次のいずれかに○をつけてください。

問 33-8 問 33-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。  
 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

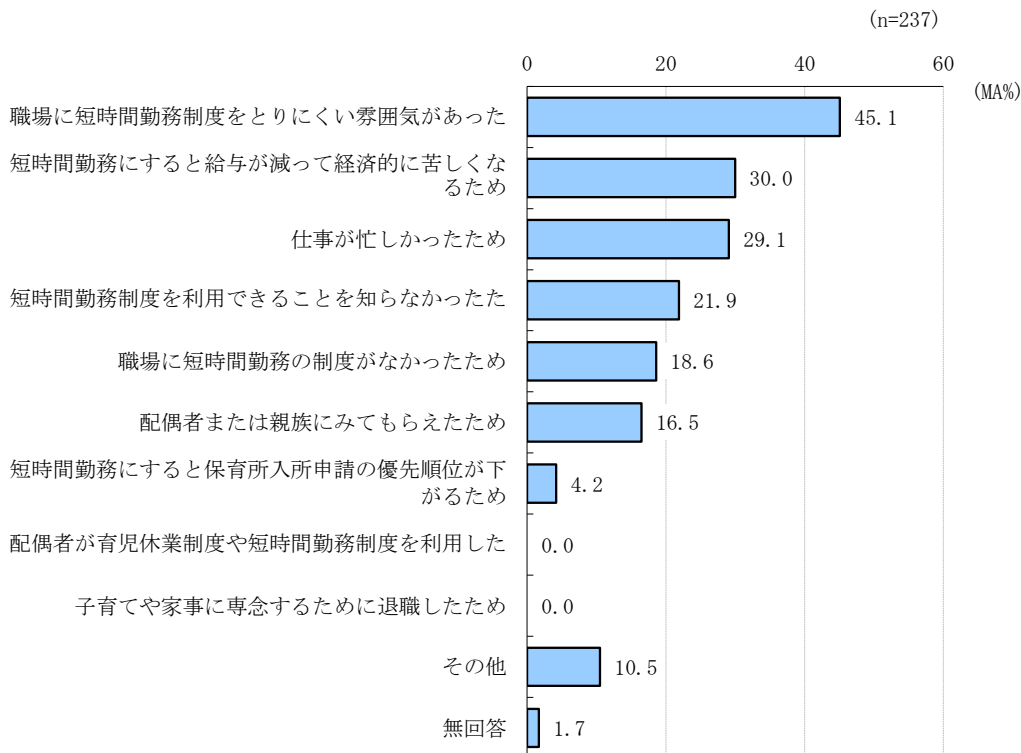
【図 短時間勤務制度の利用状況】

母親の短時間勤務利用制度は、「利用した」25.4%、「利用しなかった」70.1%となっている。  
 利用しなかった理由は、「職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があった」が45.1%と最も割合が高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減って経済的に苦しくなるため」30.0%、「仕事が忙しかったため」29.1%となっている。



(n=338)

【図 短時間勤務制度を利用しなかった理由】



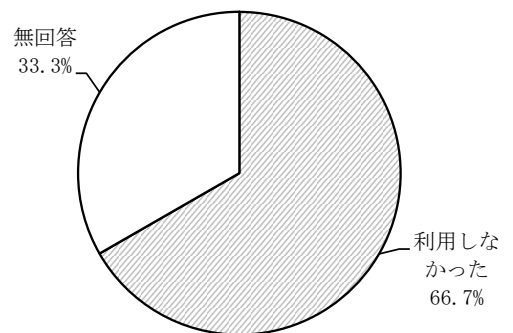
(9) 短時間勤務制度について (父親)

問 33-7 問 33-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。  
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用されましたか。次のいずれかに○をつけてください。

問 33-8 問 33-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。  
 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

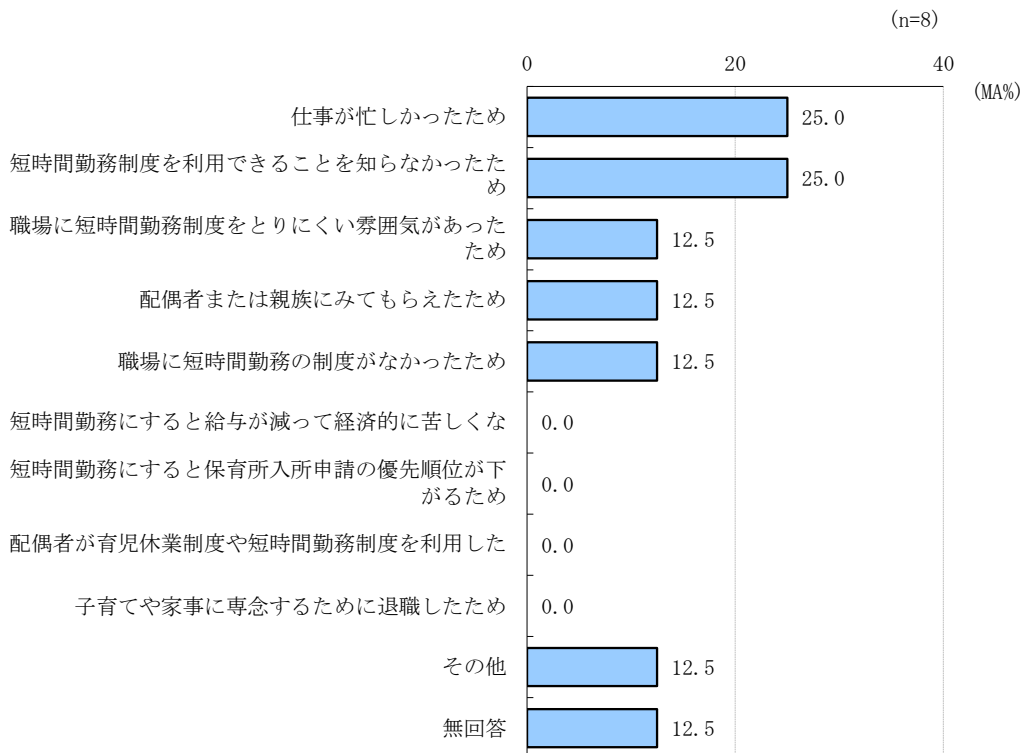
【図 短時間勤務制度の利用状況】

父親の短時間勤務利用制度は、「利用しなかった」66.7%となっている。  
 利用しなかった理由は、「仕事が忙しかったため」、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため」が25.0%となっている。



(n=12)

【図 短時間勤務制度を利用しなかった理由】



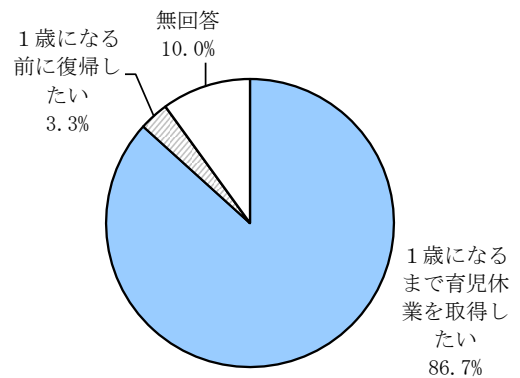
(10) 育児休業を取得する希望（1歳まで）

問 33-9 問 33-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さまが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。それとも、必ず利用できる事業があっても、1歳になる前に復帰されますか。次のいずれかに○をつけてください。

【図 育児休業の希望（母親）】

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業取得希望は、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が86.7%、「1歳になる前に復帰したい」3.3%となっている。



(n=60)